2025年度教育課程（カリキュラム）表

情報システム学科（３年課程）１年次

第 1 学 年							
科目区分	科目整理番号	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	実務教員科目
一般科目	001	社会人基礎Ⅰ	講義	必修	60	3	
	002	社会人基礎Ⅱ	講義	選必	60	3	
	003	社会人基礎Ⅲ	講義	選必	90	3	
専門科目	004	複式簿記の原理	講義	選必	90	3	
	005	株式会社会計	講義	選必	90	3	
	006	株式会社会計演習Ⅰ	演習	選必	30	2	
	007	中小企業会計Ⅰ	講義	選必	90	3	
	008	中小企業会計Ⅱ	講義	選必	90	3	
	009	中小企業会計演習Ⅰ	演習	選必	30	2	
	010	公開企業会計Ⅰ	講義	選必	90	3	
	011	公開企業会計Ⅱ	講義	選必	90	3	
	012	公開企業会計演習Ⅰ	演習	選必	30	2	
	013	商業簿記上級	講義	選必	90	3	
	014	工業簿記上級	講義	選必	90	3	
	015	日商簿記１級Ⅰ	講義	選必	90	3	
	016	日商簿記１級Ⅱ	講義	選必	90	3	
	017	日商簿記１級Ⅲ	講義	選必	90	3	
	018	日商簿記１級演習Ⅰ	演習	選必	40	1	
	019	日商簿記１級演習Ⅱ	演習	選必	40	1	
	020	日商簿記１級演習Ⅲ	演習	選必	40	1	
	021	日商簿記１級演習Ⅳ	演習	選必	40	1	
	022	日商簿記２級Ⅰ	講義	選必	90	3	
	023	日商簿記２級Ⅱ	講義	選必	90	3	
	024	日商簿記２級Ⅲ	講義	選必	90	3	
	025	日商簿記２級演習Ⅰ	演習	選必	30	1	
	026	日商簿記２級演習Ⅱ	演習	選必	30	1	
	027	日商簿記２級演習Ⅲ	演習	選必	30	1	
	028	日商簿記２級演習Ⅳ	演習	選必	30	1	
	029	国内旅行Ⅰ	講義	選必	60	2	
	030	国内旅行Ⅱ	講義	選必	60	2	
	031	国内旅行演習	演習	選必	60	2	
	032	ファイナンシャル・プランニングⅠ	講義	選必	60	2	
	033	ファイナンシャル・プランニングⅡ	講義	選必	60	2	
	034	ファイナンシャル・プランニング演習	演習	選必	60	2	
	035	ファイナンシャル・プランニング応用Ⅰ	講義	選必	60	2	
	036	ファイナンシャル・プランニング応用Ⅱ	講義	選必	60	2	
	037	ファイナンシャル・プランニング応用演習	演習	選必	60	2	
	038	経営学	講義	選必	180	8	○

専門科目	039	経理実務	講義	選必	120	6	
	040	経理実務演習	演習	選必	60	2	
	041	宅地建物取引士入門	講義	選必	40	2	
	042	宅地建物取引士Ⅰ	講義	選必	60	2	
	043	宅地建物取引士Ⅱ	講義	選必	60	2	
	044	宅地建物取引士Ⅲ	講義	選必	60	2	
	045	宅地建物取引士Ⅳ	講義	選必	30	1	
	046	賃貸不動産経営管理士	講義	選必	60	2	
	047	文書処理技能	講義	選必	40	2	○
	048	プレゼンテーション技能	講義	選必	40	2	○
	049	マーケティング基礎	講義	選必	120	4	
	050	リテールマーケティング基礎Ⅰ	講義	選必	60	2	○
	051	リテールマーケティング基礎Ⅱ	講義	選必	60	2	○
	052	リテールマーケティング基礎演習	演習	選必	60	2	○
	053	リテールマーケティング応用Ⅰ	講義	選必	60	2	○
	054	リテールマーケティング応用Ⅱ	講義	選必	60	2	○
	055	リテールマーケティング応用演習	演習	選必	60	2	○
	056	税務会計	講義	選必	120	4	
	057	社会人総合実習Ⅳ	演習	選必	90	4	○
	058	秘書基礎Ⅰ	講義	選必	60	2	
	059	秘書基礎Ⅱ	講義	選必	60	2	
	060	ビジネス会計Ⅰ	講義	選必	60	2	
	061	ビジネス会計Ⅱ	講義	選必	60	2	
	062	プログラミング基礎Ⅰ	演習	選必	30	1	
	063	プログラミング応用Ⅰ	演習	選必	60	2	
	064	アプリケーション開発基礎Ⅰ	演習	選必	30	1	
	065	アプリケーション開発応用Ⅰ	演習	選必	60	2	
	066	コンピュータリテラシ	演習	選必	30	1	
	067	コンピュータリテラシ（表計算）	演習	選必	30	1	
	068	コンピュータリテラシ（文書処理）	演習	選必	30	1	
	069	コンピュータリテラシ（プレゼンテーション）	演習	選必	30	1	
	070	コンピュータリテラシ（データベース）	演習	選必	30	1	
	071	システム開発基礎Ⅰ	演習	選必	60	2	○
	072	システム開発応用Ⅰ	演習	選必	60	2	○
	073	情報処理テクノロジ基礎	講義	選必	30	1	
	074	情報処理マネジメント基礎	講義	選必	30	1	
	075	情報処理ストラテジ基礎	講義	選必	30	1	
	076	情報処理基礎演習	演習	選必	30	1	
	077	情報処理テクノロジ応用Ⅰ	演習	選必	30	1	
	078	情報処理マネジメント応用Ⅰ	演習	選必	30	1	
	079	情報処理ストラテジ応用Ⅰ	演習	選必	30	1	
	080	情報処理応用演習Ⅰ	演習	選必	30	1	

	081	アルゴリズム基礎	講義	選必	30	1	
	082	アルゴリズム応用	演習	選必	30	1	
	083	情報セキュリティ基礎	講義	選必	30	1	
	084	情報セキュリティ応用	講義	選必	30	1	
	085	ネットワーク基礎	講義	選必	30	1	
	086	ネットワーク応用	講義	選必	30	1	
	087	システムアーキテクチャⅠ	演習	選必	30	1	
	088	情報処理入門テクノロジ	講義	選必	30	1	
	089	情報処理入門マネジメント	講義	選必	30	1	
	090	情報処理入門ストラテジ	講義	選必	30	1	
	091	情報処理入門演習	演習	選必	30	1	
	092	消費税法税務会計	講義	選必	90	3	○
	093	簿記論Ⅰ	講義	選必	120	4	
	094	財務諸表論Ⅰ	講義	選必	120	4	
	095	簿記論演習Ⅰ	演習	選必	60	2	
	096	財務諸表論演習Ⅰ	演習	選必	60	2	
	097	会計学上級	講義	選必	90	3	
	098	原価計算上級	講義	選必	90	3	
	099	財務会計上級	講義	選必	90	3	
	100	管理会計上級	講義	選必	90	3	
	101	Excel表計算技能	講義	選択	30	1	○
	102	簿記速修	講義	選択	120	4	
	103	ＦＰ技能士３級	講義	選択	60	2	
	104	ＦＰ技能士３級演習	演習	選択	15	1	
	105	コンピュータ会計	演習	選択	30	2	
１学年合計授業時間数・取得単位数					900	32	

（備考）

選必は選択必修科目であり、840時間以上を選択し履修規程に従い履修しなければならない。

2025年度教育課程（カリキュラム）表

情報システム学科（３年課程）２年次

第 2 学 年							
科目区分	科目整理番号	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	実務教員科目
一般科目	106	社会人基礎知識Ⅰ	講義	選必	90	4	
	107	社会人基礎知識Ⅱ	講義	選必	60	3	
	108	社会人基礎知識Ⅲ	講義	選必	60	3	
専門科目	109	企画立案Ⅰ	演習	選必	30	1	
	110	企画立案Ⅱ	演習	選必	30	1	
	111	社会人総合実習Ⅳ	演習	選必	90	4	○
	112	ビジネスマナー	演習	選必	60	2	○
	113	プログラミング基礎Ⅱ	演習	選必	30	1	
	114	プログラミング応用Ⅱ	演習	選必	60	2	
	115	アプリケーション開発基礎Ⅱ	演習	選必	30	1	
	116	アプリケーション開発応用Ⅱ	演習	選必	60	2	
	117	システム開発基礎Ⅱ	演習	選必	30	1	
	118	システム開発応用Ⅱ	演習	選必	60	2	
	119	ＡＩプログラミング基礎Ⅰ	演習	選必	30	1	
	120	ＡＩプログラミング応用Ⅰ	演習	選必	30	1	
	121	ＡＩアプリケーション開発基礎Ⅰ	演習	選必	30	1	
	122	ＡＩアプリケーション開発応用Ⅰ	講義	選必	30	1	
	123	ＡＩシステム開発基礎Ⅰ	演習	選必	30	1	
	124	ＡＩシステム開発応用Ⅰ	演習	選必	30	1	
	125	開発プロジェクト基礎Ⅰ	実習	選必	60	2	
	126	開発プロジェクト基礎Ⅱ	実習	選必	60	2	
	127	開発プロジェクト基礎Ⅲ	実習	選必	60	2	
	128	システムアーキテクチャⅡ	演習	選必	30	1	
	129	情報処理テクノロジ応用Ⅰ	演習	選必	30	1	
	130	情報処理マネジメント応用Ⅰ	演習	選必	30	1	
	131	情報処理ストラテジ応用Ⅰ	演習	選必	30	1	
	132	情報処理応用演習Ⅰ	演習	選必	30	1	
	133	情報処理テクノロジ応用Ⅱ	講義	選必	30	1	
	134	情報処理マネジメント応用Ⅱ	講義	選必	30	1	
	135	情報処理ストラテジ応用Ⅱ	講義	選必	30	1	
	136	情報処理応用演習Ⅱ	演習	選必	30	1	
	137	情報セキュリティ管理Ⅰ	講義	選必	30	1	
	138	情報セキュリティインシデント管理Ⅰ	講義	選必	30	1	
	139	情報セキュリティ演習Ⅰ	演習	選必	30	1	
	140	コンピュータリテラシ	演習	選必	30	1	
	141	コンピュータリテラシ（表計算）	演習	選必	30	1	
	142	コンピュータリテラシ（文書処理）	演習	選必	30	1	
	143	コンピュータリテラシ（プレゼンテーション）	演習	選必	30	1	

	144	コンピュータリテラシ（データベース）	演習	選必	30	1	
２学年合計授業時間数・取得単位数					900	31	

（備考）

選必は選択必修科目であり、900時間以上を選択し履修規程に従い履修しなければならない。

2025年度教育課程（カリキュラム）表

情報システム学科（３年課程）３年次

第 3 学 年							
科目区分	科目整理番号	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	実務教員科目
一般科目	145	社会人基礎知識Ⅰ	講義	選必	90	3	
	146	社会人基礎知識Ⅱ	講義	選必	60	2	
専門科目	147	システム開発演習	演習	選必	90	4	
	148	ＡＩ開発演習	演習	選必	90	4	
	149	ネットワーク開発演習	演習	選必	90	4	
	150	アプリケーション開発演習	演習	選必	90	4	
	151	Ｃ言語	演習	選必	60	2	
	152	ＪＡＶＡ言語	演習	選必	60	2	
	153	Ｐｙｔｈｏｎ言語	演習	選必	60	2	
	154	プログラム言語	演習	選必	60	2	
	155	企画立案Ⅰ	演習	選必	30	1	
	156	企画立案Ⅱ	演習	選必	30	1	
	157	企画立案Ⅲ	演習	選必	30	1	
	158	表計算ソフト基礎Ⅰ	講義	選必	60	2	○
	159	文書処理ソフト基礎	講義	選必	60	3	○
	160	プレゼンテーションソフト	講義	選必	60	2	○
	161	データベースソフト	演習	選必	60	2	○
	162	情報処理基礎演習	演習	選必	120	5	
	163	情報処理応用演習	演習	選必	120	5	
	164	高度セキュリティ演習	演習	選必	120	5	
	165	高度データベース演習	演習	選必	120	5	
	166	高度ネットワーク演習	演習	選必	120	5	
	167	社会人総合演習	演習	選必	120	7	○
	168	ビジネスパソコンスキル	実習	選必	120	4	
	169	社会人総合実習Ⅳ	実習	選必	90	3	○
	170	卒業制作	実習	選必	60	2	
３学年合計授業時間数・取得単位数					810	31	

（備考）

選必は選択必修科目であり、810時間以上を選択し履修規程に従い履修しなければならない。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	社会人基礎Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	必修
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	3単位
科目教員	鈴木　秀俊、菊地　裕俊、工藤　英一、 千葉　菜愛、宍戸　雄翔	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	ビジネスの場で即戦力となる一般教養及び計算処理能力を身につけることを目的とし、日本ビジネス技能検定協会主催漢字能力検定試験および日本電卓技能検定協会主催各種段位級取得を到達目標とする。 また、様々な視点から自己分析を行い自分に向いている業種、職業等の分析・確認を行う。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	【一般教養】漢字（訓読み送り仮名編）① 【計算処理能力】電卓基礎知識（各部の名称や機能）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第2回	【一般教養】漢字（訓読み送り仮名編）② 【計算処理能力】電卓（加減算の基本及び操作方法）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第3回	【一般教養】漢字（訓読み送り仮名編）③ 【計算処理能力】電卓（見取算の基本及び操作方法）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第4回	【一般教養】漢字（熟語編）① 【計算処理能力】電卓（乗算の基本及び操作方法）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第5回	【一般教養】漢字（熟語編）② 【計算処理能力】電卓（除算の基本及び操作方法）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第6回	【一般教養】漢字（熟語編）③ 【計算処理能力】電卓（伝票算の基本及び操作方法）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第7回	【一般教養】漢字（熟語編）④ 【計算処理能力】電卓（見取算構成比率の考え方及び求め方）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第8回	【一般教養】漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）① 【計算処理能力】電卓（乗算構成比率の考え方及び求め方）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第9回	【一般教養】漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）② 【計算処理能力】電卓（除算構成比率の考え方及び求め方）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第10回	【一般教養】漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）③ 【計算処理能力】電卓（伝票算構成比率の考え方及び求め方）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第11回	【一般教養】漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）④ 【計算処理能力】電卓（電卓速度向上レクチャー）①	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第12回	【一般教養】漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）① 【計算処理能力】電卓（電卓速度向上レクチャー）②	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第13回	【一般教養】漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）② 【計算処理能力】電卓（電卓速度向上レクチャー）③	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第14回	【一般教養】漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）③ 【計算処理能力】電卓（キータッチ正確性向上レクチャー）①	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第15回	【一般教養】漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）④ 【計算処理能力】電卓（キータッチ正確性向上レクチャー）②	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第16回	【一般教養】漢字能力検定試験項目別問題（訓読み送り仮名編） 【計算処理能力】電卓技能検定試験対策問題①	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第17回	【一般教養】漢字能力検定試験項目別問題（熟語編） 【計算処理能力】電卓技能検定試験対策問題②	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第18回	【一般教養】漢字能力検定試験項目別問題（熟語編） 【計算処理能力】電卓技能検定試験対策問題③	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第19回	【一般教養】漢字能力検定試験項目別問題 （同音異義・異字同訓・反対語・類義語編） 【計算処理能力】電卓技能検定試験対策問題④	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第20回	【一般教養】漢字能力検定試験項目別問題 （誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方編） 【計算処理能力】電卓技能検定試験対策問題⑤	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第21回	自己分析①（高校時代の自分を振り返る）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第22回	自己分析②（周りから見た自分の印象を知る）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第23回	自己分析③（自分の長所・短所を考える）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第24回	自己分析④（学生時代打ち込んだこと　～学業面～）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第25回	自己分析⑤（学生時代打ち込んだこと　～学業面以外～）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第26回	【一般教養】漢字能力検定試験　直前模擬試験第1回	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第27回	【一般教養】漢字能力検定試験　直前模擬試験第2回	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第28回	【一般教養】漢字能力検定試験　直前模擬試験第3回	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第29回	【一般教養】漢字能力検定試験　直前模擬試験第4回	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第30回	【一般教養】漢字能力検定試験　直前模擬試験第5回	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
準備学習等	予習と復習については適宜講義中に指示する。	

教科書 参考書等	漢字能力検定試験対策問題集2級・3級（学校法人　大原学園） 漢字能力検定試験対策直前模擬試験　第1回～第5回（学校法人　大原学園） 電卓技能検定試験　段位、1・2、3・4級問題（大原出版） ※受験級に合わせて各自購入 電卓技能検定試験　段位、1・2、3・4級伝票算問題（大原出版） ※受験級に合わせて各自購入
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 社会人基礎Ⅰは、上記学科の必修科目であるため、各学科各学年合同授業となる。 また、受講生を複数の教室に分けて講義を行うため、科目教員を多く配置している。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	社会人基礎Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	3単位
科目教員	鈴木　秀俊、菊地　裕俊、工藤　英一、 千葉　菜愛、宍戸　雄翔	授業回数	30回
科目教員のうち 実務経験教員		成績評価方法	筆記試験　：　70　％ 授業態度　：　30　％ ：　％ ：　％ ：　％
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	一般社会常識及び仕事に必要な知識やビジネスマナーを学び、人間関係を良好に保つために必要なコミュニケーション能力を身につけることを目的とする。また、社会人基礎Ⅰに引き続き、ビジネスの場で即戦力となる一般教養及び集計能力を高めるため、全国経理教育協会主催社会人常識マナー検定試験、日本ビジネス技能検定協会主催漢字能力検定試験及び日本電卓技能検定協会主催各種段位級取得を到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	【社会人常識マナー】社会と組織 【一般教養】漢字（訓読み送り仮名編）①	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第2回	【一般教養】漢字（訓読み送り仮名編）② 【集計処理能力】電卓技能検定試験対策問題演習①	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第3回	【社会人常識マナー】仕事と成果 【一般教養】漢字（訓読み送り仮名編）③	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第4回	【一般教養】漢字（熟語編）① 【集計処理能力】電卓技能検定試験対策問題演習②	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第5回	【社会人常識マナー】一般知識 【一般教養】漢字（熟語編）①	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第6回	【一般教養】漢字（熟語編）② 【集計処理能力】電卓技能検定試験　対策問題演習③	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第7回	【社会人常識マナー】ビジネス計算 【一般教養】漢字（熟語編）③	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第8回	【一般教養】漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）① 【集計処理能力】電卓技能検定試験　対策問題演習④	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第9回	【社会人常識マナー】ビジネスコミュニケーション 【一般教養】漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）②	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第10回	【一般教養】漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）③ 【集計処理能力】電卓技能検定試験　対策問題演習⑤	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第11回	【社会人常識マナー】社会人にふさわしい言葉遣い 【一般教養】漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）④	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第12回	【一般教養】漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）① 【集計処理能力】電卓技能検定試験　対策問題演習⑥	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第13回	【社会人常識マナー】ビジネス文書の書き方と留意点 【一般教養】漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）②	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第14回	【一般教養】漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）③ 【集計処理能力】電卓技能検定試験　対策問題演習⑦	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第15回	【社会人常識マナー】職場のマナー、来客応対 【一般教養】漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）④	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第16回	【一般教養】漢字能力検定試験　項目別問題①（訓読み送り仮名編） 【集計処理能力】電卓技能検定試験　対策問題演習⑧	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第17回	【社会人常識マナー】電話応対、交際業務 【一般教養】漢字能力検定試験　項目別問題②（熟語編）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第18回	【一般教養】漢字能力検定試験　項目別問題③（熟語編） 【集計処理能力】電卓技能検定試験　対策問題演習⑨	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第19回	【社会人常識マナー】文書類の受け取りと発送 【一般教養】漢字能力検定試験　項目別問題④ （同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第20回	【一般教養】漢字能力検定試験　項目別問題⑤ （誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方編） 【集計処理能力】電卓技能検定試験　対策問題演習⑩	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第21回	【社会人常識マナー】過去問題　演習・解説①	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第22回	【社会人常識マナー】過去問題　演習・解説②	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第23回	【社会人常識マナー】過去問題　演習・解説③	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第24回	【社会人常識マナー】過去問題　演習・解説④	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第25回	【社会人常識マナー】過去問題　演習・解説⑤	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第26回	【一般教養】漢字能力検定試験　直前模擬試験　第1回	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第27回	【一般教養】漢字能力検定試験　直前模擬試験　第2回	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第28回	【一般教養】漢字能力検定試験　直前模擬試験　第3回	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第29回	【一般教養】漢字能力検定試験　直前模擬試験　第4回	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第30回	【一般教養】漢字能力検定試験　直前模擬試験　第5回	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
準備学習等	予習と復習については適宜講義中に指示する。	

教科書参考書等	社会人常識マナー検定テキスト（株式会社エデュプレス） 社会人常識マナー検定試験　過去問題集（公益社団法人　全国経理教育協会） 漢字能力検定試験対策問題集2級（学校法人　大原学園） 漢字能力検定試験対策直前模擬試験　第1回～第5回（学校法人　大原学園） 電卓技能検定試験　段位、1・2、3・4級問題（大原出版） 　※受験級に応じて各自購入 電卓技能検定試験　段位、1・2、3・4級伝票算問題（大原出版） 　※受験級に応じて各自購入
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 社会人基礎Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科各学科合同授業となる。 また、受講生を複数の教室に分けて講義を行うため、科目教員を多く配置している。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	社会人基礎III	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	鈴木　秀俊、菊地　裕俊、工藤　英一、 千葉　菜愛、宍戸　雄翔	授業回数	30回
科目教員のうち 実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「社会人基礎Ｉ」及び「社会人基礎II」で学んだ内容を基礎として、自己の履歴書を作成するとともに、業界研究、業種研究等を行い自分にマッチングした仕事を見つけ、社会人として必要なビジネススキル及び対人能力（協調性、リーダーシップ、傾聴力）を養うことを授業目的とする。また、自分の意見や考えを臆することなく述べることができる様にすることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	職業理解、会社選びのポイント	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第2回	企業へのアクセス 応募書類の準備	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第3回	就職活動におけるスケジュールの管理とトラブル対応 （就職体験報告会）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第4回	一般常識講義（時事①、SPI適性試験①）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第5回	一般常識講義（SPI・適性検査対策①） 対人能力向上（グループディスカッション①）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第6回	一般常識講義（時事②） 社会人マナー（入退室等の作法①）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第7回	一般常識講義（SPI・適性検査対策②） 対人能力向上（集団面接①）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第8回	一般常識講義（時事③） 対人能力向上（集団面接②）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第9回	一般常識講義（SPI・適正検査対策③、作文作成法）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第10回	一般常識講義（時事④、SPI適性試験②）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第11回	一般常識講義（SPI・適性検査対策④） 対人能力向上（グループディスカッション②）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第12回	一般常識講義（時事⑤） 社会人マナー（入退室等の作法②）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第13回	一般常識講義（SPI・適性検査対策⑤） 対人能力向上（個人面接①）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第14回	一般常識講義（時事⑥） 対人能力向上（個人面接②）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第15回	効果測定（入退室等の作法）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第16回	企業研究①（企業情報、事業内容）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第17回	企業研究②（採用情報）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第18回	企業研究③（人事・教育制度、福利厚生）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第19回	企業研究④（同業界での他社との比較）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第20回	企業研究⑤（企業とのマッチング具合を分析する）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第21回	業界研究①（業界の全体像を捉える）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第22回	業界研究②（業界ごとの特徴を理解する）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第23回	業界研究③（業界の成長性・安定性を知る）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第24回	職種研究①	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第25回	職種研究②	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第26回	自己分析①（適性検査）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第27回	自己分析②（趣味、余暇活動を振り返る）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第28回	自己分析③（ボランティア活動、部活動を振り返る）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第29回	自己分析④（自己PRの作成）	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第30回	履歴書の作成	鈴木　秀俊 菊地　裕俊 工藤　英一 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
準備学習等	予習と復習については適宜講義中に指示する。	

教科書 参考書等	就職ガイドブック（学校法人　大原学園） 就職ノートブック（学校法人　大原学園） 就職模擬試験（実務教育出版）※適性検査で使用 SPI対策テスト　Type-B（株式会社　教育企画センター）※適性検査で使用 ラインズSPI（ラインズ株式会社）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 社会人基礎Ⅲは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。 また、受講生を複数の教室に分けて講義をするため、科目教員を多く配置している。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	複式簿記の原理	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	工藤　英一	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 50 % ミニテスト : 30 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	小規模の株式会社を前提とした簿記を学習します。簿記の基本となる日々の取引の仕訳ができるようになること、さらには決算処理を行い帳簿記入ができるようになることを目的としています。 また、最終的には日本商工会議所主催簿記検定試験3級に合格できる能力を身につけることを目標としています。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	簿記の目的 簿記一巡の手続き 株式会社の資本	工藤　英一
第2回	商品売買Ⅰ（3分法、売掛金、買掛金、返品、分記法の記帳方法）	工藤　英一
第3回	商品売買Ⅱ（仕入諸掛、販売諸掛、前払金、前受金、受取商品券）	工藤　英一
第4回	繰越商品および仕入の決算整理 精算表の作成	工藤　英一

第5回	現金および預金 当座借越の振替え 手形の記帳方法	工藤　英一
第6回	第1回確認テスト実施および解説 受取手形および売掛金の決算整理	工藤　英一
第7回	有形固定資産 有形固定資産の決算整理 現金過不足及び現金の決算整理	工藤　英一
第8回	貯蔵品の決算整理 その他の債権および債務の記帳方法	工藤　英一
第9回	税金、消費税、法人税等の決算整理 訂正仕訳	工藤　英一
第10回	損益計算書および貸借対照表の作成	工藤　英一
第11回	第2回確認テスト実施および解説	工藤　英一
第12回	主要簿と補助簿 現金出納帳および当座預金出納帳 小口現金出納帳	工藤　英一
第13回	仕入帳、売上帳 売掛金元帳、買掛金元帳 商品有高帳	工藤　英一
第14回	手形記入帳 固定資産管理台帳	工藤　英一
第15回	試算表の作成 伝票会計	工藤　英一

準備学習等	日々の復習を欠かさずに行うことが重要です。わからないところはそのままにせず質問するようにしてください。また、授業の始めに前回の授業範囲の確認のためにミニテストを行いますので、復習を徹底するようにしてください。予習は不要です。

教科書 参考書等	ALFA　3級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　3級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　3級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記3級商業簿記（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。複式簿記の原理は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	株式会社会計	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	工藤　英一	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：50％ ミニテスト：30％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「複式簿記の原理」で履修した内容を基に、数多くの問題を科目教員と共に解答し、解答のテクニックを習得します。そして本試験レベルの問題に対応できる力を養うことを目的としています。さらに、項目ごとに一通りの処理を確認するとともに、各自の苦手項目を明確にし重点的に確認を行います。日本商工会議所主催簿記検定試験3級に合格できる能力を身につけることを到達目標としています。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	項目別答練問題集実施、解説 仕訳：商品売買 試算表：合計残高試算表 財務諸表：精算表	工藤　英一
第2回	項目別答練問題集実施、解説 仕訳：固定資産 試算表：合計試算表 財務諸表：精算表	工藤　英一

第3回	項目別答練問題集実施、解説 仕訳：貸倒れ、貸付金、借入金 試算表：残高試算表 財務諸表：損益計算書および貸借対照表	工藤　英一
第4回	項目別答練問題集実施、解説 仕訳：給料、現金過不足 試算表：合計残高試算表 財務諸表：損益計算書および貸借対照表	工藤　英一
第5回	項目別答練問題集実施、解説 仕訳：仮受金、仮払金、その他 試算表：合計試算表 財務諸表：精算表	工藤　英一
第6回	項目別答練問題集実施、解説 仕訳：訂正仕訳 試算表：残高試算表 財務諸表：損益計算書および貸借対照表	工藤　英一
第7回	直前対策講義実施、解説 仕訳：商品売買 個別問題：伝票 試験対策問題演習・解説①	工藤　英一
第8回	直前対策講義実施、解説 仕訳：債権・債務 個別問題：商品有高帳 模擬試験問題演習・解説②	工藤　英一
第9回	直前対策講義実施、解説 仕訳：有形固定資産 個別問題：補助問題 模擬試験問題演習・解説③	工藤　英一
第10回	直前対策講義実施、解説 仕訳：株式会社の資本、その他の取引① 個別問題：勘定記入 模擬試験問題演習・解説④	工藤　英一
第11回	直前対策講義実施、解説 仕訳：その他の取引②③ 個別問題：固定資産台帳 模擬試験問題演習・解説⑤	工藤　英一

第12回	模擬試験問題演習・解説⑥	工藤　英一
第13回	模擬試験問題演習・解説⑦	工藤　英一
第14回	模擬試験問題演習・解説⑧	工藤　英一
第15回	模擬試験問題演習・解説⑨	工藤　英一

準備学習等	毎回の問題のやり直しを徹底してください。また、授業だけでなく各自で勉強の時間を確保し、苦手項目の復習に力を入れてください。理解が不十分な場合には科目教員に質問し解決したうえで次回の授業に臨むようにし、自宅学習の方法等で迷った場合も科目教員に相談するようにしてください。なお、予習は不要です。
教科書 参考書等	ALFA　3級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） 日商簿記３級　過去問分析より徹底予想！試験によく出る問題集　（大原出版） ESSENTIAL　項目別答練問題集（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　項目別答練解答集（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の授業内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。株式会社会計は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	株式会社会計演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤　英一	授業回数	5回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「複式簿記の原理」及び「株式会社会計」で履修した内容を基に、本試験を意識して問題演習を行います。さらに本試験前の時間の使い方や時間配分を意識することで、より本試験に対応できる能力を身につけることを目的としています。また、日本商工会議所主催簿記検定試験3級に合格できるレベルを目指します。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 問題演習・解説　直前模擬試験　第１回	工藤　英一
第2回	問題演習・解説直前模擬試験　第２回	工藤　英一
第3回	問題演習・解説直前模擬試験　第３回	工藤　英一
第4回	問題演習・解説オリジナル模擬試験	工藤　英一
第5回	問題演習・解説　最終確認問題 総論	工藤　英一

準備学習等	本試験直前の問題演習です。やり直しを完璧に行い、分からないところがある場合には科目教員に質問し、解決したうえで次の問題演習に臨むようにしてください。また、本試験と同じ時間帯で行いますので、始まる前の時間の使い方や時間配分、見直しの仕方なども意識して臨むようにしましょう。
教科書 参考書等	ALFA　3級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　3級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　3級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記3級商業簿記（大原出版） 日商３級　過去問分析より徹底予想！　試験によく出る問題集（大原出版） ESSENTIAL　項目別答練問題集（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　項目別答練解答集（学校法人　大原学園） 2025年度　日商簿記検定対策　直前模擬試験　第1回～第4回（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 株式会社会計演習Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	中小企業会計Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
		授業回数	18回
科目教員	菊地　裕俊、宍戸　雄翔、 中島　京哉、千葉　菜愛	成績評価方法	筆記試験　：　50　％
			ミニテスト　：　30　％
			授業態度　：　20　％
科目教員のうち実務経験教員			：　％
			：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	中小企業を前提とした商業簿記及び工業簿記を学習する。商業簿記については、日々の会計処理から決算処理を行い、損益計算書及び貸借対照表の財務諸表を作成する知識技術を習得する。工業簿記については、各業態における原価計算の手続きを習得する。財務諸表を作成する知識技術を身につけ、短期利益計画及び損益分岐分析ができることを目的とする。最終的には、日本商工会議所主催簿記検定試験2級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	工業簿記総論 原価計算の手続き(個別原価計算・総合原価計算)	菊地　裕俊 中島　京哉
第2回	簿記一巡の手続き、財務諸表、現金預金、債権・債務	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第3回	材料費会計、労務費会計、経費会計、製造間接費会計	菊地　裕俊 中島　京哉
第4回	棚卸資産、有価証券	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第5回	部門別計算、単純個別原価計算	菊地　裕俊 中島　京哉

第6回	有形固定資産、リース会計	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第7回	無形固定資産、 ソフトウェア、引当金	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第8回	単純総合原価計算、工程別総合原価計算 組別・等級別総合原価計算	菊地　裕俊 中島　京哉
第9回	収益及び費用、研究開発費、為替換算会計	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第10回	株式会社の純資産、株式の発行、剰余金の配当	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第11回	標準原価計算、CVP分析	菊地　裕俊 中島　京哉
第12回	企業結合、消費税、法人税等、税効果会計	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第13回	直接原価計算、全部原価計算、固定費調整	菊地　裕俊 中島　京哉
第14回	損益計算書、貸借対照表、精算表、補助簿	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第15回	本支店会計	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第16回	工場会計、公企業の財務諸表	菊地　裕俊 中島　京哉
第17回	連結会計 連結会社相互間取引の相殺消去等、未実現損益の消去	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第18回	製造業を営む会社の決算処理	宍戸　雄翔 千葉　菜愛

準備学習等	簿記は日々の復習の積み重ねが重要。難易度の高い範囲も含まれていることから、分からないところは質問し、問題集等で繰り返し復習を行うこと。また、毎回の授業の始めに前回の授業範囲から確認テストを実施する。予習は不要。

教科書 参考書等	【商業簿記】 ALFA　2級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記2級商業簿記（大原出版） 【工業簿記】 ALFA　2級工業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記2級工業簿記（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 中小企業会計Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	中小企業会計Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
		授業回数	18回
科目教員	菊地　裕俊、宍戸　雄翔、 中島　京哉、千葉　菜愛	成績評価方法	筆記試験　：　50　％
			ミニテスト　：　30　％
			授業態度　：　20　％
科目教員のうち実務経験教員			：　％
			：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「中小企業会計Ⅰ」で履修した内容を前提とし、数多くの問題を科目教員と共に解答し、解答のテクニックを習得する。そして、中小企業の実務における各取引の会計処理ができることを目的とする。また、日本商工会議所主催簿記検定試験2級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	答練期問題集項目別解説 （材料費会計、労務費会計、経費会計、製造間接費会計）	菊地　裕俊 中島　京哉
第2回	商業簿記問題、解説 演習答練　第1回、第2回 （仕訳、株主資本等変動計算書、有価証券、損益計算書）	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第3回	答練期問題集項目別解説 (部門別計算)	菊地　裕俊 中島　京哉
第4回	商業簿記問題、解説 演習答練　第3回、第4回 （仕訳、商品売買、固定資産、損益計算書）	宍戸　雄翔 千葉　菜愛

第5回	答練期問題集項目別解説 (個別原価計算、単純総合原価計算)	菊地　裕俊 中島　京哉
第6回	商業簿記問題、解説 演習答練　第5回、第6回 （仕訳、銀行勘定調整表、株主資本等変動計算書、貸借対照表）	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第7回	商業簿記問題、解説 演習答練　第7回、第8回（仕訳、有価証券、固定資産、貸借対照表）	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第8回	答練期問題集項目別解説 (工程別総合原価計算、組別総合原価計算、等級別総合原価計算)	菊地　裕俊 中島　京哉
第9回	商業簿記問題、解説 演習答練　第9回（仕訳、商品売買、損益計算書・貸借対照表）	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第10回	商業簿記問題、解説 演習答練　第10回（仕訳、リース会計、精算表）	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第11回	答練期問題集項目別解説 (標準原価計算、CVP分析)	菊地　裕俊 中島　京哉
第12回	商業簿記問題、解説 演習答練　第11回、第12回（仕訳、伝票会計、残高試算表、精算表）	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第13回	答練期問題集項目別解説 (直接原価計算、全部原価計算、固定費調整)	菊地　裕俊 中島　京哉
第14回	商業簿記問題、解説 演習答練　第13回（仕訳、外貨建て、残高試算表）	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第15回	商業簿記問題、解説 演習答練　第14回（仕訳、語句記入、サービス業の損益計算書）	宍戸　雄翔 千葉　菜愛
第16回	答練期問題集項目別解説 (工場会計、公企業の財務諸表)	菊地　裕俊 中島　京哉
第17回	商業簿記問題、解説 演習答練　第15回（仕訳、株主資本等変動計算書、連結精算表）	宍戸　雄翔 千葉　菜愛

第18回	商業簿記問題、解説 演習答練　第16回（仕訳、本支店会計、連結精算表）	宍戸　雄翔 千葉　菜愛

準備学習等	簿記は日々の復習の積み重ねが重要。難易度の高い範囲も含まれていることから、分からないところは質問し、問題集等で繰り返し復習を行うこと。また、毎回の授業の始めに前回の授業範囲から確認テストを実施する。予習は不要。
教科書 参考書等	【商業簿記】 ALFA　2級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記2級商業簿記（大原出版） ESSENTIAL　簿記2級受験用　答練期問題集　演習問題編　（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　簿記2級受験用　答練期解答集　演習問題編　（学校法人　大原学園） 日商簿記２級　過去問分析より徹底予想！　試験に出る問題集　（大原出版） 簿記能力検定試験　過去問題集　商業簿記　（一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 2級商業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　問題　（学校法人　大原学園） 2級商業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　解答・解説　（学校法人　大原学園） 【工業簿記】 ALFA　2級工業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記2級工業簿記（大原出版） ESSENTIAL　簿記2級受験用　答練期問題集　項目別編　（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　簿記2級受験用　答練期解答集　項目別編　（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　日商簿記過去問　問題編　（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　日商簿記過去問　解答編　（学校法人　大原学園） 簿記能力検定試験　過去問題集　工業簿記　（一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） ２級工業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　問題　（学校法人　大原学園） ２級工業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　解答・解説（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 中小企業会計Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

009.中小企業会計演習Ⅰ

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	中小企業会計演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	2単位
科目教員	菊地　裕俊、宍戸　雄翔、 中島　京哉、千葉　菜愛	授業回数	12回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「中小企業会計Ⅰ」及び「中小企業会計Ⅱ」を前提とし、数多くの問題を解いていく。その過程で、問題の内容を把握する読解力を養うことや、解法が1つではないことから正答を導き出すため自ら考え、判断する力を養成する。なお、日本商工会議所主催簿記検定試験2級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	直前模擬試験　第１回 演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔 中島　京哉 千葉　菜愛
第2回	直前模擬試験　第２回 演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔 中島　京哉 千葉　菜愛

第3回	弱点克服問題演習①	菊地　裕俊 宍戸　雄翔 中島　京哉 千葉　菜愛
第4回	直前模擬試験　第３回 演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔 中島　京哉 千葉　菜愛
第5回	直前模擬試験　第４回 演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔 中島　京哉 千葉　菜愛
第6回	オリジナル模擬試験　第１回 演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔 中島　京哉 千葉　菜愛
第7回	直前模擬試験　第５回 演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔 中島　京哉 千葉　菜愛
第8回	直前模擬試験　第６回 演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔 中島　京哉 千葉　菜愛
第9回	弱点克服問題演習②	菊地　裕俊 宍戸　雄翔 中島　京哉 千葉　菜愛
第10回	オリジナル模擬試験　第２回 演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔 中島　京哉 千葉　菜愛
第11回	弱点克服問題演習③	菊地　裕俊 宍戸　雄翔 中島　京哉 千葉　菜愛

第12回	最終確認問題 演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔 中島　京哉 千葉　菜愛

準備学習等	毎回の問題演習を本試験と考え緊張感を持って挑むこと。間違えた問題・論点の復習を徹底する。不明な点は科目教員に質問・相談すること。
教科書 参考書等	【商業簿記】 ALFA　2級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） 日商簿記２級　過去問分析より徹底予想！　試験に出る問題集　（大原出版） 簿記能力検定試験　過去問題集　商業簿記　（一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 2級商業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　問題(学校法人　大原学園) 2級商業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　解答・解説(学校法人　大原学園) 【工業簿記】 ALFA　2級工業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　日商簿記過去問題（問題編）（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　日商簿記過去問題（解答編）（学校法人　大原学園） 簿記能力検定試験　過去問題集　工業簿記　（一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 2級工業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　問題(学校法人　大原学園) 2級工業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　解答・解説(学校法人　大原学園) 【共通】 2025年度　日商簿記検定対策　直前模擬試験　第1回～第6回（学校法人　大原学園） 2025年度試験あてるTAC予想模試+解き方テキスト　日商簿記２級（TAC出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。中小企業会計演習Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	公開企業会計Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	菊地　裕俊、宍戸　雄翔	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 50 % ミニテスト : 30 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	大企業及び上場企業を前提とし、日々の取引から財務諸表作成までの簿記一巡の会計処理ができる商業簿記及び会計学の基礎知識を習得する。また、製造業を前提とした企業の会計処理を行うための工業簿記及び原価計算の基礎知識を習得することを目的とする。その上で、本講義終了後の科目「公開企業会計Ⅱ」に積極的に取り組めるようにする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	有価証券、デリバティブ取引、ヘッジ会計、有形固定資産	宍戸　雄翔
第2回	工業簿記総論、費目別計算	菊地　裕俊
第3回	割引現在価値、リース取引	宍戸　雄翔
第4回	部門別原価計算、個別原価計算	菊地　裕俊

第5回	研究開発費、ソフトウェア、減損、繰延資産	宍戸　雄翔
第6回	総合原価計算総論、単純総合原価計算、工程別総合原価計算	菊地　裕俊
第7回	社債、引当金	宍戸　雄翔
第8回	退職給付、資産除去債務	宍戸　雄翔
第9回	組別総合原価計算、等級別総合原価計算、連産品、副産物	菊地　裕俊
第10回	純資産、新株予約権、ストックオプション	宍戸　雄翔
第11回	標準原価計算、直接原価計算、全部原価計算	菊地　裕俊
第12回	税効果会計	宍戸　雄翔
第13回	CVP分析、原価分解、事業部制	菊地　裕俊
第14回	外貨建取引	宍戸　雄翔
第15回	簿記1級本科統一模擬試験　第1回　実施・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔
準備学習等	毎回の授業の始めに確認テストを実施し、前回の授業範囲が理解できているか確認を行う。 確認テストを解答できるよう、毎日の授業の復習を怠らないようにすること。	

教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅠ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅡ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記1級　商簿・会計（大原出版） 【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記1級　工簿・原計（大原出版） 【共通】 簿記1級本科統一模擬試験　第1回（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 公開企業会計Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	公開企業会計Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	菊地　裕俊、宍戸　雄翔	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 50 % ミニテスト : 30 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「公開企業会計Ⅰ」を前提に、会計専門職(税理士・公認会計士等)を目指す者として高度な商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算を習得し、会計基準や財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができることを目的とする。また、日本商工会議所主催簿記検定試験1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	商品売買等	宍戸　雄翔
第2回	予算管理、予算編成、予算統制	菊地　裕俊
第3回	工事契約、本支店会計	宍戸　雄翔
第4回	意思決定会計総論、業務的意思決定会計	菊地　裕俊
第5回	連結財務諸表総論、資本連結、成果連結	宍戸　雄翔
第6回	構造的意思決定会計	菊地　裕俊

第7回	持分法、連結税効果会計、包括利益	宍戸　雄翔
第8回	簿記1級本科統一模擬試験　第2回　実施・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔
第9回	在外子会社、企業結合	宍戸　雄翔
第10回	戦略的原価計算	菊地　裕俊
第11回	事業分離	宍戸　雄翔
第12回	過去試験問題演習解説①（日商簿記過去試験問題第161回、第162回）	菊地　裕俊
第13回	キャッシュ・フロー計算書	宍戸　雄翔
第14回	連結キャッシュ・フロー計算書、会計上の変更及び誤謬の訂正	宍戸　雄翔
第15回	簿記1級本科統一模擬試験　第3回　実施・解説	菊地　裕俊

準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点等は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。

教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅠ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅡ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅱ　（学校法人　大原学園版） ステップアップ問題集　日商簿記1級　商簿・会計（大原出版） 【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　解答集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　基礎答練　問題編（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　基礎答練　解答編（学校法人　大原学園） 簿記1級受験用　日商簿記過去問　問題編（学校法人　大原学園） 簿記1級受験用　日商簿記過去問　解答編（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記1級　工簿・原計（大原出版） 1級工業簿記・原価計算　基礎期　模擬試験①～⑥　問題　（学校法人　大原学園） 1級工業簿記・原価計算　基礎期　模擬試験①～⑥　解答・解説　（学校法人　大原学園） 【共通】 簿記1級本科統一模擬試験　第2回（学校法人　大原学園） 簿記1級本科統一模擬試験　第3回（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 公開企業会計Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

012.公開企業会計演習Ⅰ

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	公開企業会計演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	2単位
科目教員	菊地　裕俊、宍戸　雄翔	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「公開企業会計Ⅰ」及び「公開企業会計Ⅱ」を前提とし、ここまでに習得した知識を活用し、商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算の問題演習を行う。難易度の高い問題を解くことで、知識の定着を図る。さらに、会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができることを目的とする。また、日本商工会議所主催簿記検定試験1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	日商簿記検定第170回対策　直前模擬試験　第1回　演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔
第2回	日商簿記検定第170回対策　直前模擬試験　第2回　演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔
第3回	日商簿記検定第170回対策　直前模擬試験　第3回　演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔
第4回	弱点克服問題演習①	菊地　裕俊 宍戸　雄翔
第5回	日商簿記検定第170回対策　直前模擬試験　第4回　演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔

第6回	日商簿記検定第170回対策　直前模擬試験　第5回　演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔
第7回	日商簿記検定第170回対策　直前模擬試験　第6回　演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔
第8回	弱点克服問題演習②	菊地　裕俊 宍戸　雄翔
第9回	日商簿記検定第170回対策　全国統一公開模擬試験	菊地　裕俊 宍戸　雄翔
第10回	最終確認問題演習・解説	菊地　裕俊 宍戸　雄翔

準備学習等	日々の授業が本試験だと考え、常に緊張感をもって取り組むこと。また、基礎論点の復習を中心的に行うことによって応用力が身につくものと認識すること。なお、予習は不要。
教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅠ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅡ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅱ　（学校法人　大原学園） 1級商業簿記・会計学　基礎期　模擬試験①～⑧　問題用紙（学校法人　大原学園） 1級商業簿記・会計学　基礎期　模擬試験①～⑧　解答・解説（学校法人　大原学園） 1級商業簿記・会計学　基礎期　確認テスト①～⑧　問題用紙（学校法人　大原学園） 1級商業簿記・会計学　基礎期　確認テスト①～⑧　解答・解説（学校法人　大原学園） 【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　解答集　（学校法人　大原学園版） 1級工業簿記・原価計算　基礎期　模擬試験①～⑥　問題用紙（学校法人　大原学園） 1級工業簿記・原価計算　基礎期　模擬試験①～⑥　解答・解説（学校法人　大原学園） 【共通】 日商簿記検定第170回対策　直前模擬試験　第1回～第6回（学校法人　大原学園） 日商簿記検定第170回対策　全国統一公開模擬試験（学校法人　大原学園） 過去問題集　日商簿記1級（大原出版） 第170回をあてるTAC直前予想模擬　日商簿記１級
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 公開企業会計演習Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	商業簿記上級	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	宍戸　雄翔	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 ： 50 % ミニテスト ： 30 % 授業態度 ： 20 % ： % ： %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「公開企業会計Ⅱ」を前提に、会計専門職（税理士・公認会計士等）を目指すものとして高度な商業簿記・財務会計を習得し、会計基準や財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、財務諸表作成ができることを目的とする。また、最終的には全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	財務諸表分析、一般原則	宍戸　雄翔
第2回	損益計算書原則	宍戸　雄翔
第3回	貸借対照表原則	宍戸　雄翔
第4回	資産会計、負債会計	宍戸　雄翔
第5回	純資産会計	宍戸　雄翔

第6回	外貨建取引会計	宍戸　雄翔
第7回	税効果会計	宍戸　雄翔
第8回	企業結合会計	宍戸　雄翔
第9回	連結会計	宍戸　雄翔
第10回	キャッシュ・フロー会計	宍戸　雄翔
第11回	会計上の変更と誤謬の訂正	宍戸　雄翔
第12回	概念フレームワーク	宍戸　雄翔
第13回	会社再編の会計①	宍戸　雄翔
第14回	会社再編の会計②	宍戸　雄翔
第15回	四半期連結財務諸表	宍戸　雄翔

準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。
教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅠ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅡ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅱ　（学校法人　大原学園） 全経簿記上級　商業簿記・財務会計テキスト（中央経済社） 全経簿記能力検定試験標準問題集　上級商業簿記・財務会計（中央経済社） 簿記検定全経上級　直前対策講義　商業簿記・財務会計（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 商業簿記上級は、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

014.工業簿記上級

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	工業簿記上級	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	菊地　裕俊	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 50 % ミニテスト : 30 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「公開企業会計Ⅱ」を前提に、会計専門職（税理士・公認会計士等）を目指すものとして高度な工業簿記・原価計算を習得し、経営管理や経営分析ができることを目的とする。また、最終的には全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	費目別計算、個別原価計算、部門別原価計算、責任会計	菊地　裕俊
第2回	部門別原価計算、個別原価計算	菊地　裕俊
第3回	総合原価計算	菊地　裕俊
第4回	標準原価計算	菊地　裕俊
第5回	直接原価計算、全部原価計算、CVP分析、原価分解	菊地　裕俊
第6回	事業部制	菊地　裕俊

第7回	意思決定の原価概念、業務的意思決定	菊地　裕俊
第8回	構造的意思決定	菊地　裕俊
第9回	戦略的原価計算	菊地　裕俊
第10回	工場独立会計	菊地　裕俊
第11回	直前対策講義　過去問題解説(第195回、第197回)	菊地　裕俊
第12回	直前対策講義　過去問題解説(第199回、第201回)	菊地　裕俊
第13回	直前対策講義　過去問題解説(第203回、第205回)	菊地　裕俊
第14回	直前対策講義　過去問題解説(第207回、第209回)	菊地　裕俊
第15回	直前対策講義　過去問題解説(第211回、第213回)	菊地　裕俊

準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。
教科書 参考書等	【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　解答集　（学校法人　大原学園） 全経簿記上級　原価計算・管理会計テキスト（中央経済社） 全経簿記能力検定試験標準問題集　上級原価計算・管理会計（中央経済社） 簿記検定全経上級　直前対策講義　原価計算・管理会計（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 原価計算上級は、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

015.日商簿記１級Ⅰ

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	日商簿記１級Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	菊地　裕俊、千葉　菜愛、宍戸　雄翔	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：50％ ミニテスト：30％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	大企業及び上場企業を前提とし、日々の取引から財務諸表作成までの簿記一巡の会計処理ができる商業簿記及び会計学の基礎知識を習得する。また、製造業を前提とした企業の会計処理を行うための工業簿記及び原価計算の基礎知識を習得することを目的とする。その上で、本講義終了後の科目「日商簿記１級Ⅱ」に積極的に取り組めるようにする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	有価証券、デリバティブ取引、ヘッジ会計	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第2回	工業簿記総論、費目別計算、個別原価計算	菊地　裕俊
第3回	有形固定資産、割引現在価値	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第4回	部門別原価計算、部門個別原価計算	菊地　裕俊

第5回	リース取引	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第6回	総合原価計算総論、単純総合原価計算	菊地　裕俊
第7回	研究開発費、ソフトウェア、減損、繰延資産	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第8回	社債、引当金	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第9回	工程別総合原価計算、組別総合原価計算、等級別総合原価計算 副産物、連産品	菊地　裕俊
第10回	退職給付、資産除去債務	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第11回	標準原価計算	菊地　裕俊
第12回	純資産、新株予約権、ストックオプション	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第13回	CVP分析、原価分解	菊地　裕俊
第14回	税効果会計	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第15回	本科統一模擬試験　第1回　実施・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
準備学習等	毎回の授業の始めに確認テストを実施し、前回の授業範囲が理解できているか確認を行う。 確認テストを解答できるよう、毎日の授業の復習を怠らないようにすること。	

教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅠ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記1級　商業簿記・会計学（大原出版） 【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記1級　工業簿記・原価計算（大原出版） 【共通】 本科統一模擬試験　第1回（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記１級Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

016.日商簿記１級Ⅱ

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	日商簿記１級Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	菊地　裕俊、千葉　菜愛、宍戸　雄翔	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：50％ ミニテスト：30％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記１級Ⅰ」を前提に、商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算の知識を深め、基礎的な内容の問題を自力で解けるようにする。また、難解な問題に対し、どのように問題を解いていけばいいかなどの思考力を身につける。その上で、本講義終了後の科目「日商簿記１級Ⅲ」に積極的に取り組めるようにする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	外貨建取引	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第2回	直接原価計算・全部原価計算	菊地　裕俊
第3回	商品売買等	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第4回	CVP分析・原価分解	菊地　裕俊

第5回	工事契約、本支店会計	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第6回	事業部制	菊地　裕俊
第7回	連結財務諸表総論、資本連結、成果連結	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第8回	持分法、連結税効果会計、包括利益	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第9回	意思決定会計総論・業務的意思決定	菊地　裕俊
第10回	在外子会社、企業結合	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第11回	意思決定会計総論・構造的意思決定	菊地　裕俊
第12回	事業分離	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第13回	戦略的原価計算	菊地　裕俊
第14回	キャッシュ・フロー計算書、連結キャッシュ・フロー計算書、 会計上の変更及び誤謬の訂正	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第15回	本科統一模擬試験　第2回　実施・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
準備学習等	毎回の授業の始めに確認テストを実施し、前回の授業範囲が理解できているか確認を行う。 確認テストを解答できるよう、毎日の授業の復習を怠らないようにすること。	

教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅡ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記1級　商簿・会計（大原出版） 【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記1級　工簿・原計（大原出版） 簿記能力検定試験過去試験問題集　1級　工業簿記・原価計算 （一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 【共通】 本科統一模擬試験　第2回（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記１級Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	日商簿記１級III	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
		授業回数	15回
科目教員	菊地　裕俊、千葉　菜愛、宍戸　雄翔	成績評価方法	筆記試験　：　50　％
			ミニテスト　：　30　％
			授業態度　：　20　％
科目教員のうち実務経験教員			：　％
			：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記１級II」、「商業簿記上級」、「原価計算上級」を前提に、会計専門職（税理士・公認会計士等）を目指すものとして高度な商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算を習得し、会計基準や財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができることを目的とする。 また、最終的には日本商工会議所主催簿記検定試験1級及び日本ビジネス技能検定協会主催簿記能力検定試験1級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	【商業簿記・会計学】基礎期模擬試験①②実施・解説	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第2回	【工業簿記・原価計算】項目別（費目別）問題解説	菊地　裕俊
第3回	【商業簿記・会計学】基礎期模擬試験③④　実施・解説	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第4回	【工業簿記・原価計算】項目別（部門別）問題解説	菊地　裕俊

第5回	【商業簿記・会計学】基礎期模擬試験⑤⑥　実施・解説	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第6回	【工業簿記・原価計算】項目別（製品別）問題解説	菊地　裕俊
第7回	【商業簿記・会計学】基礎期模擬試験⑦⑧　実施・解説	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第8回	【商業簿記・会計学】確認テスト①②　実施・解説	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第9回	【工業簿記・原価計算】基礎期　模擬試験①②　実施・解説	菊地　裕俊
第10回	【商業簿記・会計学】確認テスト③④実施・解説	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第11回	【工業簿記・原価計算】基礎期　模擬試験③④　実施・解説	菊地　裕俊
第12回	【商業簿記・会計学】確認テスト⑤⑥実施・解説	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第13回	【工業簿記・原価計算】基礎期　模擬試験⑤⑥　実施・解説	菊地　裕俊
第14回	【商業簿記・会計学】確認テスト⑦⑧実施・解説	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第15回	本科統一模擬試験　第3回　実施・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点等は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。

教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅠ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅡ（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記1級　商簿・会計（学校法人　大原学園） 簿記能力検定試験過去問題集1級　商業簿記・会計学 （一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 1級商業簿記・会計学　基礎期　模擬試験①～⑧　問題用紙（学校法人　大原学園） 1級商業簿記・会計学　基礎期　模擬試験①～⑧　解答・解説（学校法人　大原学園） 1級商業簿記・会計学　基礎期　確認テスト①～⑧　問題用紙（学校法人　大原学園） 1級商業簿記・会計学　基礎期　確認テスト①～⑧　解答・解説（学校法人　大原学園） 【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　基礎答練　問題編（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　基礎答練　解答編（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記1級　工簿・原計（学校法人　大原学園） 簿記能力検定試験過去試験問題集　1級　工業簿記・原価計算 （一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 1級工業簿記・原価計算　基礎期　模擬試験①～⑥　問題用紙（学校法人　大原学園） 1級工業簿記・原価計算　基礎期　模擬試験①～⑥　解答・解説（学校法人　大原学園） 【共通】 本科統一模擬試験　第3回（学校法人　大原学園） 2025年度　日商簿記１級　網羅型完全予想問題集（TAC出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記１級Ⅲは、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

018.日商簿記１級演習Ⅰ

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	日商簿記１級演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	40時間
		単位数	1単位
科目教員	菊地　裕俊、千葉　菜愛、宍戸　雄翔	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記１級Ⅲ」を前提とし、ここまでに習得した知識を活用し、商業簿記・会計学では日本ビジネス技能検定協会主催簿記能力検定試験1級（以下、「日ビ簿記1級」という。）の問題演習を行う。工業簿記・原価計算では、日ビ簿記1級と同程度の問題演習を行う。数多くの問題を解くことにより、知識の定着を図ることを目的とする。 また、日ビ簿記1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	項目別(費目別計算、個別原価計算、部門別計算)解説	菊地　裕俊
第2回	第1回　日ビ簿記1級　過去試験対策　（一部抜粋）	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第3回	項目別(総合原価計算、標準原価計算)解説	菊地　裕俊
第4回	第2回　日ビ簿記1級　過去試験対策　（一部抜粋）	千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第5回	項目別(CVP分析・原価分解)解説	菊地　裕俊
第6回	第3回　日ビ簿記1級　過去試験対策　（一部抜粋）	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第7回	項目別(業務的意思決定、構造的意思決定)解説	菊地　裕俊
第8回	第4回　日ビ簿記1級　過去試験対策　（一部抜粋）	千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第9回	項目別(事業部制・戦略的原価計算)解説	菊地　裕俊
第10回	第5回　日ビ簿記1級　過去試験対策　（一部抜粋）	千葉　菜愛 宍戸　雄翔

準備学習等	日々の授業が本試験だと考え、常に緊張感をもって取り組むこと。また、基礎論点の復習を中心的に行うことによって応用力が身につくものと認識すること。予習は不要。
教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅠ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅡ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅱ　（学校法人　大原学園） 簿記能力検定試験過去問題集1級　商業簿記・会計学 （一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　解答集　（学校法人　大原学園） 簿記能力検定試験過去問題集1級　工業簿記・原価計算 （一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記１級演習Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	日商簿記１級演習Ⅱ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	40時間
		単位数	1単位
科目教員	菊地　裕俊、千葉　菜愛、宍戸　雄翔	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記１級演習Ⅰ」を前提とし、ここまでに習得した知識を活用し、商業簿記・会計学では日本ビジネス技能検定協会主催簿記能力検定試験1級（以下、「日ビ簿記1級」という。）の問題演習を行う。工業簿記・原価計算では、日ビ簿記1級と同程度の問題演習を行う。数多くの問題を解くことにより、知識の定着を図ることを目的とする。また、日ビ簿記1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	日ビ簿記1級　過去試験問題　演習・解説　第１回	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第2回	日ビ簿記1級　過去試験問題　演習・解説　第２回	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第3回	日ビ簿記1級　過去試験問題　演習・解説　第３回	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第4回	日ビ簿記1級　過去試験問題　演習・解説　第４回	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第5回	日ビ簿記1級　過去試験問題　演習・解説　第５回	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第6回	日ビ簿記1級　過去試験問題　演習・解説　第６回	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第7回	日ビ簿記1級　過去試験問題　演習・解説　第７回	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第8回	日ビ簿記1級　過去試験問題　演習・解説　第８回	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第9回	日ビ簿記1級　過去試験問題　演習・解説　第９回	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第10回	日ビ簿記1級　過去試験問題　演習・解説　第１０回	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

準備学習等	日々の授業が本試験だと考え、常に緊張感をもって取り組むこと。また、基礎論点の復習を中心的に行うことによって応用力が身につくものと認識すること。予習は不要。
教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅠ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅡ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅱ　（学校法人　大原学園） 簿記能力検定試験過去問題集1級　商業簿記・会計学 （一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　解答集　（学校法人　大原学園） 簿記能力検定試験過去問題集1級　工業簿記・原価計算 （一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会）

備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記１級演習Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	日商簿記１級演習III	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	40時間
		単位数	1単位
科目教員	菊地　裕俊、千葉　菜愛、宍戸　雄翔	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記１級演習Ⅱ」を前提とし、ここまでに習得した知識を活用し、日本商工会議所主催簿記検定試験1級（以下、「日商簿記1級」という。）の商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算の問題演習を行う。問題文が複雑であることから、問題の内容をしっかりと把握する読解力を養う。また、1つの問に対し、解法がいくつかあるため、自ら考え判断し、正答を導き出す力を養成する。最終的には、日商簿記1級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	第168回日商簿記1級　過去試験問題　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第2回	第167回日商簿記1級　過去試験問題　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第3回	第165回日商簿記1級　過去試験問題　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第4回	第164回日商簿記1級　過去試験問題　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第5回	第162回日商簿記1級　過去試験問題　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第6回	第161回日商簿記1級　過去試験問題　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第7回	第159回日商簿記1級　過去試験問題　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第8回	第158回日商簿記1級　過去試験問題　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第9回	第157回日商簿記1級　過去試験問題　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第10回	第156回日商簿記1級　過去試験問題　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

準備学習等	日々の授業が本試験だと考え、常に緊張感をもって取り組むこと。また、基礎論点の復習を中心的に行うことによって応用力が身につくものと認識すること。予習は不要。
教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅠ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅡ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅱ　（学校法人　大原学園） 過去問題集　日商簿記1級（大原出版） 2025年度　日商簿記１級　網羅型完全予想問題集（TAC出版） 【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　解答集　（学校法人　大原学園） 簿記1級受験用　日商簿記過去問　問題編　（学校法人　大原学園） 簿記1級受験用　日商簿記過去問　解答編　（学校法人　大原学園）

備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記１級演習Ⅲは、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

021.日商簿記１級演習Ⅳ

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	日商簿記１級演習Ⅳ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	40時間
		単位数	1単位
科目教員	菊地　裕俊、千葉　菜愛、宍戸　雄翔	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験　：　70　％ 授業態度　：　30　％ ：　％ ：　％ ：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記１級演習Ⅲ」を前提とし、更なる知識の定着を図るため、難易度の高い商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算の問題演習を行う。会計基準や財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができることを目的とする。また、日本商工会議所主催簿記検定試験1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	日商簿記検定第171回対策　直前模擬試験　第1回　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第2回	日商簿記検定第171回対策　直前模擬試験　第2回　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第3回	日商簿記検定第171回対策　直前模擬試験　第3回　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第4回	弱点克服問題演習①	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔

第5回	日商簿記検定第171回対策　直前模擬試験　第4回　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第6回	日商簿記検定第171回対策　直前模擬試験　第5回　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第7回	日商簿記検定第171回対策　直前模擬試験　第6回　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第8回	弱点克服問題演習②	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第9回	日商簿記検定第171回対策　全国統一公開模擬試験　演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
第10回	最終確認問題 演習・解説	菊地　裕俊 千葉　菜愛 宍戸　雄翔
準備学習等	日々の授業が本試験だと考え、常に緊張感をもって取り組むこと。 また、各回の復習を必ず行うこと。予習は不要。	

教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅠ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅡ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅱ　（学校法人　大原学園） 【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　解答集　（学校法人　大原学園） 【共通】 日商簿記検定第171回対策　直前模擬試験　第1回～第6回（学校法人　大原学園） 日商簿記検定第171回対策　全国統一公開模擬試験（学校法人　大原学園） 過去問題集　日商簿記1級（大原出版） 第171回をあてるTAC直前予想模擬　日商簿記１級（TAC出版） 2025年度　日商簿記１級　網羅型完全予想問題集（TAC出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記１級演習Ⅳは、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	日商簿記２級Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
		授業回数	18回
科目教員	鈴木　秀俊、宍戸　雄翔	成績評価方法	筆記試験 : 50 %
			ミニテスト : 30 %
			授業態度 : 20 %
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	中小企業を前提とした商業簿記及び工業簿記を学習する。商業簿記については、日々の会計処理から決算処理を行い、損益計算書及び貸借対照表の財務諸表を作成する知識技術を習得する。工業簿記については、各業態における原価計算の手続きを習得する。財務諸表を作成する知識技術を身につけ、短期利益計画及び損益分岐分析ができることを目的とする。最終的には、日本商工会議所主催簿記検定試験2級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	工業簿記総論、原価計算の手続き(個別原価計算・総合原価計算)	鈴木　秀俊
第2回	簿記一巡の手続き、財務諸表、現金預金、債権・債務	宍戸　雄翔
第3回	材料費会計、労務費会計、経費会計、製造間接費会計	鈴木　秀俊
第4回	棚卸資産、有価証券	宍戸　雄翔
第5回	部門別計算、単純個別原価計算	鈴木　秀俊
第6回	有形固定資産、リース会計	宍戸　雄翔
第7回	無形固定資産、ソフトウェア、引当金	宍戸　雄翔

第8回	単純総合原価計算、工程別総合原価計算、組別・等級別総合原価計算	鈴木　秀俊
第9回	収益及び費用、研究開発費、為替換算会計	宍戸　雄翔
第10回	株式会社の純資産、株式の発行、剰余金の配当	宍戸　雄翔
第11回	標準原価計算、CVP分析	鈴木　秀俊
第12回	企業結合、消費税、法人税等、税効果会計	宍戸　雄翔
第13回	直接原価計算、全部原価計算、固定費調整	鈴木　秀俊
第14回	損益計算書、貸借対照表、精算表、補助簿	宍戸　雄翔
第15回	本支店会計	宍戸　雄翔
第16回	工場会計、公企業の財務諸表	鈴木　秀俊
第17回	連結会計　連結会社相互間取引の相殺消去等、未実現損益の消去	宍戸　雄翔
第18回	製造業を営む会社の決算処理	宍戸　雄翔

準備学習等	簿記は日々の復習の積み重ねが重要。難易度の高い範囲も含まれていることから、分からないところは質問し、問題集等で繰り返し復習を行うこと。また、毎回の授業の始めに前回の授業範囲から確認テストを実施する。予習は不要。
教科書 参考書等	【商業簿記】 ALFA　2級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記2級商業簿記（大原出版） 【工業簿記】 ALFA　2級工業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記2級工業簿記（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記２級Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	日商簿記２級Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
		授業回数	18回
科目教員	鈴木　秀俊、宍戸　雄翔	成績評価方法	筆記試験 : 50 %
			ミニテスト : 30 %
			授業態度 : 20 %
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記２級Ⅰ」で履修した内容を前提とし、数多くの問題を科目教員と共に解答し、解答のテクニックを習得する。そして、中小企業の実務における各取引の会計処理ができることを目的とする。また、日本商工会議所主催簿記検定試験2級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	答練期問題集項目別解説 （材料費会計、労務費会計、経費会計、製造間接費会計）	鈴木　秀俊
第2回	商業簿記問題　解説　演習答練　第1回、第2回 （仕訳、株主資本等変動計算書、有価証券、損益計算書）	宍戸　雄翔
第3回	答練期問題集項目別解説 (部門別計算)	鈴木　秀俊
第4回	商業簿記問題　解説　演習答練　第3回、第4回 （仕訳、商品売買、固定資産、損益計算書）	宍戸　雄翔

第5回	答練期問題集項目別解説 (個別原価計算、単純総合原価計算)	鈴木　秀俊
第6回	商業簿記問題　解説　演習答練　第5回、第6回 （仕訳、銀行勘定調整表、株主資本等変動計算書、貸借対照表）	宍戸　雄翔
第7回	商業簿記問題　解説　演習答練　第7回、第8回 （仕訳、有価証券、固定資産、貸借対照表）	宍戸　雄翔
第8回	答練期問題集項目別解説 (工程別総合原価計算、組別・等級別総合原価計算)	鈴木　秀俊
第9回	商業簿記問題　解説　演習答練　第9回 （仕訳、商品売買、損益計算書・貸借対照表）	宍戸　雄翔
第10回	商業簿記問題　解説　演習答練　第10回 （仕訳、リース会計、精算表）	宍戸　雄翔
第11回	答練期問題集項目別解説 (標準原価計算、CVP分析)	鈴木　秀俊
第12回	商業簿記問題　解説　演習答練　第11回、第12回 （仕訳、伝票会計、残高試算表、精算表）	宍戸　雄翔
第13回	答練期問題集項目別解説 (直接・全部原価計算、固定費調整)	鈴木　秀俊
第14回	商業簿記問題　解説　演習答練　第13回 （仕訳、外貨建て、残高試算表）	宍戸　雄翔
第15回	商業簿記問題　解説　演習答練　第14回 （仕訳、語句記入、サービス業の損益計算書）	宍戸　雄翔
第16回	答練期問題集項目別解説 (工場会計、公企業の財務諸表)	鈴木　秀俊
第17回	商業簿記問題　解説　演習答練　第15回 （仕訳、株主資本等変動計算書、連結精算表）	宍戸　雄翔
第18回	商業簿記問題　解説　演習答練　第16回 （仕訳、本支店会計、連結精算表）	宍戸　雄翔

準備学習等	簿記は日々の復習の積み重ねが重要。難易度の高い範囲も含まれていることから、分からないところは質問し、問題集等で繰り返し復習を行うこと。また、毎回の授業の始めに前回の授業範囲から確認テストを実施する。予習は不要。

教科書 参考書等	【商業簿記】 ALFA　2級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記2級商業簿記（大原出版） ESSENTIAL　簿記2級受験用　答練期問題集　演習問題編　（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　簿記2級受験用　答練期解答集　演習問題編　（学校法人　大原学園） 日商簿記２級　過去問分析より徹底予想！　試験に出る問題集　（大原出版） 簿記能力検定試験　過去問題集　商業簿記　（一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 2級商業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　問題　（学校法人　大原学園） 2級商業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　解答解説　（学校法人　大原学園） 【工業簿記】 ALFA　2級工業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記2級工業簿記（大原出版） ESSENTIAL　簿記2級受験用　答練期問題集　項目別編　（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　簿記2級受験用　答練期解答集　項目別編　（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　日商簿記過去問　問題編　（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　日商簿記過去問　解答編　（学校法人　大原学園） 簿記能力検定試験　過去問題集　工業簿記　（一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 2級工業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　問題（学校法人　大原学園） 2級工業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　解答・解説　（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記２級Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

024.日商簿記２級III

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	日商簿記２級III	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	鈴木　秀俊、宍戸　雄翔	授業回数	18回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験　：　50　％ ミニテスト　：　30　％ 授業態度　：　20　％ ：　％ ：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記２級Ⅱ」で履修した内容を前提とし、数多くの問題を科目教員と共に解答し、解答のテクニックを習得する。そして、中小企業の実務における各取引の会計処理ができることを目的とする。また、全国経理教育協会主催簿記能力検定試験1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	5伝票制、特殊仕訳帳制	宍戸　雄翔
第2回	答練期問題集項目別解説（材料費会計、労務費会計）	鈴木　秀俊
第3回	為替手形、荷為替手形、商品券（自社）	宍戸　雄翔
第4回	答練期問題集項目別解説（経費会計、製造間接費会計）	鈴木　秀俊
第5回	有価証券（貸付・借入・差入・預り・保管）	宍戸　雄翔
第6回	答練期問題集項目別解説（部門別計算）	鈴木　秀俊
第7回	特殊商品売買、履行義務の充足	宍戸　雄翔
第8回	答練期問題集項目別解説（個別原価計算、総合原価計算 ）	鈴木　秀俊

第9回	圧縮記帳、投資不動産	宍戸　雄翔
第10回	答練期問題集項目別解説 （工程別総合原価計算、組別総合原価計算、等級別総合原価計算）	鈴木　秀俊
第11回	資産除去債務	宍戸　雄翔
第12回	答練期問題集項目別解説（標準原価計算、CVP分析）	鈴木　秀俊
第13回	固定資産の減損	宍戸　雄翔
第14回	答練期問題集項目別解説（直接原価計算、全部原価計算、固定費調整）	鈴木　秀俊
第15回	負ののれん発生益、社債	宍戸　雄翔
第16回	答練期問題集項目別解説（工場会計、公企業の財務諸表）	鈴木　秀俊
第17回	商業簿記・会計学　理論対策	宍戸　雄翔
第18回	財務諸表分析	宍戸　雄翔

準備学習等	簿記は日々の復習の積み重ねが重要。難易度の高い範囲も含まれていることから、分からないところは質問し、問題集等で繰り返し復習を行うこと。また、毎回の授業の始めに前回の授業範囲から確認テストを実施する。予習は不要。
教科書 参考書等	【商業簿記】 ALFA　2級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） 全経簿記能力検定試験公式テキスト　1級商業簿記・財務会計（ネットスクール出版） 全経簿記能力検定試験公式問題集　1級商業簿記・財務会計（ネットスクール出版） ステップアップ問題集　日商簿記2級商業簿記（大原出版） 令和7年度版　簿記能力検定試験　過去問題集　1級　商業簿記・財務会計 （公益社団法人　全国経理教育協会） 【工業簿記】 ALFA　2級工業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記2級工業簿記（大原出版） ESSENTIAL　簿記2級受験用　答練期問題集　項目別編　（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　簿記2級受験用　答練期解答集　項目別編　（学校法人　大原学園） 令和7年度版　簿記能力検定試験　過去問題集　1級　原価計算・管理会計 （公益社団法人　全国経理教育協会）

備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記２級IIIは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	日商簿記２級演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木　秀俊、宍戸　雄翔	授業回数	12回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記２級Ⅰ」及び「日商簿記２級Ⅱ」を前提とし、数多くの問題を解いていく。その過程で、問題の内容を把握する読解力を養うことや、解法が1つではないことから正答を導き出すため自ら考え、判断する力を養成する。なお、日本商工会議所主催簿記検定試験2級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 直前模擬試験　第１回　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第2回	直前模擬試験　第２回　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第3回	弱点克服問題演習①	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第4回	直前模擬試験　第３回　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔

第5回	直前模擬試験　第４回　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第6回	オリジナル模擬試験　第１回　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第7回	直前模擬試験　第５回　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第8回	直前模擬試験　第６回　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第9回	弱点克服問題演習②	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第10回	オリジナル模擬試験　第２回　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第11回	弱点克服問題演習③	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第12回	最終確認問題　演習・解説 総論	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔

準備学習等	毎回の問題演習を本試験と考え緊張感を持って挑むこと。間違った問題・論点の復習を徹底する。不明な点は科目教員に質問・相談すること。

教科書 参考書等	【商業簿記】 ALFA　2級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） 日商簿記２級　過去問分析より徹底予想！　試験に出る問題集　（大原出版） 簿記能力検定試験　過去問題集　商業簿記　（一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 2級商業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　問題(学校法人　大原学園) 2級商業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　解答・解説(学校法人　大原学園) 【工業簿記】 ALFA　2級工業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　日商簿記過去問題（問題編）（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　日商簿記過去問題（解答編）（学校法人　大原学園） 簿記能力検定試験　過去問題集　工業簿記　（一般財団法人　日本ビジネス技能検定協会） 2級工業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　問題(学校法人　大原学園) 2級工業簿記　基礎期　模擬試験①～⑥　解答・解説(学校法人　大原学園) 【共通】 2025年度　日商簿記検定対策　直前模擬試験　第1回～第6回（学校法人　大原学園） 2025年度試験あてるTAC予想模試+解き方テキスト　日商簿記２級（TAC出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記２級演習Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

026.日商簿記２級演習 II

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	日商簿記２級演習 II	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木　秀俊、宍戸　雄翔	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記２級 II」を前提とし、数多くの問題を解いていく。その過程で、問題の内容を把握する読解力を養うことや、解法が1つではないことから正答を導き出すため自ら考え、判断する力を養成する。なお、全国経理教育協会主催簿記能力検定試験1級（以下、「全経簿記1級」という。)に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 全経簿記1級演習、5伝票制、特殊仕訳帳制、 為替手形、荷為替手形、商品券（自社）	宍戸　雄翔
第2回	理論対策① (費目別計算、個別原価計算、部門別原価計算)	鈴木　秀俊
第3回	全経簿記1級演習 有価証券（貸付・借入・差入・預り・保管）特殊商品売買、履行義務の充足	宍戸　雄翔
第4回	理論対策② (部門別原価計算、総合原価計算)	鈴木　秀俊

第5回	全経簿記1級演習 圧縮記帳（積立金方式）、投資不動産、資産除去債務	宍戸　雄翔
第6回	理論対策③ (標準原価計算)	鈴木　秀俊
第7回	全経簿記1級演習 固定資産の減損、負ののれん発生益	宍戸　雄翔
第8回	理論対策④ (短期利益計画、工場独立会計)	鈴木　秀俊
第9回	全経簿記1級演習 社債、理論、財務諸表分析	宍戸　雄翔
第10回	理論対策⑤ (直接原価計算、全部原価計算) 総論	鈴木　秀俊

準備学習等	毎回の問題演習を本試験と考え緊張感を持って挑むこと。間違った問題・論点の復習を徹底する。不明な点は科目教員に質問・相談すること。
教科書 参考書等	【商業簿記】 ALFA　2級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） 全経簿記能力検定試験公式テキスト　1級商業簿記・財務会計（ネットスクール出版） 全経簿記能力検定試験公式問題集　1級商業簿記・財務会計（ネットスクール出版） ステップアップ問題集　日商簿記2級商業簿記（大原出版） 令和7年度版　簿記能力検定試験　過去問題集1級　商業簿記・財務会計 （公益社団法人　全国経理教育協会） 【工業簿記】 ALFA　2級工業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記2級工業簿記（大原出版） 令和7年度版　簿記能力検定試験　過去問題集1級　原価計算・管理会計 （公益社団法人　全国経理教育協会）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記２級演習Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

027.日商簿記２級演習III

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	日商簿記２級演習III	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木　秀俊、宍戸　雄翔	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記２級演習Ⅱ」を前提とし、数多くの問題を解いていく。その過程で、問題の内容を把握する読解力を養うことや、解法が1つではないことから正答を導き出すため自ら考え、判断する力を養成する。なお、全国経理教育協会主催簿記能力検定試験1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 項目別対策 5伝票制、特殊仕訳帳制、為替手形、荷為替手形、商品券（自社）	宍戸　雄翔
第2回	過去試験項目対策 (費目別計算、個別原価計算)	鈴木　秀俊
第3回	項目別対策 有価証券（貸付・借入・差入・預り・保管）特殊商品売買、履行義務の充足	宍戸　雄翔
第4回	過去試験項目対策 (部門別原価計算、総合原価計算)	鈴木　秀俊

第5回	項目別対策 圧縮記帳（積立金方式）、投資不動産、資産除去債務	宍戸　雄翔
第6回	過去試験項目対策 (総合原価計算、標準原価計算)	鈴木　秀俊
第7回	項目別対策 固定資産の減損、負ののれん発生益	宍戸　雄翔
第8回	過去試験項目対策 (CVP分析、工場独立会計)	鈴木　秀俊
第9回	項目別対策 社債、理論、財務諸表分析	宍戸　雄翔
第10回	過去試験項目対策 (直接原価計算、全部原価計算)総論	鈴木　秀俊

準備学習等	毎回の問題演習を本試験と考え緊張感を持って挑むこと。間違った問題・論点の復習を徹底する。不明な点は科目教員に質問・相談すること。
教科書 参考書等	【商業簿記】 ALFA　2級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） 全経簿記能力検定試験公式テキスト　1級商業簿記・財務会計（ネットスクール出版） 全経簿記能力検定試験公式問題集　1級商業簿記・財務会計（ネットスクール出版） ステップアップ問題集　日商簿記2級商業簿記（大原出版） 令和7年度版　簿記能力検定試験　過去問題集1級　商業簿記・財務会計 （公益社団法人　全国経理教育協会） 【工業簿記】 ALFA　2級工業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記2級工業簿記（大原出版） 令和7年度版　簿記能力検定試験　過去問題集1級　原価計算・管理会計 （公益社団法人　全国経理教育協会）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記２級演習Ⅲは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	日商簿記２級演習Ⅳ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木　秀俊、宍戸　雄翔	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 ： 70 % 授業態度 ： 30 % ： % ： % ： %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記２級演習Ⅲ」を前提とし、数多くの問題を解いていく。その過程で、問題の内容を把握する読解力を養うことや、解法が1つではないことから正答を導き出すため自ら考え、判断する力を養成する。なお、全国経理教育協会主催簿記能力検定試験1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 第221回過去問題　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第2回	第220回過去問題　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第3回	第219回過去問題　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第4回	第218回過去問題　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔

第5回	第217回過去問題　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第6回	第216回過去問題　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第7回	第215回過去問題　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第8回	第214回過去問題　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第9回	第213回過去問題　演習・解説	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第10回	第212回過去問題　演習・解説 総論	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔

準備学習等	毎回の問題演習を本試験と考え緊張感を持って挑むこと。間違った問題・論点の復習を徹底する。不明な点は科目教員に質問・相談すること。
教科書 参考書等	【商業簿記】 ALFA　2級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） 全経簿記能力検定試験公式テキスト　1級商業簿記・財務会計（ネットスクール出版） 全経簿記能力検定試験公式問題集　1級商業簿記・財務会計（ネットスクール出版） ステップアップ問題集　日商簿記2級商業簿記（大原出版） 令和7年度版　簿記能力検定試験　過去問題集1級　商業簿記・財務会計 （公益社団法人　全国経理教育協会） 【工業簿記】 ALFA　2級工業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　2級工業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記2級工業簿記（大原出版） 令和7年度版　簿記能力検定試験　過去問題集1級　原価計算・管理会計 （公益社団法人　全国経理教育協会）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 日商簿記２級演習Ⅳは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	国内旅行Ⅰ		授業形態	講義
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間
			単位数	2単位
			授業回数	10回
科目教員	鈴木　秀俊	成績評価方法	筆記試験	： 50 %
			ミニテスト	： 30 %
			授業態度	： 20 %
科目教員のうち実務経験教員				： %
				： %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容				
実務経験教員の実務経験内容				
授業目的 到達目標	旅行業に関する法律について理解することや各都道府県の観光資源（寺院・山岳・名産品・祭りなど）を覚え、旅行業に役立つ知識を学ぶことを目的としています。また、本講義終了後に予定している科目「国内旅行Ⅱ」に積極的に取り組めるようにしてください。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 【約款】総則、契約の成立 【観光地理】北海道	鈴木　秀俊
第2回	【約款】契約の変更、契約の解除、旅行代金の払戻し 【観光地理】青森・岩手	鈴木　秀俊
第3回	【約款】団体・グループ・旅程管理責任、旅程保証 【観光地理】宮城・秋田	鈴木　秀俊
第4回	【約款】特別補償規程旅行相談業務 【観光地理】山形・福島	鈴木　秀俊
第5回	【業法】総則、登録制度 【観光地理】茨城・栃木	鈴木　秀俊

第6回	【業法】営業保証金制度、旅行業務取扱管理者、旅行業務取扱料金 【観光地理】群馬・埼玉	鈴木　秀俊
第7回	【業法】旅行業約款、標識、取引条件の説明、書面の交付 【観光地理】千葉・東京	鈴木　秀俊
第8回	【業法】外務員、広告の表示等・誇大広告の禁止、旅程管理、受託契約 【観光地理】神奈川・新潟	鈴木　秀俊
第9回	【業法】旅行業者代理業、禁止行為、登録の取消し等、旅行サービス手配業 【観光地理】富山・石川	鈴木　秀俊
第10回	【業法】旅行業協会（法定業務、苦情解決業務、弁済業務保証金制度）、 罰則・雑則 【観光地理】福井・山梨	鈴木　秀俊

準備学習等	非常に暗記の多い科目です。毎回の授業の復習及び問題演習の積み重ねが何よりも求められますので、授業だけではなく各自で勉強の時間を確保することを徹底してください。また、理解が不十分な場合には科目教員に質問し次回の授業に臨むようにしましょう。予習は不要です。
教科書 参考書等	旅行業務取扱管理者試験　テキスト①観光地理（大原出版） 旅行業務取扱管理者試験　問題集　①観光地理（大原出版） 旅行業務取扱管理者試験　テキスト②旅行業法・約款（大原出版） 旅行業務取扱管理者試験　問題集　②旅行業法・約款（大原出版） 旅行業実務シリーズ4　国内観光資源（JTB総合研究所）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。国内旅行Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	国内旅行Ⅱ		授業形態	講義
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間
			単位数	2単位
			授業回数	10回
科目教員	鈴木　秀俊	成績評価方法	筆記試験	： 50 %
			ミニテスト	： 30 %
			授業態度	： 20 %
科目教員のうち実務経験教員				： %
				： %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容				
実務経験教員の実務経験内容				
授業目的 到達目標	科目「国内旅行Ⅰ」を前提とし、旅行業に関する法律と運賃計算・料金計算の計算方法について理解することや、各都道府県の観光資源（寺院・山岳・名産品・祭りなど）を覚え、旅行業に役立つ知識を学ぶことを目的とし、最終的には旅行業務取扱管理者試験に合格できる知識を身につけることを目標としています。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	【実務】JR運賃・料金計算、JR運賃計算（運賃計算の基礎、 本州3社とまたがる場合、通過連絡運輸の取扱い） 【観光地理】長野・岐阜	鈴木　秀俊
第2回	【実務】JR運賃計算（連続運賃計算、運賃計算の特例）、 割引運賃（個人割引･団体割引） 【観光地理】静岡･愛知･三重	鈴木　秀俊
第3回	【実務】JR料金計算（料金計算の基礎、特急料金、グリーン料金、 グランクラス料金、寝台料金） 【観光地理】滋賀･京都･大阪	鈴木　秀俊
第4回	【実務】JR料金計算「サンライズ瀬戸号」と四国内の特急の乗継割引、 新幹線と在来線の乗継割引 【観光地理】兵庫・奈良	鈴木　秀俊

第5回	【実務】JR料金計算（通し計算、東海道・山陽新幹線の特急料金、 九州新幹線の特急料金） 【観光地理】和歌山・鳥取	鈴木　秀俊
第6回	【実務】JR料金計算（東北新幹線、北海道新幹線、北陸新幹線、 上越新幹線、山形・秋田新幹線の料金）、JRその他 【観光地理】島根･岡山･広島	鈴木　秀俊
第7回	【約款】国内航空運送約款 【実務】国内航空運賃・料金計算 【観光地理】山口･徳島･香川	鈴木　秀俊
第8回	【約款】フェリー標準運送約款 【実務】フェリー運賃・料金計算 【観光地理】愛媛･高知･佐賀	鈴木　秀俊
第9回	【約款】モデル宿泊約款 【実務】宿泊料金計算 【観光地理】長崎･熊本･大分	鈴木　秀俊
第10回	【約款】貸切バス約款 【実務】貸切バス運賃・料金計算 【観光地理】宮崎・鹿児島・沖縄	鈴木　秀俊

準備学習等	非常に暗記の多い科目で、運賃計算・料金計算については複雑な問題も多く含まれています。毎回の授業の復習及び問題演習の積み重ねが何よりも求められますので、授業だけではなく各自で勉強の時間を確保することを徹底してください。また、理解が不十分な場合には科目教員に質問し次回の授業に臨むようにしましょう。予習は不要です。
教科書 参考書等	旅行業務取扱管理者試験　テキスト①観光地理（大原出版） 旅行業務取扱管理者試験　問題集　①観光地理（大原出版） 旅行業務取扱管理者試験　テキスト②旅行業法・約款（大原出版） 旅行業務取扱管理者試験　問題集　②旅行業法・約款（大原出版） 旅行業務取扱管理者試験　テキスト③国内旅行実務（大原出版） 旅行業務取扱管理者試験　問題集　③国内旅行実務（大原出版） 旅行業務取扱管理者試験　科目別速習問題集（JTB総合研究所） 旅行業実務シリーズ4　国内観光資源（JTB総合研究所）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。国内旅行Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となります。

学科	経理事務学科（2年課程）・ＯＡ事務学科（１年課程）・ ＯＡ事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（３年課程）行政公務員学科（２年課程）・ 総合公務員学科（２年課程）法律公務員学科（２年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	国内旅行演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木　秀俊	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	問題演習や、やり直しを繰り返し、本試験の問題に対応できる力を養うことを目的としています。基礎的な問題から、難易度の高い応用問題まで取り組むことで理解を深め、旅行業務取扱管理者試験に合格できる能力を身につけることを到達目標としています。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	問題演習、解説 公開模擬試験問題①	鈴木　秀俊
第2回	問題演習、解説 直前模擬試験問題① 公開模擬試験問題②	鈴木　秀俊
第3回	問題演習、解説 旅行業務取扱管理者試験過去問題 公開模擬試験問題③	鈴木　秀俊
第4回	問題演習、解説 旅行業務取扱管理者試験過去問題 直前模擬試験問題②	鈴木　秀俊

第5回	問題演習、解説 旅行業務取扱管理者試験過去問題 JTB模擬試験問題　A問題①	鈴木　秀俊
第6回	問題演習、解説 JTB模擬試験問題　B問題①	鈴木　秀俊
第7回	問題演習、解説 JTB模擬試験問題　C問題①	鈴木　秀俊
第8回	問題演習、解説 JTB模擬試験問題　A問題② JTB模擬試験問題　B問題②	鈴木　秀俊
第9回	問題演習、解説 JTB模擬試験問題　C問題②	鈴木　秀俊
第10回	問題演習、解説 公開模擬試験問題④ 直前模擬試験問題③	鈴木　秀俊

準備学習等	日々の問題のやり直しを丁寧に行うことが何よりも大切です。間違った問題だけを確認するのではなく、その範囲のテキストを一通り確認することでより知識が定着します。地理に関する問題は範囲が膨大で全てを網羅することは困難であるため、出題頻度の高いものを優先的に暗記をするようにしてください。また、わからないところがある場合、勉強方法で迷った場合には科目教員に相談するようにしてください。
教科書 参考書等	公開模擬試験問題（学校法人　大原学園） 直前模擬試験問題（学校法人　大原学園） JTB模擬試験問題　A問題・B問題・C問題（JTB総合研究所） 旅行業務取扱管理者試験過去問題集（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。国内旅行演習は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科各学年合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	ファイナンシャル・プランニングⅠ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤　英一、久保田　佳子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	ファイナンシャル・プランナーとは、お金の知識を総合的に身につけて、ライフプランの実現に向けたアドバイスをする専門家である。年金・保険・不動産・金融資産・税金・相続など、様々な種類のお金の知識が必要不可欠となる。それぞれの内容を理解することを目的とし、本講義終了後の科目「ファイナンシャル・プランニングⅡ」に積極的に取り組めるようにすること。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス ライフプランニングと資金計画（FPとライフプランニング）	工藤　英一 久保田　佳子
第2回	ライフプランニングと資金計画（教育・住宅取得資金計画）	工藤　英一 久保田　佳子
第3回	ライフプランニングと資金計画 （社会保険、公的年金制度の概要、老後の生活資金計画と公的年金）	工藤　英一 久保田　佳子
第4回	ライフプランニングと資金計画（ライフプランニングの考え方）	工藤　英一 久保田　佳子
第5回	リスク管理 （リスクマネジメント、生命保険の概略、生命保険商品の種類と内容、 損害保険の概略、損害保険商品の種類と内容）	工藤　英一 久保田　佳子

第6回	金融資産運用（マーケット環境の理解、預貯金等、債券、株式、投資信託）	工藤　英一 久保田　佳子
第7回	タックスプランニング （税金の分類と計算体系、所得税の仕組み、各種所得の内容）	工藤　英一 久保田　佳子
第8回	タックスプランニング（課税標準の計算、所得控除）	工藤　英一 久保田　佳子
第9回	タックスプランニング（税額控除、確定申告、個人住民税と個人事業税）	工藤　英一 久保田　佳子
第10回	不動産（不動産の見方、不動産の取引、不動産に関する法令上の制限）	工藤　英一 久保田　佳子

準備学習等	予習の必要はない。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をし、次回の講義に備えること。
教科書 参考書等	ファイナンシャル・プランナー3級　テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級　練習問題（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。ファイナンシャル・プランニングⅠは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	ファイナンシャル・プランニングII	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤　英一、久保田　佳子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「ファイナンシャル・プランニングⅠ」を前提に、さらに幅広い知識を学習する。 自己のライフプラン（キャッシュフローの作成）ができることを目的とし、最終的には 日本FP協会主催3級ファイナンシャル・プランニング技能検定に合格することを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス科目「ファイナンシャル・プランニングⅠ」確認講義	工藤　英一 久保田　佳子
第2回	ライフプランニングと資金計画（公的年金における障害給付と遺族給付）	工藤　英一 久保田　佳子
第3回	リスク管理（個人・法人の契約に関する税金）	工藤　英一 久保田　佳子
第4回	リスク管理（第三分野の保険・共済）	工藤　英一 久保田　佳子
第5回	金融資産運用（外貨建て商品、金融派生商品、ポートフォリオ運用）	工藤　英一 久保田　佳子
第6回	金融資産運用（金融商品と税金、セーフティネット、関連法規）	工藤　英一 久保田　佳子

第7回	不動産（不動産に係る税金、不動産の有効活用）	工藤　英一 久保田　佳子
第8回	相続・事業承継（相続と法律、贈与と法律）	工藤　英一 久保田　佳子
第9回	相続・事業承継（贈与税と税金、相続と税金）	工藤　英一 久保田　佳子
第10回	相続・事業承継（財産の評価、相続対策）	工藤　英一 久保田　佳子

準備学習等	予習の必要はない。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をして、次回の講義に備えること。 なお、ガイダンス終了後、科目「ファイナンシャル・プランニングⅠ」の理解度確認を実施する。
教科書 参考書等	ファイナンシャル・プランナー3級　テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級　練習問題（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。ファイナンシャル・プランニングⅡは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程）・ 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	ファイナンシャル・プランニング演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤　英一、久保田　佳子	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験　：　70　％ 授業態度　：　30　％ ：　％ ：　％ ：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「ファイナンシャル・プランニングⅡ」を前提とし、日本FP協会主催3級ファイナンシャル・プランニング技能検定（以下、「FP検定」という。）の問題演習を行う。数多くの問題を解くことで、知識の定着を図ることを目的とする。また、FP検定3級に合格することを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	問題演習・解説　学科編①（ライフプランニングと資金計画）	工藤　英一 久保田　佳子
第2回	問題演習・解説　学科編②（リスク管理）	工藤　英一 久保田　佳子
第3回	問題演習・解説　学科編③（金融資産運用）	工藤　英一 久保田　佳子
第4回	問題演習・解説　学科編④（タックスプランニング）	工藤　英一 久保田　佳子
第5回	問題演習・解説　学科編⑤（不動産、相続・事業承継）	工藤　英一 久保田　佳子

第6回	問題演習・解説　実技編①	工藤　英一 久保田　佳子
第7回	問題演習・解説　実技編②	工藤　英一 久保田　佳子
第8回	過去試験問題　演習・解説①	工藤　英一 久保田　佳子
第9回	過去試験問題　演習・解説②	工藤　英一 久保田　佳子
第10回	過去試験問題　演習・解説③	工藤　英一 久保田　佳子
第11回	過去試験問題　演習・解説④	工藤　英一 久保田　佳子
第12回	過去試験問題　演習・解説⑤	工藤　英一 久保田　佳子
第13回	過去試験問題　演習・解説⑥	工藤　英一 久保田　佳子
第14回	模擬試験問題　演習・解説①	工藤　英一 久保田　佳子
第15回	模擬試験問題　演習・解説②	工藤　英一 久保田　佳子

準備学習等	予習の必要はない。不明な点は科目教員に質問をして、次回の講義に備えること。
教科書 参考書等	ファイナンシャル・プランナー3級　テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級　練習問題（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級　学科・実技過去試験問題集問題編 （学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランナー3級　学科・実技過去試験問題集解答編 （学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定　3級学科模擬試験 （学校法人　大原学園） 3級FP技能検定　学科模擬試験　解答・解説（学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定　3級実技模擬試験 （学校法人　大原学園） 3級FP技能検定　実技模擬試験　解答・解説（学校法人　大原学園）

備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。ファイナンシャル・プランニング演習は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	ファイナンシャル・プランニング応用Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤　英一、久保田　佳子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	ファイナンシャル・プランナーとは、お金の知識を総合的に身につけて、ライフプランの実現に向けたアドバイスをする専門家である。年金・保険・不動産・金融資産・税金・相続など、様々な種類のお金の知識が必要不可欠となる。それぞれの内容を理解することを目的とし、本講義終了後の科目「ファイナンシャル・プランニング応用Ⅱ」に積極的に取り組めるようにすること。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス ライフプランニングと資金計画（FPとライフプランニング）	工藤　英一 久保田　佳子
第2回	ライフプランニングと資金計画（教育・住宅取得資金計画）	工藤　英一 久保田　佳子
第3回	ライフプランニングと資金計画 （社会保険、公的年金制度の概要、老後の生活資金計画と公的年金）	工藤　英一 久保田　佳子
第4回	ライフプランニングと資金計画（ライフプランニングの考え方）	工藤　英一 久保田　佳子
第5回	リスク管理 （リスクマネジメント、生命保険の概略、生命保険商品の種類と内容、 損害保険の概略、損害保険商品の種類と内容）	工藤　英一 久保田　佳子

第6回	金融資産運用（マーケット環境の理解、預貯金等、債券、株式、投資信託）	工藤　英一 久保田　佳子
第7回	タックスプランニング （税金の分類と計算体系、所得税の仕組み、各種所得の内容）	工藤　英一 久保田　佳子
第8回	タックスプランニング（課税標準の計算、所得控除）	工藤　英一 久保田　佳子
第9回	タックスプランニング（税額控除、確定申告、個人住民税と個人事業税）	工藤　英一 久保田　佳子
第10回	不動産（不動産の見方、不動産の取引、不動産に関する法令上の制限）	工藤　英一 久保田　佳子

準備学習等	予習の必要はない。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をし、次回の講義に備えること。
教科書 参考書等	【2級】 ファイナンシャル・プランナー2級　テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー2級　練習問題（大原出版） 【3級】 ファイナンシャル・プランナー3級　テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級　練習問題（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。ファイナンシャル・プランニング応用Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	ファイナンシャル・プランニング応用Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤　英一、久保田　佳子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	科目「ファイナンシャル・プランニング応用Ⅰ」を前提に、さらに幅広い知識を学習する。自己のライフプラン（キャッシュフローの作成）ができることを目的とし、最終的には日本FP協会主催2級または3級ファイナンシャル・プランニング技能検定に合格することを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 科目「ファイナンシャル・プランニング応用Ⅰ」確認講義	工藤　英一 久保田　佳子
第2回	ライフプランニングと資金計画（公的年金における障害給付と遺族給付）	工藤　英一 久保田　佳子
第3回	リスク管理（個人・法人の契約に関する税金）	工藤　英一 久保田　佳子
第4回	リスク管理（第三分野の保険・共済）	工藤　英一 久保田　佳子
第5回	金融資産運用（外貨建て商品、金融派生商品、ポートフォリオ運用）	工藤　英一 久保田　佳子

第6回	金融資産運用（金融商品と税金、セーフティネット、関連法規）	工藤　英一 久保田　佳子
第7回	不動産（不動産に係る税金、不動産の有効活用）	工藤　英一 久保田　佳子
第8回	相続・事業承継（相続と法律、贈与と法律）	工藤　英一 久保田　佳子
第9回	相続・事業承継（贈与税と税金、相続と税金）	工藤　英一 久保田　佳子
第10回	相続・事業承継（財産の評価、相続対策）	工藤　英一 久保田　佳子

準備学習等	予習の必要はない。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をして、次回の講義に備えること。 なお、ガイダンス終了後、科目「ファイナンシャル・プランニング応用Ⅰ」の理解度確認を実施する。
教科書 参考書等	【2級】 ファイナンシャル・プランナー2級　テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー2級　練習問題（大原出版） 【3級】 ファイナンシャル・プランナー3級　テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級　練習問題（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。ファイナンシャル・プランニング応用Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程）・ 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	ファイナンシャル・プランニング応用演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
		授業回数	15回
科目教員	工藤　英一、久保田　佳子	成績評価方法	筆記試験　：　70　％ 授業態度　：　30　％ ：　％ ：　％ ：　％
科目教員のうち実務経験教員			
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「ファイナンシャル・プランニング応用Ⅱ」を前提とし、日本FP協会主催3級ファイナンシャル・プランニング技能検定（以下、「FP検定」という。）の問題演習を行う。数多くの問題を解くことで、知識の定着を図ることを目的とする。また、FP検定2級または3級に合格することを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	問題演習・解説　学科編①（ライフプランニングと資金計画）	工藤　英一 久保田　佳子
第2回	問題演習・解説　学科編②（リスク管理）	工藤　英一 久保田　佳子
第3回	問題演習・解説　学科編③（金融資産運用）	工藤　英一 久保田　佳子
第4回	問題演習・解説　学科編④（タックスプランニング）	工藤　英一 久保田　佳子
第5回	問題演習・解説　学科編⑤（不動産、相続・事業承継）	工藤　英一 久保田　佳子

第6回	問題演習・解説　実技編①	工藤　英一 久保田　佳子
第7回	問題演習・解説　実技編②	工藤　英一 久保田　佳子
第8回	過去試験問題　演習・解説①	工藤　英一 久保田　佳子
第9回	過去試験問題　演習・解説②	工藤　英一 久保田　佳子
第10回	過去試験問題　演習・解説③	工藤　英一 久保田　佳子
第11回	過去試験問題　演習・解説④	工藤　英一 久保田　佳子
第12回	過去試験問題　演習・解説⑤	工藤　英一 久保田　佳子
第13回	過去試験問題　演習・解説⑥	工藤　英一 久保田　佳子
第14回	模擬試験問題　演習・解説①	工藤　英一 久保田　佳子
第15回	模擬試験問題　演習・解説②	工藤　英一 久保田　佳子
準備学習等	予習の必要はない。不明な点は科目教員に質問をして、次回の講義に備えること。	

教科書 参考書等	【3級】 ファイナンシャル・プランナー3級　テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級　練習問題（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級　学科・実技過去試験問題集問題編（学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランナー3級　学科・実技過去試験問題集解答編（学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定　3級学科模擬試験（学校法人　大原学園） 3級FP技能検定　学科模擬試験　解答・解説（学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定　3級実技模擬試験（学校法人　大原学園） 3級FP技能検定　実技模擬試験　解答・解説（学校法人　大原学園） 【2級】 ファイナンシャル・プランナー2級　テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー2級　練習問題（大原出版） ファイナンシャル・プランナー2級　学科・実技過去試験問題集問題編（学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランナー2級　学科・実技過去試験問題集解答編（学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定　2級学科模擬試験（学校法人　大原学園） 2級FP技能検定　学科模擬試験　解答・解説（学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定　2級実技模擬試験（学校法人　大原学園） 2級FP技能検定　実技模擬試験　解答・解説（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。ファイナンシャル・プランニング応用演習は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	経営学	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	180時間
		単位数	8単位
		授業回数	30回
科目教員	中島　京哉、山下　健二	成績評価方法	筆記試験 : 40 %
			ミニテスト : 30 %
			授業態度 : 30 %
科目教員のうち実務経験教員	山下　健二		: %
			: %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。
実務経験教員の実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。
授業目的 到達目標	経営学の基本的な論点と専門用語を習得し、現実の経営現象を考察する能力を身に付けることを目的とし、一般社団法人日本経営協会主催経営学検定初級取得を到達目標とする。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	企業の役割	中島　京哉 山下　健二
第2回	企業の形態	中島　京哉 山下　健二
第3回	大規模な株式会社における企業統治	中島　京哉 山下　健二
第4回	企業システム	中島　京哉 山下　健二
第5回	企業統治	中島　京哉 山下　健二

第6回	企業経営と企業戦略	中島　京哉 山下　健二
第7回	成長戦略	中島　京哉 山下　健二
第8回	経営資源	中島　京哉 山下　健二
第9回	事業ごとの経営戦略（事業戦略）	中島　京哉 山下　健二
第10回	経営戦略論の時代的変遷	中島　京哉 山下　健二
第11回	マーケティング戦略の基礎	中島　京哉 山下　健二
第12回	研究開発戦略と生産戦略	中島　京哉 山下　健二
第13回	財務の基礎	中島　京哉 山下　健二
第14回	人と組織のマネジメント①	中島　京哉 山下　健二
第15回	人と組織のマネジメント②	中島　京哉 山下　健二
第16回	経営組織の形態①	中島　京哉 山下　健二
第17回	経営組織の形態②	中島　京哉 山下　健二
第18回	伝統的な管理論	中島　京哉 山下　健二
第19回	ホーソン実験と人間関係論	中島　京哉 山下　健二
第20回	近代的な管理論	中島　京哉 山下　健二
第21回	行動科学にもとづく動機づけとリーダーシップの理論	中島　京哉 山下　健二

第22回	比較的新しい組織論の分野	中島　京哉 山下　健二
第23回	企業論　問題演習、解説	中島　京哉 山下　健二
第24回	経営戦略論　問題演習、解説	中島　京哉 山下　健二
第25回	機能別戦略　問題演習、解説	中島　京哉 山下　健二
第26回	人的資源理論　問題演習、解説	中島　京哉 山下　健二
第27回	組織構造論　問題演習、解説	中島　京哉 山下　健二
第28回	経営管理論　問題演習、解説	中島　京哉 山下　健二
第29回	経営組織論　問題演習、解説	中島　京哉 山下　健二
第30回	練習問題集　実施、解説	中島　京哉 山下　健二

準備学習等	学習した論理と具体的事例を自らの頭の中で結び付けて考えることで、学習効果は増大すると考えられる。問題意識を持ち、具体的経営事象を用いて考えること。 予習は必要としないが、広く経営事象に興味を持つことが求められる。
教科書 参考書等	・マネジメント検定試験III級テキスト　経営学の基本（中央経済社） ・マネジメント検定試験III級練習問題集（2023 vol.1） （一般社団法人　日本経営協会）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。経営学は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	経理実務	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	6単位
科目教員	鈴木　秀俊、宍戸　雄翔	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	経理知識や技能の証明となり就職活動にも有利になる資格「経理実務士」の取得を目指し、認定要件である資格のうち、全国経理教育協会主催計算実務能力検定試験（以下、「計算実務」という。）と全国経理教育協会主催簿記能力検定試験（以下、「全経簿記」という。）の合格を目指す。計算実務では経理職に欠かせない知識である帳票計算と商業計算について学習する。全経簿記では中小企業の実務における各取引の会計処理について学習する。 本講義終了後の科目「経理実務演習」に積極的に取り組めるようにすること。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	【計算実務】＜帳票計算＞ 試算表、商品有高帳（先入先出法、移動平均法）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第2回	【計算実務】＜商業計算＞ 貨幣計算、手形割引計算（割引料を求める場合、手取金を求める場合、手形金額を求める場合）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第3回	【計算実務】 ＜帳票計算・商業計算＞項目別確認問題実施、解説 （試算表、商品有高帳、貨幣計算、手形割引計算）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔

第4回	【計算実務】＜商業計算＞ 通法の計算～グロス・ダース・個～（代価を求める場合、数量を求める場合）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第5回	【計算実務】＜商業計算＞ 仲立人の手数料計算（手数料を求める場合、買主の支払総額・売主の手取金を求める場合）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第6回	【計算実務】＜商業計算＞ 項目別確認問題実施、解説（通法の計算、仲立人の手数料計算）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第7回	【計算実務】＜商業計算＞ 貨幣計算、手形割引計算（割引率を求める場合、割引日数を求める場合、割引日を求める場合）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第8回	【計算実務】＜商業計算＞ 商品売買の計算（定価を求める場合、利益率を求める場合、原価を求める場合）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第9回	【計算実務】＜商業計算＞ 項目別確認問題実施、解説（貨幣計算、手形割引計算、商品売買の計算）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第10回	【計算実務】＜商業計算＞ 委託販売・委託買付の手数料計算（売上高を求める場合、送金額を求める場合、請求額を求める場合）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第11回	【計算実務】＜商業計算＞ 金銭の貸し付け（貸付利率を求める場合、元利合計を求める場合、貸付期間を求める場合）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第12回	【計算実務】＜商業計算＞ 項目別確認問題実施、解説（委託販売・委託買付の手数料計算、金銭の貸し付け）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第13回	【計算実務】＜商業計算＞ 純量代価（総量、風袋、減量の用語の確認、定価の求め方）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第14回	【計算実務】＜商業計算＞ 有利・不利の判定（値引きと増量）、通法の計算（文章問題）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第15回	【計算実務】＜帳票計算・商業計算＞ 項目別確認問題実施、解説（純量代価の計算、有利・不利の判定、通法の計算）、伝票計算（検定試験問題の解き方）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第16回	【全経簿記】 5伝票制、特殊仕訳帳制	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔

第17回	【全経簿記】 材料費会計、労務費会計	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第18回	【全経簿記】 為替手形、荷為替手形、商品券（自社）、有価証券売買	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第19回	【全経簿記】 経費会計、製造間接費会計	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第20回	【全経簿記】 特殊商品売買、履行義務の充足	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第21回	【全経簿記】 部門別計算、個別原価計算、単純総合原価計算	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第22回	【全経簿記】 圧縮記帳、投資不動産	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第23回	【全経簿記】 工程別総合原価計算、組別総合原価計算、等級別総合原価計算	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第24回	【全経簿記】 資産除去債務、固定資産の減損	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第25回	【全経簿記】 標準原価計算、CVP分析	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第26回	【全経簿記】 負ののれん発生益、社債	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第27回	【全経簿記】 直接原価計算、全部原価計算、固定費調整	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第28回	【全経簿記】 理論問題対策	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第29回	【全経簿記】 工場会計の独立	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔

第30回	【全経簿記】 財務諸表分析	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔

準備学習等	計算実務・全経簿記ともに短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。なお、予習は不要。
教科書 参考書等	【計算実務】 計算実務１・２級　公式テキスト　(共栄出版株式会社) 令和7年度版　計算実務能力検定試験　過去問題集１級 (公益社団法人　全国経理教育協会) 令和7年度版　計算実務能力検定試験　過去問題集２級 (公益社団法人　全国経理教育協会) 【全経簿記】 全経簿記能力検定試験公式テキスト　1級商業簿記・財務会計 (ネットスクール出版) 全経簿記能力検定試験公式問題集　1級商業簿記・財務会計（ネットスクール出版） 令和7年度版　簿記能力検定試験　過去問題集　1級　商業簿記・財務会計 (公益社団法人　全国経理教育協会) 令和7年度版　簿記能力検定試験　過去問題集　1級　原価計算・管理会計 (公益社団法人　全国経理教育協会)
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 経理実務は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	経理実務演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
		授業回数	15回
科目教員	鈴木　秀俊、宍戸　雄翔	成績評価方法	筆記試験　：　70　％
			授業態度　：　30　％
			：　％
科目教員のうち実務経験教員			：　％
			：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	「経理実務」で学習した基礎的な知識を基に、問題演習を通して本試験に対応できる能力を養うことを目的とする。また、項目別に問題演習を行うことで重要度の高い範囲をもう一度確認し、より知識を深める。なお、全国経理教育協会主催計算実務能力検定試験（以下、「計算実務」という。）と全国経理教育協会主催簿記能力検定試験（以下、「全経簿記」という。）に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	【計算実務】 過去問題　問題演習、解説①	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第2回	【計算実務】 過去問題　問題演習、解説②	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第3回	【計算実務】 過去問題　問題演習、解説③	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第4回	【計算実務】 過去問題　問題演習、解説④ 項目別対策（手形割引計算）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔

第5回	【計算実務】 過去問題　問題演習、解説⑤ 項目別対策（商品売買の計算）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第6回	【計算実務】 過去問題　問題演習、解説⑥ 項目別対策（委託販売・委託買付の手数料計算、金銭の貸し付け）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第7回	【計算実務】 過去問題　問題演習、解説⑦ 項目別対策（仲立人の手数料計算）	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第8回	【全経簿記】 過去問題　問題演習・解説①	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第9回	【全経簿記】 過去問題　問題演習・解説②	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第10回	【全経簿記】 過去問題　問題演習・解説③	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第11回	【全経簿記】 過去問題　問題演習・解説④	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第12回	【全経簿記】 過去問題　問題演習・解説⑤	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第13回	【全経簿記】 過去問題　問題演習・解説⑥	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第14回	【全経簿記】 過去問題　問題演習・解説⑦	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔
第15回	【全経簿記】 過去問題　問題演習・解説⑧	鈴木　秀俊 宍戸　雄翔

準備学習等	日々の問題のやり直しを丁寧に行うことが何よりも大切。間違った問題は全て確認し、わからないことがある場合には科目教員に確認するようにすること。また、問題演習を通して苦手項目が明らかになった場合には、その項目を重点的に復習すること。

教科書 参考書等	【計算実務】 計算実務１・２級　公式テキスト　(共栄出版株式会社) 令和7年度版　計算実務能力検定試験　過去問題集１級 (公益社団法人　全国経理教育協会) 令和7年度版　計算実務能力検定試験　過去問題集２級 (公益社団法人　全国経理教育協会) 【全経簿記】 全経簿記能力検定試験公式テキスト　1級商業簿記・財務会計 (ネットスクール出版) 全経簿記能力検定試験公式問題集　1級商業簿記・財務会計（ネットスクール出版) 令和7年度版　簿記能力検定試験　過去問題集　1級　商業簿記・財務会計 (公益社団法人　全国経理教育協会) 令和7年度版　簿記能力検定試験　過去問題集　1級　原価計算・管理会計 (公益社団法人　全国経理教育協会)
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 経理実務演習は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

041.宅地建物取引士入門

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程） ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程） 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程） ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（３年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	宅地建物取引士入門	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	40時間
		単位数	2単位
科目教員	竹村　幸生	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	不動産の取引に関連する代表的な法律(民法や宅地建物取引業法（以下、「宅建業法」という。）)の基礎を理解してもらうことを目的とする。民法では、意思表示、代理、売買、時効（取得時効）、対抗要件について学習する。宅建業法では、免許、宅地建物取引士、8種制限、媒介契約について学習する。その上で、本講義終了後の科目「宅地建物取引士Ｉ」に積極的に取り組めるようにする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	【民法】意思表示	竹村　幸生
第2回	【民法】代理	竹村　幸生
第3回	【民法】売買	竹村　幸生
第4回	【民法】時効（取得時効）	竹村　幸生
第5回	【民法】対抗要件	竹村　幸生
第6回	【宅建業法】免許	竹村　幸生

第7回	【宅建業法】宅地建物取引士	竹村　幸生
第8回	【宅建業法】8種制限①	竹村　幸生
第9回	【宅建業法】8種制限②	竹村　幸生
第10回	【宅建業法】媒介契約	竹村　幸生

準備学習等	予習の必要はない。法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をし、復習をしっかり行い、次回の講義に備えること。
教科書 参考書等	入門講義　権利関係・宅建業法　テキスト（学校法人　大原学園） 入門講義　権利関係・宅建業法　トレーニング問題集（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 宅地建物取引士入門は、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

学科	行政公務員学科(２年課程)・法律公務員学科(２年課程)・ 総合公務員学科(２年課程)・ＯＡ事務学科(１年課程)・ ＯＡ事務学科(２年課程)・ビジネス学科(２年課程)・ 経理事務学科(２年課程)・情報システム学科（１年課程）・ 情報システム学科(２年課程)・情報システム学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・ 税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	宅地建物取引士Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	竹村　幸生	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 40 % ミニテスト : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	宅地や建物の売買・賃貸等を取り扱う不動産業者が不正をしないよう規制する法律（宅地建物取引業法）を基礎から学び理解してもらうことを目的とする。不動産取引の種類に応じて必要となる法律が選別できること、宅地建物取引士資格試験に出題される宅地建物取引業法の問題が解答できる知識を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス、宅建業法(免許－1)	竹村　幸生
第2回	宅建業法(免許－2)	竹村　幸生
第3回	宅建業法(営業保証金、宅地建物取引業保証協会)	竹村　幸生
第4回	宅建業法(宅地建物取引士)	竹村　幸生
第5回	宅建業法(業務を行う場所に関する規制、8種制限－1)	竹村　幸生
第6回	宅建業法(8種制限－2)	竹村　幸生

第7回	宅建業法(一般的業務規制、取引態様の明示、媒介契約)	竹村　幸生
第8回	宅建業法(重要事項の説明等、契約書面の交付)	竹村　幸生
第9回	宅建業法(報酬、監督・罰則)	竹村　幸生
第10回	宅建業法(住宅瑕疵担保履行法)	竹村　幸生

準備学習等	学習する内容が多岐にわたり、日々新たな法律の理解を積み重ねていくこととなる。予習の必要はないが、講義で学んだ内容について、特にテキストを再読し、トレーニング問題集を複数回解き込むことにより、難解な法律であってもその読解力が身につく。復習を欠かさずに実施すること。
教科書 参考書等	基礎講義　宅建業法テキスト　(学校法人　大原学園) 宅建業法トレーニング問題集　(学校法人　大原学園)
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 宅地建物取引士Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	行政公務員学科(２年課程)・法律公務員学科(２年課程)・ 総合公務員学科(２年課程)・ＯＡ事務学科(１年課程)・ ＯＡ事務学科(２年課程)・ビジネス学科(２年課程)・ 経理事務学科(２年課程)・情報システム学科（１年課程）・ 情報システム学科(２年課程)・情報システム学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・ 税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	宅地建物取引士II	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	竹村　幸生	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：40％ ミニテスト：40％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	売買契約や賃貸借契約等に関する法律、契約から発生する権利・義務に関する法律（民法、借地借家法等）を基礎から学び理解してもらうことを目的とする。特に不動産取引においては不利益を被る可能性の高い買主や借主の立場となり、その権利を守るための考え方ができるようになること、宅地建物取引士資格試験に出題される権利関係の問題が解答できる知識を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	権利関係(制限行為能力者、意思表示)	竹村　幸生
第2回	権利関係(代理、時効)	竹村　幸生
第3回	権利関係(対抗要件、共有)	竹村　幸生
第4回	権利関係(抵当権、債権の発生と消滅)	竹村　幸生
第5回	権利関係(債務不履行、危険負担、連帯債務と保証債務)	竹村　幸生
第6回	権利関係(売買、請負)	竹村　幸生

第7回	権利関係(賃貸借、使用貸借、委任、不法行為)	竹村　幸生
第8回	権利関係(相続)	竹村　幸生
第9回	権利関係(借地借家法)	竹村　幸生
第10回	権利関係(区分所有法、不動産登記法)	竹村　幸生

準備学習等	学習する内容が多岐にわたり、日々新たな法律の理解を積み重ねていくこととなる。予習の必要はないが、講義で学んだ内容について、特にテキストを再読し、トレーニング問題集を複数回解き込むことにより、難解な法律であってもその読解力が身につく。復習を欠かさずに実施すること。
教科書 参考書等	基礎講義　権利関係テキスト　(学校法人　大原学園) 権利関係トレーニング問題集　(学校法人　大原学園)
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 宅地建物取引士Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	行政公務員学科(２年課程)・法律公務員学科(２年課程)・ 総合公務員学科(２年課程)・ＯＡ事務学科(１年課程)・ ＯＡ事務学科(２年課程)・ビジネス学科(２年課程)・ 経理事務学科(２年課程)・情報システム学科（１年課程）・ 情報システム学科(２年課程)・情報システム学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・ 税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	宅地建物取引士III	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	竹村　幸生	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 40 % ミニテスト : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	土地の利用方法や土地の区域により建築できる建物の種類に関する法律（都市計画法、建築基準法等）を基礎から学び理解してもらうことを目的とする。実際に不動産取引の買主または借主の立場となった際に不利益を被ることのないよう法律の内容を理解すること、宅地建物取引士資格試験に出題される法令上の制限の問題が解答できる知識を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	法令上の制限(都市計画法－1)	竹村　幸生
第2回	法令上の制限(都市計画法－2)	竹村　幸生
第3回	法令上の制限(建築基準法－1)	竹村　幸生
第4回	法令上の制限(建築基準法－2)	竹村　幸生
第5回	法令上の制限(国土利用計画法、宅地造成等規制法)	竹村　幸生
第6回	法令上の制限(農地法、土地区画整理法)	竹村　幸生

第7回	法令上の制限(所得税、登録免許税、印紙税)	竹村　幸生
第8回	法令上の制限(不動産取得税、固定資産税)	竹村　幸生
第9回	法令上の制限(不動産鑑定評価、地価公示法)	竹村　幸生
第10回	法令上の制限(景品表示法、住宅金融支援機構法)	竹村　幸生

準備学習等	学習する内容が多岐にわたり、日々新たな法律の理解を積み重ねていくこととなる。予習の必要はないが、講義で学んだ内容について、特にテキストを再読し、トレーニング問題集を複数回解き込むことにより、難解な法律であってもその読解力が身につく。復習を欠かさずに実施すること。
教科書 参考書等	基礎講義　法令上の制限テキスト　(学校法人　大原学園) 法令上の制限トレーニング問題集　(学校法人　大原学園)
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 宅地建物取引士Ⅲは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。

045.宅地建物取引士IV

学科	行政公務員学科(２年課程)・法律公務員学科(２年課程)・ 総合公務員学科(２年課程)・ＯＡ事務学科(１年課程)・ ＯＡ事務学科(２年課程)・ビジネス学科(２年課程)・ 経理事務学科(２年課程)・情報システム学科（１年課程）・ 情報システム学科(２年課程)・情報システム学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(２年課程)・税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・ 税理士会計士学科(３年課程)・税理士会計士学科(４年課程)
学年	１学年・２学年・３学年

科目名	宅地建物取引士IV	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	竹村　幸生	授業回数	5回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 ： 70 % 授業態度 ： 30 % ： % ： % ： %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	宅地建物取引士Ⅰ～Ⅲのまとめとして宅地建物取引業法、権利関係、法令上の制限の各種法律の相関関係を把握し、体系的な理解と知識の定着を図ることを目的とする。過去に宅地建物取引士資格試験に出題された問題を解答することができ、宅地建物取引士資格試験に合格できる知識を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	総まとめ問題①（宅地建物取引業法）	竹村　幸生
第2回	総まとめ問題②（権利関係）	竹村　幸生
第3回	総まとめ問題③（法令上の制限）	竹村　幸生
第4回	全国統一公開模擬試験（演習と解説）	竹村　幸生
第5回	直前模擬試験（演習と解説）	竹村　幸生

準備学習等	宅建物取引士Ⅰ～Ⅲで履修した内容を網羅的に確認しますので、事前に各種法律の内容をテキストで復習したうえで講義に臨んでください。

教科書 参考書等	基礎講義　宅建業法テキスト　(学校法人　大原学園) 基礎講義　権利関係テキスト　(学校法人　大原学園) 基礎講義　法令上の制限テキスト　(学校法人　大原学園)
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 宅地建物取引士Ⅳは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	OA事務学科（１年課程）・情報システム学科（１年課程） 経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・情報システム学科（２年課程） 税理士会計士学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程） 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程） 情報システム学科（３年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	賃貸不動産経営管理士	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	菊地　裕俊	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 授業態度 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	賃貸不動産経営管理士とは、主に賃貸アパートやマンションなど賃貸住宅の管理に関する知識・技能・倫理観を持った専門家である。賃貸不動産の管理業務にかかわる幅広い分野を学習するとともに、日常生活に大きく関わる住まいの知識を得ることを目的とし、賃貸不動産経営管理士試験に合格することを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 賃貸管理総論	菊地　裕俊
第2回	賃貸住宅管理業者登録制度	菊地　裕俊
第3回	賃貸不動産経営管理士の役割	菊地　裕俊
第4回	管理業務の受託方式	菊地　裕俊
第5回	借主の募集（管理業者の役割）	菊地　裕俊
第6回	賃貸借契約①	菊地　裕俊

第7回	賃貸借契約②	菊地　裕俊
第8回	建物管理の実務と賃貸借契約の管理	菊地　裕俊
第9回	建物・設備の知識	菊地　裕俊
第10回	賃貸業への支援業務	菊地　裕俊
第11回	過去問題演習および解説①（賃貸管理総論）	菊地　裕俊
第12回	過去問題演習および解説②（賃貸住宅管理業者登録制度）	菊地　裕俊
第13回	過去問題演習および解説③（賃貸不動産経営管理士の役割）	菊地　裕俊
第14回	過去問題演習および解説④（管理業務の受託）	菊地　裕俊
第15回	過去問題演習および解説⑤（賃貸借契約①）	菊地　裕俊
第16回	過去問題演習および解説⑥（賃貸借契約②）	菊地　裕俊
第17回	過去問題演習および解説⑦（建物管理の実務と賃貸借契約の管理）	菊地　裕俊
第18回	過去問題演習および解説⑧（建物・設備の知識）	菊地　裕俊
第19回	過去問題演習および解説⑨（賃貸業への支援業務）	菊地　裕俊
第20回	賃貸不動産経営管理士総論	菊地　裕俊

準備学習等	予習の必要はない。日々の復習をしっかり行うこと。
教科書 参考書等	賃貸不動産管理の知識と実務　賃貸不動産経営管理士公式テキスト（大成出版） みんなが欲しかった！賃貸不動産経営管理士の教科書（TAC出版） みんなが欲しかった！賃貸不動産経営管理士の過去問題集（TAC出版） TAC直前予想賃貸不動産経営管理士（TAC出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。賃貸不動産経営管理士は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	文書処理技能	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	40時間
		単位数	2単位
		授業回数	14回
科目教員	菊地 裕美	成績評価方法	実技試験 : 50 %
			知識試験 : 30 %
			授業態度 : 20 %
科目教員のうち実務経験教員	菊地　裕美		: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	Microsoft Wordの操作方法		
実務経験教員の実務経験内容	専門学校講師（外国人留学生を含む）		
授業目的 到達目標	PCを用いて基礎的な技能を習得し、簡単なビジネス文書を作成できるようにする。また、タイピングソフトを使い、入力速度の向上を図り、ブラインドタッチができるようにする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス	菊地　裕美
第2回	キーボードの打ち分け方法Wordの画面構成 フォルダ管理 タイピング練習	菊地　裕美
第3回	3級問題集練習問題、解説1	菊地　裕美
第4回	3級問題集練習問題、解説2	菊地　裕美
第5回	3級問題集練習問題、解説3	菊地　裕美

第6回	3級問題集模擬問題　解説1・2	菊地　裕美
第7回	3級問題集模擬問題　解説3・4	菊地　裕美
第8回	3級問題集模擬問題　解説5・6	菊地　裕美
第9回	3級問題集模擬問題　解説7	菊地　裕美
第10回	3級問題集模擬試験、解説	菊地　裕美
第11回	サンプル問題　採点	菊地　裕美
第12回	直前模擬問題、解説①	菊地　裕美
第13回	直前模擬問題、解説②	菊地　裕美
第14回	直前模擬問題、解説③	菊地　裕美

準備学習等	Word文書処理認定試験3級を取得できるようにするため、検定試験と類似の問題を準備し、多くの問題に携わることで授業内容の理解を深める。
教科書 参考書等	サーティファイ　文書処理技能認定試験　Word3級問題集（株式会社サーティファイ）
備考	PCの環境を整え、スムーズに授業が行えるようにする。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。文書処理技能は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。 ガイダンスは1時間の講義となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	プレゼンテーション技能	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	40時間
		単位数	2単位
科目教員	菊地　裕美	授業回数	14回
科目教員のうち実務経験教員	菊地　裕美	成績評価方法	実技試験：50％ 知識試験：30％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	Microsoft PowerPointの操作方法		
実務経験教員の実務経験内容	専門学校講師（外国人留学生含む）		
授業目的 到達目標	PCを用いて基礎的な技能を習得し、会議や講演などでプレゼンテーションを行うときに必要な資料作成ができるようにする。また、タイピングソフトを使い、入力速度の向上を図り、ブラインドタッチができるようにする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス	菊地　裕美
第2回	プレゼンテーション概論、 フォルダ管理、 タイピング練習	菊地　裕美
第3回	PPT画面構成、 プレゼンテーションの構成	菊地　裕美
第4回	初級問題集 練習問題、解説1	菊地　裕美
第5回	初級問題集 練習問題、解説2	菊地　裕美

第6回	初級問題集 練習問題、解説3	菊地　裕美
第7回	初級問題集 模擬問題、解説1	菊地　裕美
第8回	初級問題集 模擬問題、解説2	菊地　裕美
第9回	初級問題集 模擬問題、解説3	菊地　裕美
第10回	模擬試験問題、解説 採点の仕方レクチャー	菊地　裕美
第11回	サンプル問題、解説	菊地　裕美
第12回	直前模擬問題、解説①	菊地　裕美
第13回	直前模擬問題、解説②	菊地　裕美
第14回	直前模擬問題、解説③	菊地　裕美

準備学習等	画面構成のプリントを準備し、「タブ」や「リボン」などの単語を覚えるのに役立つようにする。
教科書 参考書等	クイックマスター（株式会社ウイネット） プレゼンテーション問題集（株式会社サーティファイ）
備考	PCの環境を整え、スムーズに授業が行えるようにする。 ガイダンスは1時間の講義となる。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。プレゼンテーション技能は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	マーケティング基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	4単位
		授業回数	20回
科目教員	中島　京哉	成績評価方法	筆記試験　：　50　％
			ミニテスト　：　30　％
			授業態度　：　20　％
科目教員のうち実務経験教員			：　％
			：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	将来、販売士・営業職を希望する学生を対象に、小売店舗を運営するための基本的な仕組み、インターネットを活用したマーケティング戦略を学ぶことを目的とし、サーティファイ主催ネットマーケティング検定に合格できる能力を身につけることを目標としています。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス インターネットマーケティングを行うにあたって	中島　京哉
第2回	インターネット技術概論	中島　京哉
第3回	インターネットマーケティングの個別手法	中島　京哉
第4回	インターネットリサーチ	中島　京哉
第5回	プロモーション	中島　京哉
第6回	インターネット広告	中島　京哉
第7回	インターネットを利用した販売	中島　京哉

第8回	効果測定	中島　京哉
第9回	外注管理	中島　京哉
第10回	各種ポリシー	中島　京哉
第11回	関連法規①	中島　京哉
第12回	関連法規②	中島　京哉
第13回	インターネットを利用した販とコンプライアンス、CSR	中島　京哉
第14回	事例問題対策①	中島　京哉
第15回	事例問題対策②	中島　京哉
第16回	過去問題演習・解説①	中島　京哉
第17回	過去問題演習・解説②	中島　京哉
第18回	過去問題演習・解説③	中島　京哉
第19回	過去問題演習・解説④	中島　京哉
第20回	過去問題演習・解説⑤	中島　京哉

準備学習等	毎回の授業の始めに確認テストを実施し、前回の授業範囲が理解できているか確認を行う。 確認テストを解答できるよう、毎日の授業の復習を怠らないようにすること。
教科書 参考書等	ネットマーケティング検定公式テキスト　インターネットマーケティング　基礎編 （株式会社インプレス） ネットマーケティング検定　過去問題集　（株式会社ウィネット）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。マーケティング基礎は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	リテールマーケティング基礎Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤　英一、中島　京哉、山下　健二	授業回数	20回
		成績評価方法	筆記試験　：　70　％
			授業態度　：　30　％
			：　％
科目教員のうち実務経験教員	山下　健二		：　％
			：　％

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。
実務経験教員の実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。
授業目的 到達目標	流通・小売業で必要な基礎知識・技能を理解し、販売担当として必要な知識・技術を学習することを目的とする。授業内容の理解を到達目標とする。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の類型 流通における小売業の基本	工藤　英一 中島　京哉
第2回	小売業の類型 組織形態別小売業の基本①	工藤　英一 中島　京哉
第3回	小売業の類型 組織形態別小売業の基本②	工藤　英一 中島　京哉
第4回	小売業の類型 店舗形態別小売業の基本的役割	工藤　英一 中島　京哉
第5回	マーチャンダイジング 商品の基本	山下　健二

第6回	マーチャンダイジング マーチャンダイジングの基本	山下　健二
第7回	マーチャンダイジング 商品計画の基本	山下　健二
第8回	マーチャンダイジング 販売計画および仕入計画などの基本	山下　健二
第9回	ストアオペレーション ストアオペレーションの基本①	工藤　英一 中島　京哉
第10回	ストアオペレーション ストアオペレーションの基本②	工藤　英一 中島　京哉
第11回	ストアオペレーション ストアオペレーションの基本③	工藤　英一 中島　京哉
第12回	ストアオペレーション ストアオペレーションの基本④	工藤　英一 中島　京哉
第13回	マーケティング 小売業のマーケティングの基本	工藤　英一 中島　京哉
第14回	マーケティング 顧客満足経営の基本	工藤　英一 中島　京哉
第15回	マーケティング 商圏の設定と出店の基本①	工藤　英一 中島　京哉
第16回	マーケティング 商圏の設定と出店の基本②	工藤　英一 中島　京哉
第17回	販売・経営管理 販売員の役割の基本	工藤　英一 中島　京哉
第18回	販売・経営管理 販売員の法令知識①	工藤　英一 中島　京哉
第19回	販売・経営管理 販売員の法令知識②	工藤　英一 中島　京哉
第20回	販売・経営管理 小売業の計数管理	工藤　英一 中島　京哉
準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施する。復習を計画的に行うこと。	

教科書 参考書等	販売士ハンドブック３級　上巻・下巻（カリアック） 販売士３級模擬問題集　（カリアック）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 リテールマーケティング基礎Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	リテールマーケティング基礎Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤　英一、中島　京哉、山下　健二	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	山下　健二	成績評価方法	筆記試験　：　70　％ 授業態度　：　30　％ ：　％ ：　％ ：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。		
実務経験教員の実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。		
授業目的 到達目標	科目「リテールマーケティング基礎Ⅰ」を前提に、流通・小売業で必要な知識を深め、販売担当として必要な知識・技術を学習することを目的とする。日本商工会議所主催リテールマーケティング（販売士）検定3級取得を目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の類型 店舗形態別小売業の基本的役割①	工藤　英一 中島　京哉
第2回	小売業の類型 店舗形態別小売業の基本的役割②	工藤　英一 中島　京哉
第3回	小売業の類型 商業集積の基本	工藤　英一 中島　京哉
第4回	小売業の類型 総合問題演習	工藤　英一 中島　京哉
第5回	マーチャンダイジング 価格設定の基本	山下　健二

第6回	マーチャンダイジング 在庫管理の基本	山下　健二
第7回	マーチャンダイジング 販売管理の基本	山下　健二
第8回	マーチャンダイジング 総合問題演習	山下　健二
第9回	ストアオペレーション ディスプレイの基本①	工藤　英一 中島　京哉
第10回	ストアオペレーション ディスプレイの基本②	工藤　英一 中島　京哉
第11回	ストアオペレーション ディスプレイの基本③	工藤　英一 中島　京哉
第12回	ストアオペレーション 総合問題演習	工藤　英一 中島　京哉
第13回	マーケティング リージョナルプロモーション（売場起点の狭域型購買促進）の基本①	工藤　英一 中島　京哉
第14回	マーケティング リージョナルプロモーション（売場起点の狭域型購買促進）の基本②	工藤　英一 中島　京哉
第15回	マーケティング 顧客志向型売場づくりの基本①	工藤　英一 中島　京哉
第16回	マーケティング 顧客志向型売場づくりの基本②	工藤　英一 中島　京哉
第17回	マーケティング 総合問題演習	工藤　英一 中島　京哉
第18回	販売・経営管理 小売業の計数管理	工藤　英一 中島　京哉
第19回	販売・経営管理 店舗管理の基本	工藤　英一 中島　京哉
第20回	販売・経営管理 総合問題演習	工藤　英一 中島　京哉
準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施する。復習を計画的に行うこと。	

教科書 参考書等	販売士ハンドブック３級　上巻・下巻（カリアック） 販売士３級模擬問題集　（カリアック）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 リテールマーケティング基礎Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	リテールマーケティング基礎演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤　英一、中島　京哉、山下　健二	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	山下　健二	成績評価方法	筆記試験 : 70 % 授業態度 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。		
実務経験教員の実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。		
授業目的 到達目標	科目「リテールマーケティング基礎Ⅰ」及び「リテールマーケティング基礎Ⅱ」を前提とし、問題演習を通じて学習範囲を振り返り、更なる知識の定着を図ることを目的とする。また、日本商工会議所主催リテールマーケティング（販売士）検定3級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の類型(問題演習) 流通における小売業の基本	工藤　英一 中島　京哉
第2回	小売業の類型(問題演習) 組織形態別小売業の基本	工藤　英一 中島　京哉
第3回	小売業の類型(問題演習) 店舗形態別小売業の基本的役割	工藤　英一 中島　京哉
第4回	小売業の類型(問題演習) 商業集積の基本	工藤　英一 中島　京哉

第5回	マーチャンダイジング(問題演習) 商品の基本	山下　健二
第6回	マーチャンダイジング(問題演習) マーチャンダイジングの基本、商品計画の基本	山下　健二
第7回	マーチャンダイジング(問題演習) 販売計画および仕入計画などの基本	山下　健二
第8回	マーチャンダイジング(問題演習) 価格設定の基本	山下　健二
第9回	マーチャンダイジング(問題演習) 販売管理の基本	山下　健二
第10回	ストアオペレーション(問題演習) ストアオペレーションの基本	工藤　英一 中島　京哉
第11回	ストアオペレーション(問題演習) ディスプレイの基本①	工藤　英一 中島　京哉
第12回	ストアオペレーション(問題演習) ディスプレイの基本②	工藤　英一 中島　京哉
第13回	ストアオペレーション(問題演習) ディスプレイの基本③	工藤　英一 中島　京哉
第14回	マーケティング(問題演習) 小売業のマーケティングの基本、顧客満足経営の基本	工藤　英一 中島　京哉
第15回	マーケティング(問題演習) 商圏の設定と出店の基本	工藤　英一 中島　京哉
第16回	マーケティング(問題演習) リージョナルプロモーション（売場起点の狭域型購買促進）の基本	工藤　英一 中島　京哉
第17回	マーケティング(問題演習) 顧客志向型売場づくりの基本	工藤　英一 中島　京哉

第18回	直前模擬試験問題①演習・解説	工藤　英一 中島　京哉
第19回	直前模擬試験問題②演習・解説	工藤　英一 中島　京哉
第20回	直前模擬試験問題③演習・解説	工藤　英一 中島　京哉

準備学習等	全範囲の理解度を再確認する。復習を計画的に行うこと。
教科書 参考書等	販売士ハンドブック３級　上巻・下巻（カリアック） 販売士３級模擬問題集　（カリアック）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 リテールマーケティング基礎演習は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	リテールマーケティング応用Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
		授業回数	20回
科目教員	工藤　英一、中島　京哉、山下　健二	成績評価方法	筆記試験　：　70　％ 授業態度　：　30　％ ：　％ ：　％ ：　％
科目教員のうち実務経験教員	山下　健二		
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。		
実務経験教員の実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。		
授業目的 到達目標	流通・小売業における専門知識を身につけることを目的とし、販売員としての接客知識も学習する。授業内容の理解を到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の類型 流通と小売業の役割①	工藤　英一 中島　京哉
第2回	小売業の類型 流通と小売業の役割②	工藤　英一 中島　京哉
第3回	小売業の類型 組織別小売業の運営特性①	工藤　英一 中島　京哉
第4回	小売業の類型 組織別小売業の運営特性②	工藤　英一 中島　京哉
第5回	マーチャンダイジング マーチャンダイジングの戦略的展開	山下　健二
第6回	マーチャンダイジング 商品計画の戦略的立案	山下　健二

第7回	マーチャンダイジング 販売計画の戦略的展開	山下　健二
第8回	マーチャンダイジング 仕入計画の策定と仕入活動の戦略的展開	山下　健二
第9回	ストアオペレーション 戦略的ストアオペレーションの展開視点	山下　健二
第10回	ストアオペレーション 店舗運営サイクルの実践と管理①	工藤　英一 中島　京哉
第11回	ストアオペレーション 店舗運営サイクルの実践と管理②	工藤　英一 中島　京哉
第12回	ストアオペレーション 店舗運営サイクルの実践と管理③	工藤　英一 中島　京哉
第13回	マーケティング リテールマーケティング戦略の考え方①	工藤　英一 中島　京哉
第14回	マーケティング リテールマーケティング戦略の考え方②	工藤　英一 中島　京哉
第15回	マーケティング 顧客戦略の展開方法	工藤　英一 中島　京哉
第16回	マーケティング リージョナルプロモーションの企画と実践	工藤　英一 中島　京哉
第17回	販売・経営管理 販売管理者の法令知識①	工藤　英一 中島　京哉
第18回	販売・経営管理 販売管理者の法令知識②	工藤　英一 中島　京哉
第19回	販売・経営管理 販売管理者の法令知識③	工藤　英一 中島　京哉
第20回	販売・経営管理 販売管理者の法令知識④	工藤　英一 中島　京哉

準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施する。復習を計画的に行うこと。
教科書 参考書等	販売士２級ハンドブック（上巻・下巻）（カリアック） 販売士２級演習問題集（カリアック）

備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 リテールマーケティング応用Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	リテールマーケティング応用Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
		授業回数	20回
科目教員	工藤　英一、中島　京哉、山下　健二	成績評価方法	筆記試験　：　70　％ 授業態度　：　30　％ ：　％ ：　％ ：　％
科目教員のうち実務経験教員	山下　健二		
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。		
実務経験教員の実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。		
授業目的 到達目標	科目「リテールマーケティング応用Ⅰ」を前提に、流通・小売業における専門知識を深めることを目的とし、販売員としての接客のみならず、売場や店舗管理者としての知識も学習する。日本商工会議所主催リテールマーケティング（販売士）検定2級取得を目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の類型 店舗形態別小売業の運営特性①	工藤　英一 中島　京哉
第2回	小売業の類型 店舗形態別小売業の運営特性②	工藤　英一 中島　京哉
第3回	小売業の類型 中小小売業の課題と商業集積の方向性①	工藤　英一 中島　京哉
第4回	小売業の類型 中小小売業の課題と商業集積の方向性②	工藤　英一 中島　京哉
第5回	マーチャンダイジング 販売政策の戦略的展開①	山下　健二

第6回	マーチャンダイジング 販売政策の戦略的展開②	山下　健二
第7回	マーチャンダイジング 商品管理政策の戦略的展開	山下　健二
第8回	マーチャンダイジング 物流政策の戦略的展開	山下　健二
第9回	ストアオペレーション 戦略的ディスプレイの実践方法①	工藤　英一 中島　京哉
第10回	ストアオペレーション 戦略的ディスプレイの実践方法②	工藤　英一 中島　京哉
第11回	ストアオペレーション LSPの役割と仕組み	工藤　英一 中島　京哉
第12回	ストアオペレーション 人的販売の実践と管理	工藤　英一 中島　京哉
第13回	マーケティング リージョナルプロモーションの企画と実践	工藤　英一 中島　京哉
第14回	マーケティング 商圏分析ならびに出店戦略の立案①	工藤　英一 中島　京哉
第15回	マーケティング 商圏分析ならびに出店戦略の立案②	工藤　英一 中島　京哉
第16回	マーケティング 店舗（業態）開発の手順と実践	工藤　英一 中島　京哉
第17回	販売・経営管理 販売事務管理に求められる経営分析	工藤　英一 中島　京哉
第18回	販売・経営管理 小売業の組織体制と従業員管理①	工藤　英一 中島　京哉
第19回	販売・経営管理 小売業の組織体制と従業員管理②	工藤　英一 中島　京哉
第20回	販売・経営管理 店舗施設などの維持管理	工藤　英一 中島　京哉
準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施する。復習を計画的に行うこと。	

教科書 参考書等	販売士２級ハンドブック（上巻・下巻）（カリアック） 販売士２級演習問題集（カリアック）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 リテールマーケティング応用 II は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	リテールマーケティング応用演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	工藤　英一、中島　京哉、山下　健二	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	山下　健二	成績評価方法	筆記試験　：　70　％ 授業態度　：　30　％ ：　％ ：　％ ：　％

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。
実務経験教員の実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。
授業目的 到達目標	科目「リテールマーケティング応用Ⅰ」及び「リテールマーケティング応用Ⅱ」を前提とし、問題演習を通じて学習範囲を振り返り、更なる知識の定着を図ることを目的とする。また、日本商工会議所主催リテールマーケティング（販売士）検定２級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の類型（問題演習） 流通と小売業の役割	工藤　英一 中島　京哉
第2回	小売業の類型（問題演習） 組織別小売業の運営特性	工藤　英一 中島　京哉
第3回	小売業の類型（問題演習） 店舗形態別小売業の運営特性	工藤　英一 中島　京哉
第4回	小売業の類型（問題演習） 中小小売業の課題と商業集積の方向性	工藤　英一 中島　京哉
第5回	マーチャンダイジング（問題演習） マーチャンダイジングの戦略的展開、商品計画の戦略的立案	山下　健二

第6回	マーチャンダイジング（問題演習） 販売計画の戦略的展開、仕入計画の策定と仕入活動の戦略的展開	山下　健二
第7回	マーチャンダイジング（問題演習） 販売政策の戦略的展開	山下　健二
第8回	マーチャンダイジング（問題演習） 商品管理政策の戦略的展開、物流政策の戦略的展開	山下　健二
第9回	ストアオペレーション（問題演習） 戦略的ストアオペレーションの展開視点、店舗運営サイクルの実践と管理	工藤　英一 中島　京哉
第10回	ストアオペレーション（問題演習） 戦略的ディスプレイの実践方法	工藤　英一 中島　京哉
第11回	ストアオペレーション（問題演習） 戦略的ディスプレイの実践方法、LSPの役割と仕組み	工藤　英一 中島　京哉
第12回	ストアオペレーション（問題演習） 人的販売の実践と管理	工藤　英一 中島　京哉
第13回	マーケティング（問題演習） リテールマーケティング戦略の考え方	工藤　英一 中島　京哉
第14回	マーケティング（問題演習） リテールマーケティング戦略の実施方法、顧客戦略の展開方法	工藤　英一 中島　京哉
第15回	マーケティング（問題演習） リージョナルプロモーションの企画と実践、 商圏分析ならびに出店戦略の立案	工藤　英一 中島　京哉
第16回	マーケティング（問題演習） 店舗（業態）開発の手順と実践	工藤　英一 中島　京哉
第17回	販売・経営管理（問題演習） 販売管理者の法令知識	工藤　英一 中島　京哉
第18回	販売・経営管理（問題演習） 販売事務管理に求められる経営分析	工藤　英一 中島　京哉
第19回	販売・経営管理（問題演習） 小売業の組織体制と従業員管理	工藤　英一 中島　京哉
第20回	販売・経営管理（問題演習） 店舗施設などの維持管理	工藤　英一 中島　京哉
準備学習等	全範囲の理解度を再確認する。復習を計画的に行うこと。	

教科書 参考書等	販売士２級ハンドブック（上巻・下巻）（カリアック） 販売士２級演習問題集（カリアック）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 リテールマーケティング応用演習は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	税務会計	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	4単位
科目教員	宍戸　雄翔	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	消費税・法人税の基本的な税務処理及び源泉徴収や確定申告の書類作成ができることを目的とする。また、消費税・法人税の計算及び理論体系を学ぶことで全国経理教育協会主催消費税法能力検定試験2級及び、全国経理教育協会主催法人税法能力検定試験3級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	【消費税】 消費税の概要、課税の対象、非課税	宍戸　雄翔
第2回	【消費税】 輸出免税等	宍戸　雄翔
第3回	【消費税】 納税義務者、納税地、納税期間	宍戸　雄翔
第4回	【消費税】 課税標準及び税率	宍戸　雄翔

第5回	【消費税】 仕入税額控除	宍戸　雄翔
第6回	【消費税】 課税標準額に対する消費税額の調整	宍戸　雄翔
第7回	【消費税】 申告、納付、還付	宍戸　雄翔
第8回	【消費税】 過去試験問題　実施・解説①	宍戸　雄翔
第9回	【消費税】 過去試験問題　実施・解説②	宍戸　雄翔
第10回	【消費税】 過去試験問題　実施・解説③	宍戸　雄翔
第11回	【消費税】 過去試験問題　実施・解説④	宍戸　雄翔
第12回	【消費税】 過去試験問題　実施・解説⑤	宍戸　雄翔
第13回	【消費税】 過去試験問題　実施・解説⑥	宍戸　雄翔
第14回	【消費税】 過去試験問題　実施・解説⑦	宍戸　雄翔
第15回	【消費税】 過去試験問題　実施・解説⑧	宍戸　雄翔
第16回	【法人税】 法人税の概要、所得の金額の計算方法	宍戸　雄翔
第17回	【法人税】 租税公課の概要、減価償却（概要、減価償却資産の範囲・償却方法）	宍戸　雄翔
第18回	【法人税】 繰延資産、貸倒引当金（概要、繰り入れ限度額の計算式、個別評価金銭債権、一括評価金銭債権）	宍戸　雄翔
第19回	【法人税】 貸倒引当金（申告調整額の計算および処理、問題集解説）、同族会社	宍戸　雄翔
第20回	【法人税】 役員に対する給与等、税額の計算（別表四および別表一のまとめ）	宍戸　雄翔

第21回	【法人税】 寄附金、交際費等	宍戸　雄翔
第22回	【法人税】 資産の評価、申告手続	宍戸　雄翔
第23回	【法人税】 過去試験問題　実施・解説①	宍戸　雄翔
第24回	【法人税】 過去試験問題　実施・解説②	宍戸　雄翔
第25回	【法人税】 過去試験問題　実施・解説③	宍戸　雄翔
第26回	【法人税】 過去試験問題　実施・解説④	宍戸　雄翔
第27回	【法人税】 過去試験問題　実施・解説⑤	宍戸　雄翔
第28回	【法人税】 過去試験問題　実施・解説⑥	宍戸　雄翔
第29回	【法人税】 過去試験問題　実施・解説⑦	宍戸　雄翔
第30回	【法人税】 過去試験問題　実施・解説⑧	宍戸　雄翔

準備学習等	税務書類は全ての計算ができて完成する。日々の授業の復習を怠らないようにすること。また、各回の内容の理解が不十分な場合には、科目教員に質問・相談を行い次回の授業に臨むこと。
教科書 参考書等	【消費税】 全経消費税法能力検定試験公式テキスト3級/2級（ネットスクール） 令和7年度版　消費税法能力検定試験過去問題集　2級 （公益社団法人　全国経理教育協会） 【法人税】 全経法人税法能力検定試験公式テキスト3級/2級（ネットスクール） 令和7年度版　法人税法能力検定試験　過去問題集　3級 （公益社団法人　全国経理教育協会）

備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。税務会計は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	社会人総合実習IV	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	90時間
		単位数	4単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	鈴木裕治	成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	システム開発において、実務に沿った開発フローを行う。 要件定義においては必要機能要件だけでなく、非機能要件についても評価することでより実務に近い開発を行う。
実務経験教員の実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)
授業目的 到達目標	システム設計及びシステム開発に関する知識、技能を有し、 統合開発環境を用いたプログラミングからデバックまでを実践することができる。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	システム開発演習① システムの設計と構築	鈴木裕治
第2回	システム開発演習② システムの設計と構築	鈴木裕治
第3回	システム開発演習③ システムの設計と構築	鈴木裕治
第4回	システム開発演習④ システムの設計と構築	鈴木裕治
第5回	システム開発演習⑤ システムの設計と構築	鈴木裕治
第6回	システム設計演習①	鈴木裕治 河野賢一

第7回	システム設計演習②	鈴木裕治 河野賢一
第8回	システム設計演習③	鈴木裕治 河野賢一
第9回	システム設計演習④	鈴木裕治 河野賢一
第10回	システム設計演習⑤	鈴木裕治 河野賢一
第11回	システム要件定義①	鈴木裕治 河野賢一
第12回	システム要件定義②	鈴木裕治 河野賢一
第13回	非機能要件①	鈴木裕治 河野賢一
第14回	非機能要件②	鈴木裕治 河野賢一
第15回	システム設計①	鈴木裕治 河野賢一
第16回	システム設計②	鈴木裕治 河野賢一
第17回	システム詳細設計①	鈴木裕治 河野賢一
第18回	システム詳細設計②	鈴木裕治 河野賢一

第19回	ソフトウェア設計①	鈴木裕治 河野賢一
第20回	ソフトウェア設計②	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作およびプログラミングの基礎を理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	秘書基礎Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
		授業回数	10回
科目教員	千葉　菜愛	成績評価方法	筆記試験 ： 50 %
			ミニテスト ： 30 %
			授業態度 ： 20 %
科目教員のうち実務経験教員			： %
			： %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	
実務経験教員の実務経験内容	
授業目的 到達目標	秘書実務、一般知識の内容を理解し、組織人としてマナー・技能の基本を習得していきます。言葉遣いなどを正しく使うことができるようになり、実務技能検定協会主催秘書検定2級の実務、一般知識の内容を理解することで実務技能検定協会主催秘書検定準1級の取得に繋げていきます。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス：検定試験の概要 一般知識：カタカナ語 マナー接遇：尊敬語・謙譲語	千葉　菜愛
第2回	一般知識：カタカナ語 マナー接遇：上司に対する言葉遣い	千葉　菜愛
第3回	一般知識：カタカナ語 マナー接遇：席次のルール、弔事のマナー	千葉　菜愛
第4回	一般知識：カタカナ語 マナー接遇：贈り物のマナー、贈答品の上書き、贈答品のマナー	千葉　菜愛
第5回	一般知識：経営に関する知識 技　　能：郵便の知識	千葉　菜愛

第6回	一般知識：経営に関する知識 技　　能：文書の重要漢字、文書作成の知識、社内文書	千葉　菜愛
第7回	一般知識：経営に関する知識 技　　能：文書作成の知識、社外文書宛名の書き方	千葉　菜愛
第8回	一般知識：法律に関する知識 技　　能：慶事の種類、時候の言葉	千葉　菜愛
第9回	一般知識：法律に関する知識 技　　能：秘文書の扱い方、ファイリングの方法	千葉　菜愛
第10回	中間テスト実施および解説 一般知識、マナー接遇、技能	千葉　菜愛

準備学習等	日々の復習を欠かさずに行い、知識の定着を図れるよう取り組んでください。特に一般知識の用語については内容を記述で解答できるように学習してください。
教科書 参考書等	出る順問題集　秘書検定準1級に面白いほど受かる本（株式会社KADOKAWA） 秘書検定準1級集中講義（早稲田教育出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。秘書基礎Ⅰは上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	秘書基礎Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	千葉　菜愛	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：50％ ミニテスト：30％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「秘書基礎Ⅰ」に引き続き、マナー・技能を習得します。組織人として必要な基本的な処理ができるようになります。実務技能検定協会主催秘書検定2級の実務、一般知識の内容を理解することで実務技能検定協会主催秘書検定準1級の取得に繋げていきます。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	一般知識：税務に関する知識 技　　能：会議の準備、会議の知識	千葉　菜愛
第2回	一般知識：会社に関する知識 技　　能：会議用語、会議と会議の形式	千葉　菜愛
第3回	一般知識：会社の関する知識 技　　能：上司のスケジュール管理	千葉　菜愛
第4回	一般知識：財務に関する知識 技　　能：名刺の整理、職場のレイアウト	千葉　菜愛
第5回	一般知識：財務に関する知識 技　　能：グラフの書き方（折れ線・円グラフ）	千葉　菜愛

第6回	一般知識：小切手と手形の知識 技　　能：グラフの書き方（帯・棒・複合グラフ）	千葉　菜愛
第7回	一般知識：小切手と手形の知識 技　　能：電報の知識	千葉　菜愛
第8回	一般知識：労務に関する知識 技　　能：新聞出版に関する用語、知識	千葉　菜愛
第9回	一般知識：その他の知識 技　　能：自分側・相手側の言い方、物の数え方	千葉　菜愛
第10回	総復習 まとめテスト実施および解説 一般知識、マナー接遇、技能	千葉　菜愛

準備学習等	日々の復習を欠かさずに行い、知識の定着を図れるよう取り組んでください。 特に一般知識の用語については内容を記述で解答できるように学習してください。
教科書 参考書等	出る順問題集　秘書検定準1級に面白いほど受かる本（株式会社KADOKAWA） 秘書検定準1級集中講義（早稲田教育出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。秘書基礎Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	ビジネス会計Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木　秀俊、工藤　英一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 ： 70 % 授業態度 ： 30 % ： % ： % ： %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	基本財務諸表としての貸借対照表、損益計算書およびキャッシュ・フロー計算書に記載されている項目と計算構造について学びます。さらに、企業が成長しているか、債務等の支払い能力など、財務諸表分析を学習する。会計の用語、財務諸表の構造・読み方・分析等、財務諸表を理解するための基礎的な力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ディスクロージャー①	鈴木　秀俊 工藤　英一
第2回	ディスクロージャー②	鈴木　秀俊 工藤　英一
第3回	ディスクロージャー③	鈴木　秀俊 工藤　英一
第4回	財務諸表と計算書類①	鈴木　秀俊 工藤　英一
第5回	財務諸表と計算書類②	鈴木　秀俊 工藤　英一
第6回	財務諸表と計算書類③	鈴木　秀俊 工藤　英一

第7回	財務諸表項目の要点①	鈴木　秀俊 工藤　英一
第8回	財務諸表項目の要点②	鈴木　秀俊 工藤　英一
第9回	財務諸表項目の要点③	鈴木　秀俊 工藤　英一
第10回	財務諸表項目の要点④	鈴木　秀俊 工藤　英一
第11回	財務諸表の作成原理①	鈴木　秀俊 工藤　英一
第12回	財務諸表の作成原理②	鈴木　秀俊 工藤　英一
第13回	財務諸表分析①	鈴木　秀俊 工藤　英一
第14回	財務諸表分析②	鈴木　秀俊 工藤　英一
第15回	財務諸表分析③	鈴木　秀俊 工藤　英一
第16回	企業価値分析①	鈴木　秀俊 工藤　英一
第17回	企業価値分析②	鈴木　秀俊 工藤　英一
第18回	企業価値分析③	鈴木　秀俊 工藤　英一
第19回	総合問題演習①	鈴木　秀俊 工藤　英一
第20回	総合問題演習②	鈴木　秀俊 工藤　英一

準備学習等	予習の必要はない。計画的に復習を行うこと。
教科書 参考書等	ビジネス会計検定試験公式テキスト2級　（中央経済社）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 ビジネス会計Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	ビジネス会計Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木　秀俊、工藤　英一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験　：　70　％ 授業態度　：　30　％ ：　％ ：　％ ：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「ビジネス会計Ⅰ」を前提に、会計情報に関する総合的な知識として、投資関連の各種ディスクロージャーや財務諸表と計算書類の総合的な理解を深める。また、概念フレームワーク、会計基準、内部統制やマネジメントにおける事業評価などにも活用できる企業価値分析の基本的な考え方や分析方法についても学習する。企業の成長性や課題、経営方針・戦略などを理解し、財務諸表を含む会計情報を総合的かつ詳細に分析し企業評価できる力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	企業会計	鈴木　秀俊 工藤　英一
第2回	財務諸表①	鈴木　秀俊 工藤　英一
第3回	財務諸表②	鈴木　秀俊 工藤　英一
第4回	貸借対照表①	鈴木　秀俊 工藤　英一
第5回	貸借対照表②	鈴木　秀俊 工藤　英一
第6回	損益計算書①	鈴木　秀俊 工藤　英一

第7回	損益計算書②	鈴木　秀俊 工藤　英一
第8回	損益計算書③	鈴木　秀俊 工藤　英一
第9回	損益計算書④	鈴木　秀俊 工藤　英一
第10回	連結包括利益計算書	鈴木　秀俊 工藤　英一
第11回	株主資本等変動計算書	鈴木　秀俊 工藤　英一
第12回	連結キャッシュ・フロー計算書①	鈴木　秀俊 工藤　英一
第13回	連結キャッシュ・フロー計算書②	鈴木　秀俊 工藤　英一
第14回	連結キャッシュ・フロー計算書③	鈴木　秀俊 工藤　英一
第15回	附属明細表と注記	鈴木　秀俊 工藤　英一
第16回	財務諸表分析①	鈴木　秀俊 工藤　英一
第17回	財務諸表分析②	鈴木　秀俊 工藤　英一
第18回	財務諸表分析③	鈴木　秀俊 工藤　英一
第19回	総合問題演習①	鈴木　秀俊 工藤　英一
第20回	総合問題演習②	鈴木　秀俊 工藤　英一

準備学習等	予習の必要はない。計画的に復習を行うこと。
教科書 参考書等	ビジネス会計検定試験公式テキスト1級　（中央経済社）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 ビジネス会計Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	1学年

科目名	プログラミング基礎Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	プログラミング言語の言語仕様を理解し、簡単なプログラムを作成することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	プログラミング言語の概要	鈴木裕治 河野賢一
第2回	プログラミング言語の仕様① データ型・配列	鈴木裕治 河野賢一
第3回	プログラミング言語の仕様② 制御構造	鈴木裕治 河野賢一
第4回	オブジェクト指向① クラス・オブジェクト	鈴木裕治 河野賢一
第5回	オブジェクト指向② オーバーロード・オーバーライド	鈴木裕治 河野賢一
第6回	オブジェクト指向③ アクセス制御・変数のスコープ	鈴木裕治 河野賢一

第7回	プログラミング演習①	鈴木裕治 河野賢一
第8回	プログラミング演習②	鈴木裕治 河野賢一
第9回	プログラミング演習③	鈴木裕治 河野賢一
第10回	プログラミング演習④	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	
教科書 参考書等	補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	1学年

科目名	プログラミング応用Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	プログラミング言語を使用してアプリケーション開発を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ライブラリ	鈴木裕治 河野賢一
第2回	ライブラリ演習	鈴木裕治 河野賢一
第3回	例外処理	鈴木裕治 河野賢一
第4回	例外処理演習	鈴木裕治 河野賢一

第5回	入出力処理 ストリーム	鈴木裕治 河野賢一
第6回	入出力処理演習① ストリーム	鈴木裕治 河野賢一
第7回	入出力処理 テキストファイルからの入出力	鈴木裕治 河野賢一
第8回	入出力処理演習② テキストファイルからの入出力	鈴木裕治 河野賢一
第9回	入出力処理 キーボードからの入力	鈴木裕治 河野賢一
第10回	入出力処理③ キーボードからの入力	鈴木裕治 河野賢一
第11回	入出力処理 コマンドラインからの入力	鈴木裕治 河野賢一
第12回	入出力処理④ コマンドラインからの入力	鈴木裕治 河野賢一
第13回	マルチスレッド	鈴木裕治 河野賢一
第14回	マルチスレッド演習	鈴木裕治 河野賢一

第15回	GUI コンポーネント	鈴木裕治 河野賢一
第16回	GUI イベント処理	鈴木裕治 河野賢一
第17回	GUI演習	鈴木裕治 河野賢一
第18回	データベース接続 データベースプログラム	鈴木裕治 河野賢一
第19回	データベース接続演習 データベースプログラム	鈴木裕治 河野賢一
第20回	アプリケーション開発	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	
教科書 参考書等	補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	1学年

科目名	アプリケーション開発基礎Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	実用的なCUI（Character User Interface）アプリケーション開発を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	例外処理とマルチスレッド	鈴木裕治 河野賢一
第2回	コレクションフレームワーク	鈴木裕治 河野賢一
第3回	入出力（I/O）	鈴木裕治 河野賢一
第4回	ネットワーク	鈴木裕治 河野賢一
第5回	データベース	鈴木裕治 河野賢一

第6回	CUIアプリ開発実習①	鈴木裕治 河野賢一
第7回	CUIアプリ開発実習②	鈴木裕治 河野賢一
第8回	CUIアプリ開発実習③	鈴木裕治 河野賢一
第9回	CUIアプリ開発実習④	鈴木裕治 河野賢一
第10回	CUIアプリ開発実習⑤	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	基本的なプログラミングを行えること。 開発フローおよび開発管理技法を理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	1学年

科目名	アプリケーション開発応用Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち 実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	実用的なGUI（Graphical User Interface）アプリケーション開発を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	GUIライブラリ	鈴木裕治 河野賢一
第2回	代表的なコンポーネントと レイアウト	鈴木裕治 河野賢一
第3回	イベント処理	鈴木裕治 河野賢一
第4回	その他のコンポーネントと レイアウト①	鈴木裕治 河野賢一
第5回	その他のコンポーネントと レイアウト②	鈴木裕治 河野賢一

第6回	その他のコンポーネントと レイアウト③	鈴木裕治 河野賢一
第7回	描画処理	鈴木裕治 河野賢一
第8回	マウスイベント処理	鈴木裕治 河野賢一
第9回	データベースの利用①	鈴木裕治 河野賢一
第10回	データベースの利用②	鈴木裕治 河野賢一
第11回	データベースの利用③	鈴木裕治 河野賢一
第12回	ネットワークの利用①	鈴木裕治 河野賢一
第13回	ネットワークの利用②	鈴木裕治 河野賢一
第14回	ネットワークの利用③	鈴木裕治 河野賢一
第15回	GUIアプリ開発実習①	鈴木裕治 河野賢一
第16回	GUIアプリ開発実習②	鈴木裕治 河野賢一
第17回	GUIアプリ開発実習③	鈴木裕治 河野賢一
第18回	GUIアプリ開発実習④	鈴木裕治 河野賢一

第19回	GUIアプリ開発実習⑤	鈴木裕治 河野賢一
第20回	GUIアプリ開発実習⑥	鈴木裕治 河野賢一
準備学習等	基本的なプログラミングを行えること。 開発フローおよび開発管理技法を理解していること。	
教科書 参考書等		
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。	

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程） OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程） 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	コンピュータリテラシ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	コンピュータの基本操作	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第2回	文書作成基礎①	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第3回	文書作成基礎②	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

第4回	文書作成基礎③	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第5回	表計算基礎①	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第6回	表計算基礎②	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第7回	表計算基礎③	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第8回	プレゼンテーション基礎①	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第9回	プレゼンテーション基礎②	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第10回	情報セキュリティと情報倫理	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

準備学習等	
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程） OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程） 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	コンピュータリテラシ（表計算）	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	表計算ソフトウェアの基礎的な知識・技術を習得し、データ処理を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	作業環境 基礎知識・ブックの表示	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第2回	環境の設定と変更	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第3回	基本操作 セルの書式設定・レイアウト	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第4回	数式と計算 計算機能・関数	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

第5回	グラフ グラフ作成/変更	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第6回	オブジェクト 作成・書式	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第7回	データベース機能 入力規則・ピボットテーブル	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第8回	入出力 ページレイアウト・印刷	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第9回	リンク マクロ	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第10回	共有と保護 ワークシート・ワークブックの保護	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

準備学習等	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。
教科書 参考書等	よくわかるマスター　MicrosoftExcel（FOM出版） Excel表計算処理技能認定試験　問題集（サーティファイ）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程） OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程） 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	コンピュータリテラシ（文書処理）	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	文書処理ソフトウェアの基礎的な知識・技術を習得し、データ処理を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	作業環境 基礎知識・表示とウィンドウ	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第2回	環境の設定と変更	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第3回	書式の設定と変更 文字書式・拡張書式・段落書式	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第4回	書式の設定と変更 段組み・スタイル	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

第5回	ファイル デザイン・レイアウト・印刷	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第6回	文書編集 改ページ・ヘッダーとフッター	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第7回	罫線と表 表・デザイン・レイアウト	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第8回	オブジェクト 挿入・書式・配置/整列	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第9回	Excelのワークシート	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第10回	セキュリティ	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

準備学習等	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。
教科書 参考書等	よくわかるマスター　MicrosoftWord（FOM出版） Word文書処理技能認定試験　問題集（サーティファイ）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程） OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程） 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	コンピュータリテラシ（プレゼンテーション）	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 ： 70 % 平常点 ： 30 % ： % ： % ： %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	プレゼンテーションソフトの基礎的な知識・技術を習得し、データ処理を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	作業環境 基礎知識・基本操作	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第2回	環境の設定と変更	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第3回	書式設定 フォント・段落・タブ	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第4回	スライド① デザイン・マスター	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

第5回	スライド② スライドショー・アニメーション	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第6回	ファイル 共有・エクスポート・印刷	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第7回	編集 テキスト、オブジェクトの編集	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第8回	罫線と表 作成・編集・レイアウト	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第9回	オブジェクト 図形の書式・メディア	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第10回	校閲	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

準備学習等	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。
教科書 参考書等	よくわかるマスター　MicrosoftPowerPoint（FOM出版） PowerPointプレゼンテーション技能認定試験　問題集（サーティファイ）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程） OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程） 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	コンピュータリテラシ（データベース）	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	データベースソフトウェアの基礎的な知識・技術を習得し、データ処理を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	概要作業環境 基礎知識・環境の設定と変更	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第2回	データベース データベースの知識・作成・操作	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第3回	テーブル 作成・操作・ビュー・フィールド	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

第4回	データ 検索・フィルター・データシート	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第5回	クエリ 作成・操作・プロパティ	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第6回	リレーションシップ 作成・詳細	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第7回	フォーム ビュー・デザイン・応用	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第8回	レポート ビュー・デザイン・応用	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第9回	フォームとレポートのセクション コントロール	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第10回	マクロ・式 作成・演算子・関数	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

準備学習等	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。
教科書 参考書等	よくわかるマスター　MicrosoftAccess（FOM出版） Accessビジネスデータベース技能認定試験　問題集（サーティファイ）

備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	システム開発基礎Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	鈴木裕治	成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	要求項目の洗い出し、分析、システム化ニーズの整理、前提条件や制約条件の整理、解決策の検討、実現可能性の分析、新しい業務モデルと業務フローの提案という基本的な手順の説明を行う。		
実務経験教員の実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)		
授業目的 到達目標	Webシステム開発におけるフロントエンド開発を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	フロントエンド開発について 開発環境構築	鈴木裕治 河野賢一
第2回	HTML①	鈴木裕治 河野賢一
第3回	HTML②	鈴木裕治 河野賢一
第4回	HTML③	鈴木裕治 河野賢一
第5回	CSS①	鈴木裕治 河野賢一

第6回	CSS②	鈴木裕治 河野賢一
第7回	CSS③	鈴木裕治 河野賢一
第8回	CSSフレームワーク①	鈴木裕治 河野賢一
第9回	CSSフレームワーク②	鈴木裕治 河野賢一
第10回	CSSフレームワーク③	鈴木裕治 河野賢一
第11回	JavaScript①	鈴木裕治 河野賢一
第12回	JavaScript②	鈴木裕治 河野賢一
第13回	JavaScript③	鈴木裕治 河野賢一
第14回	jQuery①	鈴木裕治 河野賢一
第15回	jQuery②	鈴木裕治 河野賢一
第16回	jQuery③	鈴木裕治 河野賢一
第17回	Webページ制作実習①	鈴木裕治 河野賢一
第18回	Webページ制作実習②	鈴木裕治 河野賢一

第19回	Webページ制作実習③	鈴木裕治 河野賢一
第20回	Webページ制作実習④	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	基本的なプログラミングを行えること。 開発フローおよび開発管理技法を理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

072.システム開発応用Ⅰ

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	1学年

科目名	システム開発応用Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	鈴木裕治	成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	要求項目の洗い出し、分析、システム化ニーズの整理、前提条件や制約条件の整理、解決策の検討、実現可能性の分析、新しい業務モデルと業務フローの提案という基本的な手順の説明を行う。		
実務経験教員の実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)		
授業目的 到達目標	Webシステム開発におけるバックエンド開発を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	バックエンド開発について 開発環境構築	鈴木裕治 河野賢一
第2回	HTMLとCSSの復習①	鈴木裕治 河野賢一
第3回	HTMLとCSSの復習②	鈴木裕治 河野賢一
第4回	php①	鈴木裕治 河野賢一
第5回	php②	鈴木裕治 河野賢一

第6回	php③	鈴木裕治 河野賢一
第7回	php④	鈴木裕治 河野賢一
第8回	php⑤	鈴木裕治 河野賢一
第9回	php⑥	鈴木裕治 河野賢一
第10回	php⑦	鈴木裕治 河野賢一
第11回	データベース①	鈴木裕治 河野賢一
第12回	データベース②	鈴木裕治 河野賢一
第13回	データベース③	鈴木裕治 河野賢一
第14回	セキュリティ対策	鈴木裕治 河野賢一
第15回	Webシステム開発実習①	鈴木裕治 河野賢一
第16回	Webシステム開発実習②	鈴木裕治 河野賢一
第17回	Webシステム開発実習③	鈴木裕治 河野賢一

第18回	Webシステム開発実習④	鈴木裕治 河野賢一
第19回	Webシステム開発実習⑤	鈴木裕治 河野賢一
第20回	Webシステム開発実習⑥	鈴木裕治 河野賢一
準備学習等	基本的なプログラミングを行えること。 開発フローおよび開発管理技法を理解していること。	
教科書 参考書等		
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。	

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	1学年

科目名	情報処理テクノロジ基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なテクノロジ分野に関する基本的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	基礎理論	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	アルゴリズムとプログラミング	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	コンピュータ構成要素	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	システム構成要素	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	ソフトウェア	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	ハードウェア	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	ヒューマンインターフェース マルチメディア	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	データベース	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	ネットワーク	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	セキュリティ	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	1学年

科目名	情報処理マネジメント基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	高度IT人材となるために必要なマネジメント分野に関する基本的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	システム開発技術	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	システム開発管理技術	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	開発プロセス	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	開発手法	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	プロジェクトマネジメント	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	サービスマネジメント	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	サービスサポート	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	ファシリティマネジメント	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	システム監査	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	内部統制	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

075.情報処理ストラテジ基礎

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	1学年

科目名	情報処理ストラテジ基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なストラテジ分野に関する基本的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	企業活動①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	企業活動②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	OR・IE	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	法務①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	法務②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	経営戦略マネジメント	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	ビジネスインダストリ	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	システム戦略①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	システム戦略②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	システム企画	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	1学年

科目名	情報処理基礎演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能に関する問いに対して正確に解答することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	項目別問題演習① テクノロジ分野	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	項目別問題演習② マネジメント分野	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	項目別問題演習③ ストラテジ分野	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	総合問題演習①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	総合問題演習②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	総合問題演習③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	総合問題演習④	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	総合問題演習⑤	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	総合問題演習⑥	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	総合問題演習⑦	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	情報処理テクノロジ応用Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち 実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なテクノロジ分野に関する応用的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	基礎理論	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	アルゴリズムとプログラミング	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	コンピュータ構成要素	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	システム構成要素	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	ソフトウェア	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	ハードウェア	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	ヒューマンインターフェース マルチメディア	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	データベース	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	ネットワーク	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	セキュリティ	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集 応用情報技術者　合格教本（技術評論社）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	情報処理マネジメント応用Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち 実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なマネジメント分野に関する応用的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	システム開発技術	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	システム開発管理技術	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	開発プロセス	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	開発手法	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	プロジェクトマネジメント	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	サービスマネジメント	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	サービスサポート	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	ファシリティマネジメント	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	システム監査	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	内部統制	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集 応用情報技術者　合格教本（技術評論社）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	情報処理ストラテジ応用Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち 実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なストラテジ分野に関する応用的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	企業活動①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	企業活動②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	OR・IE	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	法務①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	法務②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	経営戦略マネジメント	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	ビジネスインダストリ	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	システム戦略①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	システム戦略②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	システム企画	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集 応用情報技術者　合格教本（技術評論社）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（2年課程）・OA事務学科（1年課程）・ OA事務学科（2年課程）・ビジネス学科（2年課程）・ 情報システム学科（3年課程）・情報システム学科（2年課程）・ 情報システム学科（1年課程）・総合公務員学科（2年課程）
学年	1学年・2学年

科目名	情報処理応用演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要な応用的知識・技能に関する問いに対して正確に解答することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	項目別問題演習① テクノロジ分野	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	項目別問題演習② マネジメント分野	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	項目別問題演習③ ストラテジ分野	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第4回	総合問題演習①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第5回	総合問題演習②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	総合問題演習③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	総合問題演習④	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	総合問題演習⑤	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	総合問題演習⑥	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	総合問題演習⑦	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集 応用情報技術者　合格教本（技術評論社）

備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	アルゴリズム基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち 実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	アルゴリズムとデータ構造に関する基礎知識を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	アルゴリズムの表現方法 フローチャート・疑似言語	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	データ構造① 基本データ型	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	データ構造② 配列	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	データ構造③ リスト構造	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	データ構造④ 木構造	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	データ構造⑤ その他のデータ構造	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	アルゴリズム① サーチアルゴリズム	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	アルゴリズム② ソートアルゴリズム	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	アルゴリズム③ 文字列処理	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	アルゴリズム④ 代表的なアルゴリズム	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集 補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	アルゴリズム応用	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	アルゴリズムとデータ構造についての知識を有し、フローのトレースを行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	アルゴリズムとデータ構造① 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	アルゴリズムとデータ構造② 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	アルゴリズムとデータ構造③ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	アルゴリズムとデータ構造④ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	アルゴリズムとデータ構造⑤ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	アルゴリズムとデータ構造⑥ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	アルゴリズムとデータ構造⑦ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	アルゴリズムとデータ構造⑧ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	アルゴリズムとデータ構造⑨ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	アルゴリズムとデータ構造⑩ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集 補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

083.情報セキュリティ基礎

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	情報セキュリティ基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち 実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	情報セキュリティに関する基礎知識を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	情報セキュリティ① 情報セキュリティの概念	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	情報セキュリティ② 脅威・脆弱性	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	情報セキュリティ③ 攻撃手法・認証	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	情報セキュリティ管理① セキュリティポリシ・ISMS	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	情報セキュリティ管理② リスクアセスメント	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	情報セキュリティ技術評価 セキュリティ評価基準	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	情報セキュリティ対策① 人的セキュリティ対策	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	情報セキュリティ対策② 技術的セキュリティ対策	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	セキュリティ実装技術① ネットワークセキュリティ	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	セキュリティ実装技術② アプリケーションセキュリティ	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集 補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	1学年

科目名	情報セキュリティ応用	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち 実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 ： 70 % 平常点 ： 30 % ： % ： % ： %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	情報セキュリティに関する知識・技能を有し、実践的なセキュリティ管理ができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	情報セキュリティ全般① 機密性・完全性・可用性	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	情報セキュリティ全般② 脅威・脆弱性・サイバー攻撃	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	情報セキュリティ全般③ 暗号技術・認証技術	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	情報セキュリティ管理① 情報資産・リスク	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	情報セキュリティ管理② ISMS・インシデント管理	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	情報セキュリティ対策① マルウェア対策	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	情報セキュリティ対策② 不正アクセス対策	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	情報セキュリティ対策③ 情報漏えい対策	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	情報セキュリティ対策④ アクセス管理	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	情報セキュリティ関連法規	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集 補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	ネットワーク基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち 実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	通信技術・ネットワークに関する基礎知識を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ネットワーク方式① ネットワークの種類と特徴	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	ネットワーク方式② インターネット技術	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	データ通信と制御① ネットワークアーキテクチャ	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	データ通信と制御② LAN間接続装置・伝送制御	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	通信プロトコル① プロトコルとインタフェース	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	通信プロトコル② プロトコル	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	通信プロトコル③ プロトコル	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	通信プロトコル④ プロトコル	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	通信プロトコル⑤ セキュアプロトコル	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	ネットワーク管理 構成管理・管理ツール	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集 補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	ネットワーク応用	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち 実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	通信技術・ネットワークに関する応用的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	インターネット① 電子メール	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	インターネット② Web	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	インターネット③ ファイル転送	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	VPN①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	VPN②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	通信サービス① FTTH	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	通信サービス② IP電話	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	モバイルシステム① モバイル通信サービス	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	モバイルシステム② 構成要素	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	モバイルシステム③ LPWA	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集 補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	システムアーキテクチャⅠ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	システムの処理形態・利用形態・適用領域を習得し応用できる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	集中処理システム	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	分散処理システム	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	システム構成	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	ハイパフォーマンスコンピューティング	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	クライアントサーバシステム	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	Webシステム	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	ストレージ	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	信頼性設計	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	システムの評価指標① システムの性能特性と評価	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	システムの評価指標② システムの信頼性特性と評価	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策　テキスト・問題集 補助プリント
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

088.情報処理入門テクノロジ

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	情報処理入門テクノロジ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	職業人が備えておきべき情報技術に関する基礎的なテクノロジ分野の知識を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	基礎理論	鈴木裕治 河野賢一
第2回	アルゴリズムとプログラミング	鈴木裕治 河野賢一
第3回	コンピュータ構成要素	鈴木裕治 河野賢一
第4回	システム構成要素	鈴木裕治 河野賢一

第5回	ソフトウェア	鈴木裕治 河野賢一
第6回	ハードウェア	鈴木裕治 河野賢一
第7回	ヒューマンインターフェース マルチメディア	鈴木裕治 河野賢一
第8回	データベース	鈴木裕治 河野賢一
第9回	ネットワーク	鈴木裕治 河野賢一
第10回	セキュリティ	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	
教科書 参考書等	よくわかるマスター　ITパスポート試験対策テキスト＆過去問題集（FOM出版）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

089.情報処理入門マネジメント

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	情報処理入門マネジメント	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	10回
科目教員のうち 実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	職業人が備えておきべき情報技術に関する基礎的なマネジメント分野の知識を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	システム開発技術	鈴木裕治 河野賢一
第2回	システム開発管理技術	鈴木裕治 河野賢一
第3回	開発プロセス	鈴木裕治 河野賢一
第4回	開発手法	鈴木裕治 河野賢一

第5回	プロジェクトマネジメント	鈴木裕治 河野賢一
第6回	サービスマネジメント	鈴木裕治 河野賢一
第7回	サービスサポート	鈴木裕治 河野賢一
第8回	ファシリティマネジメント	鈴木裕治 河野賢一
第9回	システム監査	鈴木裕治 河野賢一
第10回	内部統制	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	
教科書 参考書等	よくわかるマスター　ITパスポート試験対策テキスト＆過去問題集（FOM出版）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

090.情報処理入門ストラテジ

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	情報処理入門ストラテジ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	職業人が備えておきべき情報技術に関する基礎的なストラテジ分野の知識を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	企業活動①	鈴木裕治 河野賢一
第2回	企業活動②	鈴木裕治 河野賢一
第3回	OR・IE	鈴木裕治 河野賢一
第4回	法務①	鈴木裕治 河野賢一

第5回	法務②	鈴木裕治 河野賢一
第6回	経営戦略マネジメント	鈴木裕治 河野賢一
第7回	ビジネスインダストリ	鈴木裕治 河野賢一
第8回	システム戦略①	鈴木裕治 河野賢一
第9回	システム戦略②	鈴木裕治 河野賢一
第10回	システム企画	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	
教科書 参考書等	よくわかるマスター　ITパスポート試験対策テキスト＆過去問題集（FOM出版）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

091.情報処理入門演習

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（１年課程）・ OA事務学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）・ 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	情報処理入門演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	職業人が備えておきべき情報技術に関する基礎的な問いに対して、正確に解答することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	項目別問題演習① テクノロジ分野	鈴木裕治 河野賢一
第2回	項目別問題演習② マネジメント分野	鈴木裕治 河野賢一
第3回	項目別問題演習③ ストラテジ分野	鈴木裕治 河野賢一
第4回	総合問題演習①	鈴木裕治 河野賢一

第5回	総合問題演習②	鈴木裕治 河野賢一
第6回	総合問題演習③	鈴木裕治 河野賢一
第7回	総合問題演習（CBT）①	鈴木裕治 河野賢一
第8回	総合問題演習（CBT）②	鈴木裕治 河野賢一
第9回	総合問題演習（CBT）③	鈴木裕治 河野賢一
第10回	総合問題演習（CBT）④	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	
教科書 参考書等	よくわかるマスター　ITパスポート試験対策テキスト＆過去問題集（FOM出版）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

092.消費税法税務会計

学科	ＯＡ事務学科(１年課程)・ＯＡ事務学科(２年課程)・ ビジネス学科(２年課程)・経理事務学科(２年課程)・ 情報システム学科（１年課程）・情報システム学科(２年課程)・ 情報システム学科(３年課程)・税理士会計士学科(２年課程)・ 税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(４年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	消費税法税務会計	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	90時間
		単位数	3単位
		授業回数	23回
科目教員	小関　哲也	成績評価方法	筆記試験　：　40　%
			ミニテスト　：　40　%
			授業態度　：　20　%
科目教員のうち実務経験教員	小関　哲也		：　%
			：　%

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	実務において、消費税を計算することができる基礎知識を身につけさせる。 また、過去の全国経理教育協会主催消費税法能力検定試験の出題内容を実務に照らして解説することにより、実務に対応できる基礎知識を習得する授業を行う。
実務経験教員の実務経験内容	一般事業会社において、財務責任者として会計事務所と共同で、消費税に関する日々の会計処理を行うとともに、消費税を計算し確定申告書の作成及び各届出書の業務を行っていた。
授業目的 到達目標	消費税の仕組みを理解し、消費税の計算を基礎から学び、事業者(法人及び個人事業者)の消費税の計算ができることを目的とする。 また、全国経理教育協会主催消費税法能力検定試験１級に出題される計算問題を解答できるレベルを目指す。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 消費税法の概要	小関　哲也
第2回	課税の対象	小関　哲也
第3回	非課税項目	小関　哲也
第4回	輸出免税項目	小関　哲也
第5回	課税売上割合の計算及び控除対象仕入税額(個別対応方式・一括比例配分方式)	小関　哲也
第6回	売り上げに係る対価の返還等	小関　哲也

第7回	貸し倒れが生じた場合	小関　哲也
第8回	課税仕入れの範囲	小関　哲也
第9回	仕入に係る対価の返還等	小関　哲也
第10回	国境を越えた役務の提供	小関　哲也
第11回	中間申告に係る納付税額の計算	小関　哲也
第12回	課税仕入れ等の分類等 課税仕入れ等の時期	小関　哲也
第13回	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額の特例	小関　哲也
第14回	調整対象固定資産に係る仕入税額控除①	小関　哲也
第15回	調整対象固定資産に係る仕入税額控除②	小関　哲也
第16回	特定期間における課税売上高による納税義務の免除の特例	小関　哲也
第17回	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整	小関　哲也
第18回	課税標準	小関　哲也
第19回	簡易課税制度	小関　哲也
第20回	高額特定資産を取得した場合の納税義務の免除の特例	小関　哲也
第21回	資産の譲渡等の時期 居住用賃貸建物を課税賃貸用に供した場合の仕入れ税額控除の調整	小関　哲也
第22回	国等に対する特例	小関　哲也
第23回	総まとめ問題	小関　哲也

準備学習等	消費税法の学習は、積み重ねが重要であることから復習を十分に行い理解しておくとともに、計算問題集を活用して実際に消費税の計算の演習を行うことが重要。各回の内容の理解が不十分な場合には、教員に質問・相談を行い次回の授業に臨むこと。
教科書 参考書等	消費税法計算テキストⅠ・Ⅱ（大原学園）、消費税法計算問題集Ⅰ・Ⅱ（大原学園）、理論テキスト（大原学園）、消費税法規通達集（中央経済社）、総合計算問題集基礎編（大原出版）、全国経理教育協会主催消費税法能力検定

備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 消費税法税務会計は、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・ 税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	簿記論Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	4単位
		授業回数	30回
科目教員	竹村　幸生	成績評価方法	筆記試験 : 40 %
			ミニテスト : 40 %
			授業態度 : 20 %
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	日商簿記検定2級（商業簿記）程度の簿記知識をすでに習得していることを前提に、中小企業にて行われる各種取引の会計処理について細部まで解説することで、理解を深めてもらうことを目的としています。そして、日々の取引から決算整理に至るまで、主要簿及び補助簿等への記入や締め切り、帳簿を基礎として作成される各種試算表や精算表といった、主に企業内部で使用される帳票類を自ら作成できる能力と、税理士試験簿記論に合格できる基礎能力を身につけることを到達目標とします。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス、簿記の目的、簿記の仕組み	竹村　幸生
第2回	主要簿及び補助簿、決算振替	竹村　幸生
第3回	精算表、貸借対照表及び損益計算書	竹村　幸生
第4回	現金の範囲、現金過不足、当座預金（小切手）	竹村　幸生
第5回	債権債務、約束手形	竹村　幸生

第6回	三分法、商品有高帳、商品評価損等	竹村　幸生
第7回	固定資産の概要、減価償却、固定資産の売却等	竹村　幸生
第8回	資本的支出と収益的支出、無形固定資産	竹村　幸生
第9回	源泉所得税・社会保険料、賞与引当金	竹村　幸生
第10回	貸倒損失、貸倒引当金(実績率法、財務内容評価法)	竹村　幸生
第11回	損益の見越・繰延、退職給付（簡便法・退職一時金制度）	竹村　幸生
第12回	有価証券の概要、売買目的有価証券、関係会社株式	竹村　幸生
第13回	法人税等、租税公課、消費税等	竹村　幸生
第14回	手形の譲渡、社債の概要、償却原価法（定額法）	竹村　幸生
第15回	純資産の概要、資本金・資本準備金	竹村　幸生
第16回	当座預金の期末修正、当座借越	竹村　幸生
第17回	その他資本剰余金、利益準備金・繰越利益剰余金	竹村　幸生
第18回	自己株式の概要、自社利用目的のソフトウェア	竹村　幸生
第19回	税効果会計の概要、将来減算一時差異	竹村　幸生
第20回	売上原価計上法、分記法、総記法	竹村　幸生
第21回	償却原価法（利息法）、社債の買入償還	竹村　幸生
第22回	原価率・利益率、仕入・売上の計上基準	竹村　幸生
第23回	自己株式の処分・消却、満期保有目的の債券	竹村　幸生
第24回	その他有価証券、有価証券の減損処理	竹村　幸生
第25回	新株予約権、株主資本等変動計算書	竹村　幸生
第26回	固定資産の売却等（手数料、消費税、値引）	竹村　幸生

第27回	割引現在価値の算定	竹村　幸生
第28回	減損会計の概要、減損の兆候・認識の判定及び測定	竹村　幸生
第29回	退職給付（原則法・退職一時金制度と企業年金制度）	竹村　幸生
第30回	転換社債型新株予約権付社債（区分法）	竹村　幸生

準備学習等	会計処理の知識や帳簿記入の技術を身につけるためには、日々の復習を欠かさず地道な努力を継続することが何より求められます。項目によっては大変難易度の高い内容も含まれていますので、講義の中で全てが完結するものと考えず、講義後の復習（問題演習）を実施することでより理解が深まることを認識して下さい。なお、予習は不要です。
教科書 参考書等	簿記論計算テキスト1(大原学園)、計算問題集1-1、1-2(大原学園) 簿記論計算テキスト2(大原学園)、計算問題集2-1、2-2(大原学園) 簿記論個別計算問題集（大原出版）、簿記論総合計算問題集基礎編（大原出版）
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。簿記論Ⅰは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・ 税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	財務諸表論Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	4単位
科目教員	千葉　菜愛	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：40％ ミニテスト：40％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	企業の経済活動を表す損益計算書や貸借対照表などの財務諸表の作成に関する原理や原則を計算と理論に分けて学習します。計算では日々の取引を集計した残高試算表から、財務諸表を作成する能力を身につけ、理論では企業会計原則を理解し記述することができる力を身につけることを目的とします。また、税理士試験財務諸表論に合格できる能力の基礎を身につけることを到達目標とします。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	計算：ガイダンス 財務諸表論の概要、貸借対照表（株主資本除く）流動固定の分類基準、損益計算書	千葉　菜愛
第2回	計算：現金及び預金、債権及び債務	千葉　菜愛
第3回	計算：個別注記表（重要な会計方針）、B/S注記、損益の見越・繰延 理論：ガイダンス	千葉　菜愛
第4回	計算：銀行勘定調整表 理論：財務諸表論の基礎概念	千葉　菜愛

第5回	計算：棚卸資産（売上原価の算定） 理論：一般原則（真実性の原則）	千葉　菜愛
第6回	計算：有形固定資産、無形固定資産 理論：一般原則（正規の簿記の原則）	千葉　菜愛
第7回	計算：引当金（一般債権）、給料等 理論：一般原則（明瞭性の原則）	千葉　菜愛
第8回	計算：引当金（懸念、破産） 理論：一般原則（継続性の原則）	千葉　菜愛
第9回	計算：退職給付（簡便法） 理論：一般原則（資本利益区別の原則）	千葉　菜愛
第10回	計算：法人税等・追徴還付、株主資本 理論：一般原則（単一性の原則）	千葉　菜愛
第11回	計算：その他の引当金 理論：一般原則（保守主義の原則）	千葉　菜愛
第12回	計算：関係会社（議決権による判定） 理論：重要性の原則	千葉　菜愛
第13回	計算：有価証券（基本的評価等） 理論：P/Lの本質と構造、発生主義会計と現金主義会計	千葉　菜愛
第14回	計算：社債 理論：期間損益計算の基本原則及び収支額基準	千葉　菜愛
第15回	計算：外貨建取引（基本的換算） 理論：実現主義の原則、発生主義の原則	千葉　菜愛
第16回	計算：割引現在価値、資産除去債務 理論：費用収益対応の原則、一般販売の収益認識	千葉　菜愛
第17回	計算：当座借越 理論：特殊販売の収益認識	千葉　菜愛

第18回	計算：関係会社に対する債権債務 理論：工事契約（基本）、P/L表示原則、B/S表示原則	千葉　菜愛
第19回	計算：ソフトウェア、税金（外形基準、租税公課） 理論：財務諸表論の基礎概念（資本循環と財務諸表、会計観）	千葉　菜愛
第20回	計算：税効果会計 理論：貸借対照表の本質	千葉　菜愛
第21回	計算：源泉所得税、社会保険料、棚卸資産（返品、値引、割戻） 理論：資産総論（分類、評価）	千葉　菜愛
第22回	計算：株主資本等変動計算書 理論：棚卸資産（数量計算、評価方法）	千葉　菜愛
第23回	計算：減損会計 理論：固定資産の定義と分類、取得原価（自家建設）	千葉　菜愛
第24回	計算：棚卸資産（他勘定振替） 理論：固定資産の取得原価（現物出資、交換）	千葉　菜愛
第25回	計算：償却原価法（利息法） 理論：固定資産（減価償却、評価減）	千葉　菜愛
第26回	計算：為替予約（独立処理） 理論：固定資産（資本的支出、特殊な有形固定資産の費用化）	千葉　菜愛
第27回	計算：有価証券（その他有価証券） 理論：資本総論（実体資本維持）	千葉　菜愛
第28回	計算：圧縮記帳（直接）、消費税 理論：繰延資産（概念）、繰延資産（会計処理）	千葉　菜愛
第29回	計算：外貨建有価証券 理論：負債（引当金）、負債（偶発債務）、財務諸表論の基礎概念（会計観 資産・負債）	千葉　菜愛
第30回	計算：P/L注記（取締役に対する金銭債権債務）、有価証券（配当を受けた株主の処理） 理論：資産の評価（時価）、資産の評価（現価主義）	千葉　菜愛

準備学習等	財務諸表論については、計算と理論をバランスよく学習していきます。そのため、日々の復習と理論暗記を継続することが必要不可欠です。講義内で指示する問題演習を欠かさず実施することで、より理解が深まるものと解してください。なお、予習は不要です。
教科書 参考書等	財務諸表論計算テキスト1（大原学園）、計算問題集1-1、1-2（大原学園）、理論テキスト1（大原学園） 財務諸表論計算テキスト2（大原学園）、計算問題集2-1、2-2（大原学園）、理論テキスト2（大原学園） 財務諸表論個別計算問題集（大原出版）、財務諸表論総合計算問題集基礎編（大原出版）
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 財務諸表論Ⅰは、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・ 税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	簿記論演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	竹村　幸生	授業回数	12回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：30％ 演習問題：50％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	簿記論Ⅰで履修した簿記知識及び計算・記帳技術について、問題演習を通して反復練習・解説することで理解を深めてもらうことを目的としています。税理士試験簿記論受験のための基礎的な個別問題・総合問題を、設定された制限時間内に解答するための解法手順、図式化などができるようになることを到達目標とします。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス・第1回演習問題(現金預金、債権債務)	竹村　幸生
第2回	第2回演習問題(商品売買、固定資産)	竹村　幸生
第3回	第3回演習問題(貸倒引当金、退職給付会計※簡便法)	竹村　幸生
第4回	第4回演習問題(有価証券、税金)	竹村　幸生
第5回	第5回演習問題(社債、純資産)	竹村　幸生
第6回	第6回演習問題(ソフトウェア、税効果会計)	竹村　幸生
第7回	第7回演習問題(割引現在価値、減損会計)	竹村　幸生

第8回	第8回演習問題(転換社債型新株予約権付社債)	竹村　幸生
第9回	第9回演習問題(勘定復元①)	竹村　幸生
第10回	第10回演習問題(勘定復元②)	竹村　幸生
第11回	第11回演習問題(推定簿記①)	竹村　幸生
第12回	第12回演習問題(推定簿記②)	竹村　幸生

準備学習等	簿記論Ⅰで履修した内容の問題演習となりますので、事前に各項目の内容を復習したうえで講義に臨んでください。また、個別形式の問題と総合問題は異なる問題です。いずれかの形式に偏った復習にならないよう、バランスよく学習することを心がけてください。
教科書 参考書等	各回とも演習問題を配付します。 復習用教材として、簿記論Ⅰで使用している計算テキストを持参してください。
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 簿記論演習Ⅰは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科(２年課程)・ 税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(４年課程)・税理士会計士専攻学科(１年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	財務諸表論演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	千葉　菜愛	授業回数	12回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：30％ 演習問題：50％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	財務諸表論Ⅰで履修した計算及び理論の知識について、問題演習を通して反復練習・解説することで理解を深めてもらうことを目的としています。税理士試験財務諸表論受験のための基礎的な総合計算問題・理論の記述問題を、設定された制限時間内に解答するための解法手順、会計基準の適正な記述などができるようになることを到達目標とします。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 第1回演習問題（理論：一般原則）	千葉　菜愛
第2回	第2回演習問題（理論：会計観　貸借対照表の役割・損益計算書原則、一）	千葉　菜愛
第3回	第3回演習問題（理論：損益計算書原則、一A）	千葉　菜愛
第4回	第4回演習問題（理論：企業会計原則注解、注18引当金について）	千葉　菜愛
第5回	第5回演習問題（理論：資産の評価について）	千葉　菜愛
第6回	第6回演習問題（理論：貸借対照表原則、五）	千葉　菜愛

第7回	第7回演習問題（理論：企業会計原則注解、注15繰延資産）	千葉　菜愛
第8回	第8回演習問題（理論：会計観・概念フレームワークについて）	千葉　菜愛
第9回	第9回演習問題（理論：資産評価、減損会計）	千葉　菜愛
第10回	第10回演習問題 （理論：リース取引に関する会計基準・資産除去債務に関する会計基準）	千葉　菜愛
第11回	第11回演習問題（理論：リース債務、資産除去債務の共通点、相違点）	千葉　菜愛
第12回	第12回演習問題（理論：退職給付に係る会計基準・純資産会計）	千葉　菜愛

準備学習等	財務諸表論Ⅰで履修した内容の問題演習となりますので、事前に各項目の内容を復習したうえで講義に臨んでください。特に、理論については事前暗記が必須です。計算、理論のいずれかに偏った復習にならないよう、バランスよく学習することを心がけてください。
教科書 参考書等	各回とも演習問題を配付します。 復習用教材として、財務諸表論Ⅰで使用している計算テキスト及び理論テキストを持参してください。
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 財務諸表論演習Ⅰは、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	会計学上級	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	千葉　菜愛	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：50％ ミニテスト：30％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	会計専門職（税理士・公認会計士等）を目指すものとして高度な商業簿記・会計学を習得し、会計基準や財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、財務諸表作成ができることを目的とする。また、最終的には全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	財務諸表分析、一般原則	千葉　菜愛
第2回	損益計算書原則	千葉　菜愛
第3回	貸借対照表原則	千葉　菜愛
第4回	資産会計、負債会計	千葉　菜愛
第5回	純資産会計	千葉　菜愛
第6回	外貨建取引会計	千葉　菜愛

第7回	税効果会計	千葉　菜愛
第8回	企業結合会計	千葉　菜愛
第9回	連結会計	千葉　菜愛
第10回	キャッシュ・フロー会計	千葉　菜愛
第11回	会計上の変更と誤謬の訂正	千葉　菜愛
第12回	概念フレームワーク	千葉　菜愛
第13回	会社再編の会計①	千葉　菜愛
第14回	会社再編の会計②	千葉　菜愛
第15回	四半期連結財務諸表	千葉　菜愛

準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。
教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅠ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅡ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅱ　（学校法人　大原学園） 全経簿記上級　商業簿記・財務会計テキスト（中央経済社） 全経簿記能力検定試験標準問題集　上級商業簿記・財務会計（中央経済社） 簿記検定全経上級　直前対策講義　商業簿記・財務会計（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 財務会計上級は、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	原価計算上級	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	菊地　裕俊	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：50％ ミニテスト：30％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	会計専門職（税理士・公認会計士等）を目指すものとして高度な工業簿記・原価計算を習得し、経営管理や経営分析ができることを目的とする。また、最終的には全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	費目別計算、個別原価計算、部門別原価計算、責任会計	菊地　裕俊
第2回	部門別原価計算、個別原価計算	菊地　裕俊
第3回	総合原価計算	菊地　裕俊
第4回	標準原価計算	菊地　裕俊
第5回	直接原価計算、全部原価計算、CVP分析、原価分解	菊地　裕俊
第6回	事業部制	菊地　裕俊

第7回	意思決定の原価概念、業務的意思決定	菊地　裕俊
第8回	構造的意思決定	菊地　裕俊
第9回	戦略的原価計算	菊地　裕俊
第10回	工場独立会計	菊地　裕俊
第11回	直前対策講義　過去問題解説(第195回、第197回)	菊地　裕俊
第12回	直前対策講義　過去問題解説(第199回、第201回)	菊地　裕俊
第13回	直前対策講義　過去問題解説(第203回、第205回)	菊地　裕俊
第14回	直前対策講義　過去問題解説(第207回、第209回)	菊地　裕俊
第15回	直前対策講義　過去問題解説(第211回、第213回)	菊地　裕俊

準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。
教科書 参考書等	【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　解答集　（学校法人　大原学園） 全経簿記上級　原価計算・管理会計テキスト（中央経済社） 全経簿記能力検定試験標準問題集　上級原価計算・管理会計（中央経済社） 簿記検定全経上級　直前対策講義　原価計算・管理会計（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 管理会計上級は、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	財務会計上級	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	千葉　菜愛	授業回数	15回
		成績評価方法	筆記試験　：　50　％
			ミニテスト　：　30　％
			授業態度　：　20　％
科目教員のうち実務経験教員			：　％
			：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	会計専門職（税理士・公認会計士等）を目指すものとして高度な商業簿記・財務会計を習得し、会計基準や財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、財務諸表作成ができることを目的とする。また、最終的には全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	財務諸表分析、一般原則	千葉　菜愛
第2回	損益計算書原則	千葉　菜愛
第3回	貸借対照表原則	千葉　菜愛
第4回	資産会計、負債会計	千葉　菜愛
第5回	純資産会計	千葉　菜愛
第6回	外貨建取引会計	千葉　菜愛

第7回	税効果会計	千葉　菜愛
第8回	企業結合会計	千葉　菜愛
第9回	連結会計	千葉　菜愛
第10回	キャッシュ・フロー会計	千葉　菜愛
第11回	会計上の変更と誤謬の訂正	千葉　菜愛
第12回	概念フレームワーク	千葉　菜愛
第13回	会社再編の会計①	千葉　菜愛
第14回	会社再編の会計②	千葉　菜愛
第15回	四半期連結財務諸表	千葉　菜愛

準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。
教科書 参考書等	【商業簿記・会計学】 ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅠ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅰ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　テキストⅡ（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　問題集Ⅱ　（学校法人　大原学園） ALFA　1級商業簿記・会計学　解答集Ⅱ　（学校法人　大原学園） 全経簿記上級　商業簿記・財務会計テキスト（中央経済社） 全経簿記能力検定試験標準問題集　上級商業簿記・財務会計（中央経済社） 簿記検定全経上級　直前対策講義　商業簿記・財務会計（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 財務会計上級は、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）・税理士会計士学科（４年課程）・ 税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	管理会計上級	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	菊地　裕俊	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 50 % ミニテスト : 30 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	会計専門職（税理士・公認会計士等）を目指すものとして高度な原価計算・管理会計を習得し、経営管理や経営分析ができることを目的とする。また、最終的には全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	費目別計算、個別原価計算、部門別原価計算、責任会計	菊地　裕俊
第2回	部門別原価計算、個別原価計算	菊地　裕俊
第3回	総合原価計算	菊地　裕俊
第4回	標準原価計算	菊地　裕俊
第5回	直接原価計算、全部原価計算、CVP分析、原価分解	菊地　裕俊
第6回	事業部制	菊地　裕俊

第7回	意思決定の原価概念、業務的意思決定	菊地　裕俊
第8回	構造的意思決定	菊地　裕俊
第9回	戦略的原価計算	菊地　裕俊
第10回	工場独立会計	菊地　裕俊
第11回	直前対策講義　過去問題解説(第195回、第197回)	菊地　裕俊
第12回	直前対策講義　過去問題解説(第199回、第201回)	菊地　裕俊
第13回	直前対策講義　過去問題解説(第203回、第205回)	菊地　裕俊
第14回	直前対策講義　過去問題解説(第207回、第209回)	菊地　裕俊
第15回	直前対策講義　過去問題解説(第211回、第213回)	菊地　裕俊

準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。
教科書 参考書等	【工業簿記・原価計算】 ALFA　1級工業簿記・原価計算　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　1級工業簿記・原価計算　解答集　（学校法人　大原学園） 全経簿記上級　原価計算・管理会計テキスト（中央経済社） 全経簿記能力検定試験標準問題集　上級原価計算・管理会計（中央経済社） 簿記検定全経上級　直前対策講義　原価計算・管理会計（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 管理会計上級は、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	Excel表計算技能		授業形態	講義
			選必の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		有	授業時間数	30時間
			単位数	1単位
科目教員	菊地　裕美		授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員	菊地　裕美		成績評価方法	実技試験 : 50 % 知識試験 : 30 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	Microsoft Excelによる操作方法			
実務経験教員の実務経験内容	専門学校講師（外国人留学生含む）			
授業目的 到達目標	PCを用いて簡単なワークシートの作成とデータの入力ができるようにする。 また、タイピングソフトを使い入力速度の向上を図り、ブラインドタッチができるようにする。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンスキーボード入力方法、フォルダ管理	菊地　裕美
第2回	Excelの画面構成、コピー、移動方法の確認	菊地　裕美
第3回	基本練習1　Shift、Ctrlの使い方	菊地　裕美
第4回	基本練習2　オートフィル機能の使い方	菊地　裕美
第5回	基本練習3　行・列の挿入と削除、ウィンドウ枠の固定と解除	菊地　裕美
第6回	基本練習4　罫線の引き方	菊地　裕美
第7回	基本練習5　関数1　基本関数	菊地　裕美

第8回	基本練習6　関数2　ROUND系、RANK、IF、等	菊地　裕美
第9回	基本練習7　グラフ	菊地　裕美
第10回	基本練習8　並べ替えとフィルター	菊地　裕美

準備学習等	画面構成のプリントを準備し、「タブ」や「リボン」などの単語を覚えるのに役立つようにする。
教科書 参考書等	オリジナルテキストとデータを使用
備考	PCの環境を整え、スムーズに授業が行えるようにする。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 Excel表計算技能は、上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（１年課程）・ ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年

科目名	簿記速修	授業形態	講義
		選必の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	4単位
科目教員	菊地　裕俊	授業回数	40回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 授業態度：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	簿記の基本用語や複式簿記の仕組みを理解し、経理事務に活用できることを目的とし、日本商工会議所主催簿記検定試験3級に合格する能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 簿記概論	菊地　裕俊
第2回	基礎概念（資産、負債、純資産、収益、費用）	菊地　裕俊
第3回	取引の意義と種類、勘定の意義と分類	菊地　裕俊
第4回	仕訳帳と総勘定元帳、補助簿	菊地　裕俊
第5回	証ひょうと伝票	菊地　裕俊
第6回	期中取引の処理（現金預金）	菊地　裕俊
第7回	期中取引の処理（売掛金と買掛金）	菊地　裕俊

第8回	期中取引の処理（その他の債権）	菊地　裕俊
第9回	期中取引の処理（その他の債務）	菊地　裕俊
第10回	期中取引の処理（手形）	菊地　裕俊
第11回	期中取引の処理（商品）	菊地　裕俊
第12回	期中取引の処理（固定資産）	菊地　裕俊
第13回	期中取引の処理（純資産）	菊地　裕俊
第14回	期中取引の処理（収益と費用）	菊地　裕俊
第15回	期中取引の処理（税金）	菊地　裕俊
第16回	月次の集計（合計試算表）	菊地　裕俊
第17回	月次の集計（残高試算表）	菊地　裕俊
第18回	月次の集計（合計残高試算表）	菊地　裕俊
第19回	月次の集計（損益計算書）	菊地　裕俊
第20回	月次の集計（貸借対照表）	菊地　裕俊
第21回	問題実施、解説　項目別対策①（仕訳）	菊地　裕俊
第22回	問題実施、解説　項目別対策②（試算表の作成）	菊地　裕俊
第23回	問題実施、解説　項目別対策③（決算手続きにおける財務諸表等）	菊地　裕俊
第24回	問題実施、解説　項目別対策④（勘定記入）	菊地　裕俊
第25回	問題実施、解説　項目別対策⑤（伝票・証ひょう）	菊地　裕俊
第26回	問題実施、解説　項目別対策⑥（補助簿）	菊地　裕俊
第27回	問題実施、解説　項目別対策⑦（その他の計算）	菊地　裕俊

第28回	模擬試験問題実施・解説①	菊地　裕俊
第29回	模擬試験問題実施・解説②	菊地　裕俊
第30回	模擬試験問題実施・解説③	菊地　裕俊
第31回	模擬試験問題実施・解説④	菊地　裕俊
第32回	模擬試験問題実施・解説⑤	菊地　裕俊
第33回	模擬試験問題実施・解説⑥	菊地　裕俊
第34回	模擬試験問題実施・解説⑦	菊地　裕俊
第35回	模擬試験問題実施・解説⑧	菊地　裕俊
第36回	模擬試験問題実施・解説⑨	菊地　裕俊
第37回	問題実施、解説　直前模擬試験　第1回	菊地　裕俊
第38回	問題実施、解説　直前模擬試験　第2回	菊地　裕俊
第39回	問題実施、解説　直前模擬試験　第3回	菊地　裕俊
第40回	問題実施、解説　直前模擬試験　第4回	菊地　裕俊

準備学習等	日々の復習をしっかりと行い、不明な点は科目教員に質問し、次回の授業に備えること。
教科書 参考書等	ALFA　3級商業簿記　テキスト（学校法人　大原学園） ALFA　3級商業簿記　問題集　（学校法人　大原学園） ALFA　3級商業簿記　解答集　（学校法人　大原学園） ステップアップ問題集　日商簿記3級商業簿記（大原出版） 日商３級　過去問分析より徹底予想！　試験によく出る問題集（大原出版） ESSENTIAL　項目別答練問題集（学校法人　大原学園） ESSENTIAL　項目別答練解答集（学校法人　大原学園） 2025年度　日商簿記検定対策　直前模擬試験　第1回～第4回（学校法人　大原学園）
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 簿記速修は上記学科の選択科目であるため、各学科合同で授業を行う。

103.FP技能士３級

学科	ＯＡ事務学科(１年課程)・ＯＡ事務学科(２年課程)・ ビジネス学科(２年課程)・経理事務学科(２年課程)・ 情報システム学科(１年課程)・情報システム学科(２年課程)・ 情報システム学科(３年課程)・税理士会計士学科(２年課程)・ 税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(４年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	ＦＰ技能士３級		授業形態	講義
			選必の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	60時間
			単位数	2単位
科目教員	千葉　菜愛		授業回数	15回
		成績評価方法	筆記試験	: 40 %
			ミニテスト	: 40 %
			授業態度	: 20 %
科目教員のうち実務経験教員				: %
				: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容				
実務経験教員の実務経験内容				
授業目的 到達目標	ファイナンシャルプランナー（FP）はお金の専門家です。これからの時代、社会人となって必要不可欠となるのが今後の「人生設計」とそれに伴う「お金」の知識です。FP資格は年金・保険・税金といった生活を豊かにする知識の他、株式や預貯金などの金融資産、不動産、相続といったお金に関する幅広い分野を学習することができます。学習を通して基本的なライフプランニングができる知識の習得を目的とし、国家試験であるFP技能士3級検定試験の学科試験と実技試験の両方に合格することのできる能力を身につけることを到達目標とします。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス ライフプランニングと資金計画（FPとライフプランニング、教育・住宅取得資金計画、社会保険）	千葉　菜愛
第2回	ライフプランニングと資金計画（公的年金制度の概要、老後の生活資金設計と公的年金、公的年金における障害給付・遺族給付）	千葉　菜愛
第3回	ライフプランニングと資金計画（企業年金・自営業者のための年金、ライフプランニングの考え方）	千葉　菜愛
第4回	リスク管理（リスクマネジメント、保険制度全般、生命保険の概略、生命保険商品の種類と内容）	千葉　菜愛

第5回	リスク管理（損害保険の概略、損害保険商品の種類と内容、個人・法人の契約に関する税金、第三分野の保険・共済）	千葉　菜愛
第6回	金融資産運用（マーケット環境の理解、預貯金等、債券、株式）	千葉　菜愛
第7回	金融資産運用（投資信託、外貨建て商品、金融派生商品）	千葉　菜愛
第8回	金融資産運用（ポートフォリオ理論、金融商品と税金、セーフティネット、関連法規）	千葉　菜愛
第9回	タックスプランニング（税金の分類と計算体系、所得税の仕組み、各種所得の内容）	千葉　菜愛
第10回	タックスプランニング（課税標準に計算、所得控除、税額控除）	千葉　菜愛
第11回	タックスプランニング（確定申告、個人住民税と個人事業税）	千葉　菜愛
第12回	不動産（不動産の見方、不動産の取引、不動産に関する法令上の制限）	千葉　菜愛
第13回	不動産（不動産に係る税金、不動産の有効活用）	千葉　菜愛
第14回	相続・事業承継（相続と法律、贈与と法律、贈与と税金、相続と税金）	千葉　菜愛
第15回	相続・事業承継（財産の評価（不動産・金融資産）、相続対策）	千葉　菜愛

準備学習等	予習の必要はありません。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は教員に質問をして、次回の講義に備えてください。
教科書 参考書等	ファイナンシャル・プランナー3級 テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級　問題集（大原出版）
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 ＦＰ技能士３級は、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	ＯＡ事務学科(１年課程)・ＯＡ事務学科(２年課程)・ ビジネス学科(２年課程)・経理事務学科(２年課程)・ 情報システム学科(１年課程)・情報システム学科(２年課程)・ 情報システム学科(３年課程)・税理士会計士学科(２年課程)・ 税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(４年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	ＦＰ技能士３級演習	授業形態	演習
		選必の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	15時間
		単位数	1単位
科目教員	千葉　菜愛	授業回数	5回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 授業態度 : 30 % : % : % : %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	
実務経験教員の実務経験内容	
授業目的 到達目標	ファイナンシャルプランナーとして必要な年金、保険、金融資産、税金、不動産、相続などの知識を、過去試験問題や模擬問題を通して答案練習・解説することで、理解を深めてもらうことを目的としています。FP技能士3級受験のため学科及び実技問題を、本試験通りの時間設定の中で解答し、常に合格点数以上を取ることを達成目標とします。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 過去試験対策①	千葉　菜愛
第2回	過去試験対策②	千葉　菜愛
第3回	過去試験対策③	千葉　菜愛
第4回	模擬試験①	千葉　菜愛
第5回	模擬試験②	千葉　菜愛

準備学習等	反復の答案練習が必要となります。間違った問題の解き直しに全力を注いでください。 また、学科試験、実技試験をバランスよく学習することを心がけてください。

教科書 参考書等	ファイナンシャル・プランナー3級　学科・実技過去試験問題集　問題編（学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランナー3級　学科・実技過去試験問題集　解答編（学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定3級　学科模擬試験（学校法人　大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定3級　実技模擬試験（学校法人　大原学園） 復習用教材として、FP技能士3級で使用しているテキストを持参してください。
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 ＦＰ技能士３級演習は、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

105.コンピュータ会計

学科	ＯＡ事務学科(１年課程)・ＯＡ事務学科(２年課程)・ ビジネス学科(２年課程)・経理事務学科(２年課程)・ 情報システム学科(１年課程)・情報システム学科(２年課程)・ 情報システム学科(３年課程)・税理士会計士学科(２年課程)・ 税理士会計士学科(２年４ヵ月課程)・税理士会計士学科(３年課程)・ 税理士会計士学科(４年課程)
学年	１学年・２学年・３学年・４学年

科目名	コンピュータ会計	授業形態	演習
		選必の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	2単位
科目教員	竹村　幸生	授業回数	8回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 50 % 授業態度 : 50 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	簿記に関連した科目を履修したものが、その知識を実務でも活用できるよう会計ソフト(弥生会計)を使用し実習することで、簿記の知識(いわゆる受験簿記の知識)と会計ソフトを利用した場合の簿記とのつながり、相違点を理解してもらうことを目的としています。自ら会計ソフトを利用して基礎的な会計処理(入力・集計等)ができるようになること、コンピュータ会計能力検定2級を取得するための知識と技能を身につけることを到達目標とします。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス及び会計ソフトの操作	竹村　幸生
第2回	企業の基幹業務と会計処理	竹村　幸生
第3回	税金に関連する業務と会計処理	竹村　幸生
第4回	会計データ（証ひょうによる）の入力処理と集計	竹村　幸生
第5回	決算に関連する業務と会計処理	竹村　幸生
第6回	予算管理と経営分析指標	竹村　幸生

第7回	収益構造分析と短期利益計画	竹村　幸生
第8回	キャッシュ・フロー分析	竹村　幸生

準備学習等	パソコンを利用した会計処理の実習が中心となります。序盤は慣れない作業に苦労することになりますが、繰り返し実習を積むことでその技術(入力の速度・精度)は上達します。空き時間等を利用し、積極的にパソコン教室での練習を心がけてください。なお、予習は不要です。
教科書 参考書等	コンピュータ会計応用テキスト（実教出版） コンピュータ会計応用問題集（実教出版） コンピュータ会計能力検定試験　過去問題集（公益社団法人　全国経理教育協会）
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 コンピュータ会計は、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。

学科	情報システム学科（３年課程）
学年	２学年

科目名	社会人基礎知識Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	4単位
科目教員	久保田　佳子・鈴木　秀俊 中島　京哉・瀬尾　幸江 鈴木　裕治・河野　賢一	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	ミニテスト：40％ 筆記試験：40％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	就職活動や関連授業を通して、自己を向上させる能力を養う。多くの方々との関わりを学ぶことで、時代の変化に動じず、活躍し続ける人材を育成する。また、就職試験に出題される漢字の読み・書き等を身につけ、日本ビジネス技能検定協会主催漢字検定１級取得も目指す。さらに、時事を継続的に学ぶことで興味関心を持ち、理解を深め、就職試験にも対応できる力を養う。時事だけでなく、旬なテーマに対して情報収集し、考えや意見を持ち、プレゼンテーション能力も養う。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	就職概論 社会人基礎力とは　就職の心がまえ　就職試験の種類と形式	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第2回	就職活動の進め方 業界と職種　企業の研究	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第3回	自己理解を深める 自己を分析する（マインドマップ、ロジックツリー、長所・短所）	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第4回	自己理解を深める 自分史を作成する　無意識の行動や習慣の分析	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第5回	自己理解を深める 題材の選び方　文章作成のポイント　言葉を選ぶ　自己PR作成	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第6回	面接試験対策 面接の必要性　質問の種類とスタイル　面接試験の評価ポイント	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第7回	面接試験対策 具体的な話し方と注意点　面接当日までにすべきこと	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第8回	面接試験対策 身だしなみと立ち居振舞い　面接の流れを把握する（入退室）	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第9回	書類を作成・郵送する 郵便のマナー　封筒を作成する　送付状を作成する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第10回	書類を作成する お礼状を作成する　内定決定後の意識のもち方	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第11回	ビジネスコミュニケーション 学生と社会人の違い　コミュニケーションの種類と必要性	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第12回	ビジネスにおけるメール 形式と作成のポイント　宛先の注意点（To、Cc）　署名欄を使い分ける	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第13回	ビジネス文書 役割と種類　作成に必要な２つの技能	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第14回	ビジネス文書 社外文書　形式と作成のポイント	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第15回	ビジネス文書 社内文書　形式と作成のポイント	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第16回	電話応対 電話の特性　基本マナー	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第17回	電話応対 受け方　伝言メモを作成する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第18回	電話応対 かけ方　不在着信の折り返し方	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第19回	漢字 訓読み・送り仮名、熟語	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第20回	漢字 熟語、同音異義、異字同訓	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第21回	漢字 誤字訂正、類義語、反対語、ことわざ	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第22回	漢字 ことわざ、漢字の意味と使い方、慣用句、特殊な漢字の読み書き	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第23回	漢字 慣用句、特殊な漢字の読み書き	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第24回	漢字 総合問題　検定過去問題	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第25回	時事研究 テーマに対して情報収集をし意見をまとめ、PowerPointを作成し、発表（プレゼン）する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第26回	時事研究 テーマに対して情報収集をし意見をまとめ、PowerPointを作成し、発表（プレゼン）する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第27回	時事研究 テーマに対して情報収集をし意見をまとめ、PowerPointを作成し、発表（プレゼン）する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第28回	時事研究　グループ演習 テーマに対して情報収集をし意見をまとめる　PowerPoint作成し、発表（プレゼン）する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第29回	時事研究　グループ演習 テーマに対して情報収集をし意見をまとめる　PowerPoint作成し、発表（プレゼン）する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第30回	時事研究　グループ演習 テーマに対して情報収集をし意見をまとめる　PowerPoint作成し、発表（プレゼン）する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

準備学習等	将来について考え、日常生活を振り返りながら自己改善をはかる。世間の動向を把握しながら、さまざまな企業の情報収集を行い、目標達成に向け研究を重ねる。 基本的な漢字や時事用語を覚え、理解を深めることで、就職試験にいかすことができる。自宅での復習など、知識の定着をはかる。
教科書 参考書等	就職ガイドブック、ノートブック（大原出版） 漢字能力検定試験対策問題集１級　（日本ビジネス技能検定協会） 時事用語は日々プリントを配布いたします。
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性があります。

学科	情報システム学科（３年課程）
学年	２学年

科目名	社会人基礎知識 II	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	3単位
科目教員	久保田佳子・鈴木秀俊・中島京哉 瀬尾幸江・鈴木裕治・河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 40 % 課題・レポート提出 : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	就職活動や授業を通して自己を向上させる能力に気付かせ、実践力を養う。多様な人々と関わりながら学ぶことで、時代の変化に動じることなく、活躍し続けることができる柔軟性を持った人材を育成する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	就職概論 社会人基礎力とは　就職の心がまえ　就職試験の種類と形式	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第2回	就職活動の進め方 業界と職種　企業の研究	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第3回	就職活動の進め方 業界と職種　企業の研究	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第4回	自己理解を深める 自己を分析する（マインドマップ、ロジックツリー、長所・短所）	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第5回	自己理解を深める 自分史を作成する　無意識の行動や習慣の分析	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第6回	自己理解を深める 題材の選び方　文章作成のポイント　言葉を選ぶ	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第7回	自己理解を深める 自己PRを作成する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第8回	面接試験対策 面接の必要性　質問の種類とスタイル　面接試験の評価ポイント	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第9回	面接試験対策 具体的な話し方と注意点　面接当日までにすべきこと	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第10回	面接試験対策 身だしなみと立ち居振舞い　面接の流れを把握する（入室から退室まで）	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第11回	書類を作成・郵送する 郵便のマナー　封筒を作成する　送付状を作成する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第12回	書類を作成する お礼状を作成する　内定決定後の意識のもち方	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第13回	ビジネスコミュニケーション 学生と社会人の違い　コミュニケーションの種類と必要性	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第14回	ビジネスにおけるメール 形式と作成のポイント　宛先の注意点（To、Cc）　署名欄を使い分ける	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第15回	ビジネス文書 役割と種類　作成に必要な２つの技能	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第16回	社外文書 形式と作成のポイント	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第17回	社内文書 形式と作成のポイント	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第18回	電話応対 電話の特性　基本マナー	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第19回	電話応対 受け方　伝言メモを作成する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第20回	電話応対 かけ方　不在着信の折り返し方	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

準備学習等	将来について考え、日常生活を振り返りながら自己改善を図る。世間の動向を把握しながら、さまざまな企業の情報収集を行い、目標達成に向け研究を重ねる。
教科書 参考書等	就職ガイドブック（大原出版） 就職ノートブック
備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。受講生の習熟の度合や進捗度、検定試験の出題範囲改正等に伴い、授業内容を変更する場合がある。

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（３年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	社会人基礎知識III	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	3単位
科目教員	鈴木裕治・河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 40 % 課題・レポート提出 : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	一般社会常識及び仕事に必要な知識を学び、ビジネスの場で即戦力となる一般教養及び集計能力を高めるため、日本ビジネス技能検定協会主催漢字能力検定試験及び日本電卓技能検定協会主催各種段位級取得を到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）① 【集計処理能力】 電卓技能検定試験対策問題演習① 【社会常識】 時事問題演習①	鈴木裕治 河野賢一
第2回	【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）② 【集計処理能力】 電卓技能検定試験対策問題演習② 【社会常識】 時事問題演習②	鈴木裕治 河野賢一

第3回	【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）③ 【集計処理能力】 電卓技能検定試験対策問題演習③ 【社会常識】 時事問題演習③	鈴木裕治 河野賢一
第4回	【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）④ 【集計処理能力】 電卓技能検定試験対策問題演習④ 【社会常識】 時事問題演習④	鈴木裕治 河野賢一
第5回	【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）⑤ 【集計処理能力】 電卓技能検定試験対策問題演習⑤ 【社会常識】 時事問題演習⑥	鈴木裕治 河野賢一
第6回	【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）⑥ 【集計処理能力】 電卓技能検定試験対策問題演習⑥ 【社会常識】 時事問題演習⑥	鈴木裕治 河野賢一
第7回	【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）⑦ 【集計処理能力】 電卓技能検定試験対策問題演習⑦ 【社会常識】 時事問題演習⑦	鈴木裕治 河野賢一
第8回	【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）⑧ 【集計処理能力】 電卓技能検定試験対策問題演習⑧ 【社会常識】 時事問題演習⑧	鈴木裕治 河野賢一
第9回	【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）⑨ 【集計処理能力】 電卓技能検定試験対策問題演習⑨ 【社会常識】 時事問題演習⑨	鈴木裕治 河野賢一

第10回	【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）⑩ 【集計処理能力】 電卓技能検定試験対策問題演習⑩ 【社会常識】 時事問題演習⑩	鈴木裕治 河野賢一
第11回	【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）⑪ 【集計処理能力】 電卓技能検定試験対策問題演習⑪ 【社会常識】 時事問題演習⑪	鈴木裕治 河野賢一
第12回	【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）⑫ 【集計処理能力】 電卓技能検定試験対策問題演習⑫ 【社会常識】 時事問題演習⑫	鈴木裕治 河野賢一
第13回	【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）⑬ 【集計処理能力】 電卓技能検定試験対策問題演習⑬ 【社会常識】 時事問題演習⑬	鈴木裕治 河野賢一
第14回	【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）⑭ 【集計処理能力】 電卓技能検定試験対策問題演習⑭ 【社会常識】 時事問題演習⑭	鈴木裕治 河野賢一
第15回	【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）⑮ 【集計処理能力】 電卓技能検定試験対策問題演習⑮ 【社会常識】 時事問題演習⑮	鈴木裕治 河野賢一
第16回	【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）⑯ 【集計処理能力】 電卓技能検定試験対策問題演習⑯ 【社会常識】 時事問題演習⑯	鈴木裕治 河野賢一

第17回	【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）⑰ 【集計処理能力】 電卓技能検定試験対策問題演習⑰ 【社会常識】 時事問題演習⑰	鈴木裕治 河野賢一
第18回	【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）⑱ 【集計処理能力】 電卓技能検定試験対策問題演習⑱ 【社会常識】 時事問題演習⑲	鈴木裕治 河野賢一
第19回	【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）⑲ 【集計処理能力】 電卓技能検定試験対策問題演習⑲ 【社会常識】 時事問題演習⑲	鈴木裕治 河野賢一
第20回	【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）⑳ 【集計処理能力】 電卓技能検定試験対策問題演習⑳ 【社会常識】 時事問題演習⑳	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	予習と復習については適宜講義中に指示する。
教科書 参考書等	漢字能力検定試験対策問題集2級（学校法人　大原学園） 漢字能力検定試験対策直前模擬試験　第1回～第5回（学校法人　大原学園） 電卓技能検定試験　段位、1・2、3・4級問題（大原出版） ※受験級に応じて各自購入 電卓技能検定試験　段位、1・2、3・4級伝票算問題（大原出版） ※受験級に応じて各自購入
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（3年課程）
学年	２学年・３学年

科目名	企画立案Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	10回
		成績評価方法	課題提出 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	システム開発における上流工程の知識を応用し、各種システムやサービスの企画・立案を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	システム開発における上流工程	鈴木裕治 河野賢一
第2回	システムやサービスの企画	鈴木裕治 河野賢一
第3回	要件定義	鈴木裕治 河野賢一
第4回	基本設計	鈴木裕治 河野賢一
第5回	詳細設計	鈴木裕治 河野賢一
第6回	企画立案基礎実習①	鈴木裕治 河野賢一
第7回	企画立案基礎実習②	鈴木裕治 河野賢一
第8回	企画立案基礎実習③	鈴木裕治 河野賢一
第9回	プレゼンテーション準備	鈴木裕治 河野賢一
第10回	プレゼンテーション	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作スキルおよび基礎的なプログラミング能力を習得済みであること。また、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（3年課程）
学年	２学年・３学年

科目名	企画立案Ⅱ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	少人数編成のチームにおいて各種システムやサービスを企画・立案し、それらのプロトタイプ制作を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	システム開発	鈴木裕治 河野賢一
第2回	ソフトウェア開発	鈴木裕治 河野賢一
第3回	サービス開発	鈴木裕治 河野賢一
第4回	チームによる開発	鈴木裕治 河野賢一
第5回	企画立案応用実習①	鈴木裕治 河野賢一
第6回	企画立案応用実習②	鈴木裕治 河野賢一
第7回	企画立案応用実習③	鈴木裕治 河野賢一
第8回	企画立案応用実習④	鈴木裕治 河野賢一
第9回	プレゼンテーション準備	鈴木裕治 河野賢一
第10回	プレゼンテーション	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作スキルおよび基礎的なプログラミング能力を習得済みであること。また、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

111.社会人総合実習Ⅳ

学科	情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	２学年・３学年

科目名	社会人総合実習Ⅳ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	90時間
		単位数	4単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	鈴木裕治	成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	システム開発において、実務に沿った開発フローを行う。 要件定義においては必要機能要件だけでなく、非機能要件についても評価することでより実務に近い開発を行う。		
実務経験教員の実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)		
授業目的 到達目標	システム設計及びシステム開発に関する知識、技能を有し、 統合開発環境を用いたプログラミングからデバックまでを実践することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	システム開発演習① システムの設計と構築	鈴木裕治
第2回	システム開発演習② システムの設計と構築	鈴木裕治
第3回	システム開発演習③ システムの設計と構築	鈴木裕治
第4回	システム開発演習④ システムの設計と構築	鈴木裕治
第5回	システム開発演習⑤ システムの設計と構築	鈴木裕治
第6回	システム設計演習①	鈴木裕治 河野賢一
第7回	システム設計演習②	鈴木裕治 河野賢一
第8回	システム設計演習③	鈴木裕治 河野賢一
第9回	システム設計演習④	鈴木裕治 河野賢一
第10回	システム設計演習⑤	鈴木裕治 河野賢一

第11回	システム要件定義①	鈴木裕治 河野賢一
第12回	システム要件定義②	鈴木裕治 河野賢一
第13回	非機能要件①	鈴木裕治 河野賢一
第14回	非機能要件②	鈴木裕治 河野賢一
第15回	システム設計①	鈴木裕治 河野賢一
第16回	システム設計②	鈴木裕治 河野賢一
第17回	システム詳細設計①	鈴木裕治 河野賢一
第18回	システム詳細設計②	鈴木裕治 河野賢一
第19回	ソフトウェア設計①	鈴木裕治 河野賢一
第20回	ソフトウェア設計②	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作およびプログラミングの基礎を理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（３年課程）・情報システム学科（２年課程）
学年	２学年

科目名	ビジネスマナー	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木　裕治・河野　賢一・長澤　千春	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	長澤　千春	成績評価方法	確認テスト：60％ 実技試験：30％ レポート：10％ ：％ ：％

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	授業内容を行う上で、実務で対応できる丁寧な電話応対の指導や、状況に応じた臨機応変な対応力、感じの良い応対ができる実践力を指導する。
実務経験教員の実務経験内容	専門学校での教務事務を経験し、高校生対象のキャリア教育セミナーや社会人マナーの講義経験があり、サービス接遇検定1級を取得している。
授業目的 到達目標	ビジネスの場にふさわしい心構えを学び、適切な敬語の表現ができる。初期動作から伝言の受け取りまで、一連の電話応対をスムーズに行うことができる。状況に応じた電話応対ができる。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	職場のマナー	長澤　千春 鈴木　裕治 河野　賢一
第2回	職場のマナー	長澤　千春 鈴木　裕治 河野　賢一
第3回	電話応対のマナー	長澤　千春 鈴木　裕治 河野　賢一
第4回	あいさつと敬語	長澤　千春 鈴木　裕治 河野　賢一
第5回	あいさつと敬語	長澤　千春 鈴木　裕治 河野　賢一
第6回	電話応対のマナー	長澤　千春 鈴木　裕治 河野　賢一

第7回	電話応対のマナー	長澤　千春 鈴木　裕治 河野　賢一
第8回	電話応対の受け方	長澤　千春 鈴木　裕治 河野　賢一
第9回	電話応対の受け方	長澤　千春 鈴木　裕治 河野　賢一
第10回	電話応対のかけ方	長澤　千春 鈴木　裕治 河野　賢一
第11回	電話応対のかけ方	長澤　千春 鈴木　裕治 河野　賢一
第12回	状況別電話応対①	長澤　千春 鈴木　裕治 河野　賢一
第13回	状況別電話応対①	長澤　千春 鈴木　裕治 河野　賢一
第14回	状況別電話応対②	長澤　千春 鈴木　裕治 河野　賢一
第15回	状況別電話応対②	長澤　千春 鈴木　裕治 河野　賢一
第16回	状況別電話応対③	長澤　千春 鈴木　裕治 河野　賢一
第17回	状況別電話応対③	長澤　千春 鈴木　裕治 河野　賢一
第18回	電話応対ロールプレイング	長澤　千春 鈴木　裕治 河野　賢一
第19回	電話応対ロールプレイング	長澤　千春 鈴木　裕治 河野　賢一
第20回	電話応対ロールプレイング　実技確認テスト	長澤　千春 鈴木　裕治 河野　賢一
準備学習等	復習を行い、知識の定着を図ること。 学習したことは必ず実践し、繰り返して、習慣にする。	

教科書 参考書等	ＰＣＰビジネスマナー
備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性がある。 ビジネスの場に対応できる実践力が養われたかを測るため、各項目ごとに確認テスト等を実施し、総合的に評価する。 実務を意識した授業であるため、追試等を実施し、実務レベルに相当する力をつけさせる。

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（3年課程）
学年	２学年

科目名	プログラミング基礎Ⅱ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	Java言語の構文やデータ構造を学び、IDEによる基本的なプログラムの構築をすることができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	式と演算子	鈴木裕治 河野賢一
第2回	条件分岐と繰り返し	鈴木裕治 河野賢一
第3回	配列	鈴木裕治 河野賢一
第4回	メソッド	鈴木裕治 河野賢一
第5回	クラスとインスタンス	鈴木裕治 河野賢一
第6回	オブジェクト指向	鈴木裕治 河野賢一
第7回	継承	鈴木裕治 河野賢一
第8回	カプセル化	鈴木裕治 河野賢一
第9回	例外処理	鈴木裕治 河野賢一
第10回	ファイル操作	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作スキルを習得済みであること。また、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（3年課程）
学年	２学年

科目名	プログラミング応用II	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	Java言語によるアプリケーション開発ができ、単体テストやソースコード管理など開発作業に必要なツールを扱うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	インスタンスの基本操作	鈴木裕治 河野賢一
第2回	様々なクラス	鈴木裕治 河野賢一
第3回	関数	鈴木裕治 河野賢一
第4回	JVM制御	鈴木裕治 河野賢一
第5回	非標準ライブラリ	鈴木裕治 河野賢一
第6回	ファイル形式	鈴木裕治 河野賢一
第7回	ファイル操作	鈴木裕治 河野賢一
第8回	ネットワークアクセス	鈴木裕治 河野賢一
第9回	データベースアクセス	鈴木裕治 河野賢一
第10回	基本的な開発ツール	鈴木裕治 河野賢一

第11回	単体テスト	鈴木裕治 河野賢一
第12回	ソースコードの管理	鈴木裕治 河野賢一
第13回	Javaアプリケーション開発①	鈴木裕治 河野賢一
第14回	Javaアプリケーション開発②	鈴木裕治 河野賢一
第15回	Javaアプリケーション開発③	鈴木裕治 河野賢一
第16回	Javaアプリケーション開発④	鈴木裕治 河野賢一
第17回	Javaアプリケーション開発⑤	鈴木裕治 河野賢一
第18回	Javaアプリケーション開発⑥	鈴木裕治 河野賢一
第19回	Javaアプリケーション開発⑦	鈴木裕治 河野賢一
第20回	Javaアプリケーション開発⑧	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作スキルおよびJava言語の基礎を習得済みであること。また、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（3年課程）
学年	２学年

科目名	アプリケーション開発基礎Ⅱ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	HTML、CSSおよびJavaScriptの基礎を学び、WEBアプリケーションのフロントエンドの構築をすることができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	HTML①	鈴木裕治 河野賢一
第2回	HTML②	鈴木裕治 河野賢一
第3回	CSS①	鈴木裕治 河野賢一
第4回	CSS②	鈴木裕治 河野賢一
第5回	JavaScript①	鈴木裕治 河野賢一
第6回	JavaScript②	鈴木裕治 河野賢一
第7回	JSON	鈴木裕治 河野賢一
第8回	JQuery	鈴木裕治 河野賢一
第9回	Vue.js①	鈴木裕治 河野賢一
第10回	Vue.js②	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作スキルを習得済みであること。また、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（3年課程）
学年	２学年

科目名	アプリケーション開発応用Ⅱ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	JavaScriptのフレームワークを学び、WEBアプリケーションのバックエンドの構築をすることができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	Bootstrap①	鈴木裕治 河野賢一
第2回	Bootstrap②	鈴木裕治 河野賢一
第3回	DocumentObjectModel①	鈴木裕治 河野賢一
第4回	DocumentObjectModel②	鈴木裕治 河野賢一
第5回	Node.js①	鈴木裕治 河野賢一
第6回	Node.js②	鈴木裕治 河野賢一
第7回	外部データアクセス①	鈴木裕治 河野賢一
第8回	外部データアクセス②	鈴木裕治 河野賢一
第9回	Expressフレームワーク①	鈴木裕治 河野賢一
第10回	Expressフレームワーク②	鈴木裕治 河野賢一

第11回	データベース管理①	鈴木裕治 河野賢一
第12回	データベース管理②	鈴木裕治 河野賢一
第13回	WEBアプリケーション制作①	鈴木裕治 河野賢一
第14回	WEBアプリケーション制作②	鈴木裕治 河野賢一
第15回	WEBアプリケーション制作③	鈴木裕治 河野賢一
第16回	WEBアプリケーション制作④	鈴木裕治 河野賢一
第17回	WEBアプリケーション制作⑤	鈴木裕治 河野賢一
第18回	WEBアプリケーション制作⑥	鈴木裕治 河野賢一
第19回	WEBアプリケーション制作⑦	鈴木裕治 河野賢一
第20回	WEBアプリケーション制作⑧	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	JavaScriptの基礎を習得済みであること。また、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（3年課程）
学年	２学年

科目名	システム開発基礎Ⅱ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	Webシステムの基礎を学び、WEBアプリケーション開発の環境構築と基礎的なコンテンツの制作ができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	XAMPP環境構築①	鈴木裕治 河野賢一
第2回	XAMPP環境構築②	鈴木裕治 河野賢一
第3回	PHPの制御構造	鈴木裕治 河野賢一
第4回	PHPのオブジェクト指向	鈴木裕治 河野賢一
第5回	Webページ作成①	鈴木裕治 河野賢一
第6回	Webページ作成②	鈴木裕治 河野賢一
第7回	MySQLデータベース①	鈴木裕治 河野賢一
第8回	MySQLデータベース②	鈴木裕治 河野賢一
第9回	コンテンツ制作①	鈴木裕治 河野賢一
第10回	コンテンツ制作②	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作スキルを習得済みであること。また、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（3年課程）
学年	２学年

科目名	システム開発応用Ⅱ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	Webシステムの開発手法を学び、フロントエンドおよびバックエンドを使ったWEBアプリケーション開発ができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	PHPパッケージマネージャー①	鈴木裕治 河野賢一
第2回	PHPパッケージマネージャー②	鈴木裕治 河野賢一
第3回	PHPフレームワーク①	鈴木裕治 河野賢一
第4回	PHPフレームワーク②	鈴木裕治 河野賢一
第5回	例外処理①	鈴木裕治 河野賢一
第6回	例外処理②	鈴木裕治 河野賢一
第7回	認証と認可①	鈴木裕治 河野賢一
第8回	認証と認可②	鈴木裕治 河野賢一
第9回	セキュリティ①	鈴木裕治 河野賢一
第10回	セキュリティ②	鈴木裕治 河野賢一

第11回	セキュリティ③	鈴木裕治 河野賢一
第12回	セキュリティ④	鈴木裕治 河野賢一
第13回	データベース設計①	鈴木裕治 河野賢一
第14回	データベース設計②	鈴木裕治 河野賢一
第15回	テスト駆動開発①	鈴木裕治 河野賢一
第16回	テスト駆動開発②	鈴木裕治 河野賢一
第17回	WEBシステム開発①	鈴木裕治 河野賢一
第18回	WEBシステム開発②	鈴木裕治 河野賢一
第19回	WEBシステム開発③	鈴木裕治 河野賢一
第20回	WEBシステム開発④	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	PHPの基礎を習得済みであること。また、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（3年課程）
学年	２学年

科目名	AIプログラミング基礎Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	Python言語の構文やデータ構造を学び、IDEによる基本的なプログラムの構築をすることができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	Pythonの環境構築	鈴木裕治 河野賢一
第2回	変数とデータ型	鈴木裕治 河野賢一
第3回	リスト	鈴木裕治 河野賢一
第4回	ディクショナリ	鈴木裕治 河野賢一
第5回	タプル	鈴木裕治 河野賢一
第6回	条件分岐	鈴木裕治 河野賢一
第7回	繰り返し	鈴木裕治 河野賢一
第8回	関数	鈴木裕治 河野賢一
第9回	オブジェクト	鈴木裕治 河野賢一
第10回	モジュール	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作スキルを習得済みであること。また、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（3年課程）
学年	２学年

科目名	AIプログラミング応用Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	Python言語によるアプリケーション開発ができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	正規表現	鈴木裕治 河野賢一
第2回	ファイル操作	鈴木裕治 河野賢一
第3回	HTTP POST	鈴木裕治 河野賢一
第4回	標準ライブラリ	鈴木裕治 河野賢一
第5回	ユーザー定義関数	鈴木裕治 河野賢一
第6回	スコープ	鈴木裕治 河野賢一
第7回	関数呼び出しと戻り値	鈴木裕治 河野賢一
第8回	デコレータ	鈴木裕治 河野賢一
第9回	ジェネレータ	鈴木裕治 河野賢一
第10回	関数のモジュール化	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	Pythonの基礎を習得済みであること。また、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（3年課程）
学年	２学年

科目名	AIアプリケーション開発基礎Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	Python言語によるアプリケーション制作の基礎ができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	非同期処理	鈴木裕治 河野賢一
第2回	ドキュメンテーション	鈴木裕治 河野賢一
第3回	クラスの定義	鈴木裕治 河野賢一
第4回	カプセル化	鈴木裕治 河野賢一
第5回	継承	鈴木裕治 河野賢一
第6回	ポリモーフィズム	鈴木裕治 河野賢一
第7回	例外処理	鈴木裕治 河野賢一
第8回	特殊メソッド	鈴木裕治 河野賢一
第9回	データクラス	鈴木裕治 河野賢一
第10回	イテレータ	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	Pythonの基礎を習得済みであること。また、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（3年課程）
学年	２学年

科目名	AIアプリケーション開発応用Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	Python言語を理解し、他のツールと連携したアプリケーションの開発ができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	開発環境構築	鈴木裕治 河野賢一
第2回	pip	鈴木裕治 河野賢一
第3回	Pipenv	鈴木裕治 河野賢一
第4回	Flask	鈴木裕治 河野賢一
第5回	ビューの作成	鈴木裕治 河野賢一
第6回	テンプレートの作成	鈴木裕治 河野賢一
第7回	モデルの作成	鈴木裕治 河野賢一
第8回	ログインライブラリ	鈴木裕治 河野賢一
第9回	データベースとの接続	鈴木裕治 河野賢一
第10回	サーバーレスアプリケーション	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	Pythonの基礎を習得済みであること。また、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（3年課程）
学年	２学年

科目名	AIシステム開発基礎Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	Python言語による機械学習の基礎を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	AIと機械学習	鈴木裕治 河野賢一
第2回	基礎統計学	鈴木裕治 河野賢一
第3回	データ分析	鈴木裕治 河野賢一
第4回	pandas基礎	鈴木裕治 河野賢一
第5回	教師あり学習①	鈴木裕治 河野賢一
第6回	教師あり学習②	鈴木裕治 河野賢一
第7回	教師あり学習③	鈴木裕治 河野賢一
第8回	教師あり学習④	鈴木裕治 河野賢一
第9回	教師あり学習⑤	鈴木裕治 河野賢一
第10回	教師あり学習⑥	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	Pythonの基礎を習得済みであること。また、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（3年課程）
学年	２学年

科目名	AIシステム開発応用Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	Python言語による機械学習による分析を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	欠損値・外れ値	鈴木裕治 河野賢一
第2回	回帰	鈴木裕治 河野賢一
第3回	分類	鈴木裕治 河野賢一
第4回	予測性能評価	鈴木裕治 河野賢一
第5回	次元の削減	鈴木裕治 河野賢一
第6回	クラスタリング	鈴木裕治 河野賢一
第7回	教師無し学習①	鈴木裕治 河野賢一
第8回	教師無し学習②	鈴木裕治 河野賢一
第9回	教師無し学習③	鈴木裕治 河野賢一
第10回	教師無し学習④	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	Pythonの基礎を習得済みであること。また、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（3年課程）
学年	２学年

科目名	開発プロジェクト基礎Ⅰ	授業形態	実習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち 実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	学年末制作の上流工程を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	アイディア出し①	鈴木裕治 河野賢一
第2回	アイディア出し②	鈴木裕治 河野賢一
第3回	アイディア出し③	鈴木裕治 河野賢一
第4回	企画書作成①	鈴木裕治 河野賢一
第5回	企画書作成②	鈴木裕治 河野賢一
第6回	企画書作成③	鈴木裕治 河野賢一
第7回	要件定義①	鈴木裕治 河野賢一
第8回	要件定義②	鈴木裕治 河野賢一
第9回	要件定義③	鈴木裕治 河野賢一
第10回	概要設計①	鈴木裕治 河野賢一

第11回	概要設計②	鈴木裕治 河野賢一
第12回	概要設計③	鈴木裕治 河野賢一
第13回	詳細設計①	鈴木裕治 河野賢一
第14回	詳細設計②	鈴木裕治 河野賢一
第15回	詳細設計③	鈴木裕治 河野賢一
第16回	詳細設計④	鈴木裕治 河野賢一
第17回	詳細設計⑤	鈴木裕治 河野賢一
第18回	ガントチャート作成①	鈴木裕治 河野賢一
第19回	ガントチャート作成②	鈴木裕治 河野賢一
第20回	ガントチャート作成③	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	アプリケーション制作の知識を習得済みであること。また、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

126.開発プロジェクト基礎II

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（3年課程）
学年	２学年

科目名	開発プロジェクト基礎II	授業形態	実習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	学年末制作のプロトタイプ作成を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	プロトタイプ作成①	鈴木裕治 河野賢一
第2回	プロトタイプ作成②	鈴木裕治 河野賢一
第3回	プロトタイプ作成③	鈴木裕治 河野賢一
第4回	プロトタイプ作成④	鈴木裕治 河野賢一
第5回	プロトタイプ作成⑤	鈴木裕治 河野賢一
第6回	プロトタイプ作成⑥	鈴木裕治 河野賢一
第7回	プロトタイプ作成⑦	鈴木裕治 河野賢一
第8回	プロトタイプ作成⑧	鈴木裕治 河野賢一
第9回	プロトタイプ作成⑨	鈴木裕治 河野賢一
第10回	プロトタイプ作成⑩	鈴木裕治 河野賢一

第11回	完成版概要設計①	鈴木裕治 河野賢一
第12回	完成版概要設計②	鈴木裕治 河野賢一
第13回	完成版概要設計③	鈴木裕治 河野賢一
第14回	完成版詳細設計①	鈴木裕治 河野賢一
第15回	完成版詳細設計②	鈴木裕治 河野賢一
第16回	完成版詳細設計③	鈴木裕治 河野賢一
第17回	完成版詳細設計④	鈴木裕治 河野賢一
第18回	完成版スケジュール作成①	鈴木裕治 河野賢一
第19回	完成版スケジュール作成②	鈴木裕治 河野賢一
第20回	完成版スケジュール作成③	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	アプリケーション制作の知識を習得済みであること。また、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（3年課程）
学年	２学年

科目名	開発プロジェクト基礎III	授業形態	実習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	学年末制作のアプリケーション開発を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	アプリケーション開発①	鈴木裕治 河野賢一
第2回	アプリケーション開発②	鈴木裕治 河野賢一
第3回	アプリケーション開発③	鈴木裕治 河野賢一
第4回	アプリケーション開発④	鈴木裕治 河野賢一
第5回	アプリケーション開発⑤	鈴木裕治 河野賢一
第6回	アプリケーション開発⑥	鈴木裕治 河野賢一
第7回	アプリケーション開発⑦	鈴木裕治 河野賢一
第8回	アプリケーション開発⑧	鈴木裕治 河野賢一
第9回	アプリケーション開発⑨	鈴木裕治 河野賢一
第10回	アプリケーション開発⑩	鈴木裕治 河野賢一

第11回	アプリケーション開発⑪	鈴木裕治 河野賢一
第12回	アプリケーション開発⑫	鈴木裕治 河野賢一
第13回	アプリケーション開発⑬	鈴木裕治 河野賢一
第14回	アプリケーション開発⑭	鈴木裕治 河野賢一
第15回	アプリケーション開発⑮	鈴木裕治 河野賢一
第16回	アプリケーション開発⑯	鈴木裕治 河野賢一
第17回	アプリケーション開発⑰	鈴木裕治 河野賢一
第18回	アプリケーション開発⑱	鈴木裕治 河野賢一
第19回	アプリケーション開発⑲	鈴木裕治 河野賢一
第20回	アプリケーション開発⑳	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	アプリケーション制作の知識を習得済みであること。また、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（3年課程）
学年	２学年

科目名	システムアーキテクチャII	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	システム設計の流れを把握し、上流工程から開発に至るまでの設計の工程を理解する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	システム設計の目的	鈴木裕治 河野賢一
第2回	システム設計の工程	鈴木裕治 河野賢一
第3回	要求定義	鈴木裕治 河野賢一
第4回	データ設計	鈴木裕治 河野賢一
第5回	外部インターフェース設計	鈴木裕治 河野賢一
第6回	画面設計	鈴木裕治 河野賢一
第7回	帳票設計	鈴木裕治 河野賢一
第8回	バッチ処理	鈴木裕治 河野賢一
第9回	ユーザビリティ	鈴木裕治 河野賢一
第10回	アクセシビリティ	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科（1年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（3年課程）・OA事務学科（1年課程） OA事務学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	情報処理テクノロジ応用Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なテクノロジ分野に関する応用的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	基礎理論	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	アルゴリズムとプログラミング	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	コンピュータ構成要素	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	システム構成要素	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第5回	ソフトウェア	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	ハードウェア	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第7回	ヒューマンインターフェース マルチメディア	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	データベース	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	ネットワーク	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	セキュリティ	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	応用情報技術者　合格教本（技術評論社）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科（1年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（3年課程）・OA事務学科（1年課程） OA事務学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	情報処理マネジメント応用Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	高度IT人材となるために必要なマネジメント分野に関する応用的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	システム開発技術	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	システム開発管理技術	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	開発プロセス	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	開発手法	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第5回	プロジェクトマネジメント	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	サービスマネジメント	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第7回	サービスサポート	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	ファシリティマネジメント	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	システム監査	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	内部統制	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	応用情報技術者　合格教本（技術評論社）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

131.情報処理ストラテジ応用Ⅰ

学科	情報システム学科（1年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（3年課程）・OA事務学科（1年課程） OA事務学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	情報処理ストラテジ応用Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	高度IT人材となるために必要なストラテジ分野に関する応用的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	企業活動①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	企業活動②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	OR・IE	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	法務①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第5回	法務②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	経営戦略マネジメント	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第7回	ビジネスインダストリ	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	システム戦略①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	システム戦略②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	システム企画	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	応用情報技術者　合格教本（技術評論社）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

132.情報処理応用演習Ⅰ

学科	情報システム学科（1年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（3年課程）・OA事務学科（1年課程） OA事務学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	情報処理応用演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	高度IT人材となるために必要な応用的知識・技能に関する問いに対して正確に解答することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	項目別問題演習① テクノロジ分野	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	項目別問題演習② マネジメント分野	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	項目別問題演習③ ストラテジ分野	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	総合問題演習①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第5回	総合問題演習②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	総合問題演習③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第7回	総合問題演習④	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	総合問題演習⑤	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	総合問題演習⑥	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	総合問題演習⑦	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	応用情報技術者　合格教本（技術評論社）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（3年課程）
学年	２学年

科目名	情報処理テクノロジ応用Ⅱ	授業形態	講義	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間	
		単位数	1単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回	
		成績評価方法	筆記試験	： 70 %
			平常点	： 30 %
				： %
科目教員のうち実務経験教員				： %
				： %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容				
実務経験教員の実務経験内容				
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なテクノロジ分野に関する応用的知識・技能を有する。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ネットワークに関すること①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	ネットワークに関すること②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	データベースに関すること	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	組込みシステム開発に関すること	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第5回	情報システム開発に関すること①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	情報システム開発に関すること②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	プログラミングに関すること	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第8回	情報セキュリティに関すること①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	情報セキュリティに関すること②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	システム監査に関すること	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	応用情報技術者　合格教本（技術評論社）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（3年課程）
学年	２学年

科目名	情報処理マネジメント応用II	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	高度IT人材となるために必要なマネジメント分野に関する応用的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	システムアーキテクチャ①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	システムアーキテクチャ②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	システムアーキテクチャ③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	ITサービスマネジメント①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第5回	ITサービスマネジメント②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	ITサービスマネジメント③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	ITサービスマネジメント④	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第8回	プロジェクトマネジメント①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	プロジェクトマネジメント②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	プロジェクトマネジメント③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	応用情報技術者　合格教本（技術評論社）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

135.情報処理ストラテジ応用Ⅱ

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（3年課程）
学年	２学年

科目名	情報処理ストラテジ応用Ⅱ		授業形態	講義
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	30時間
			単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子		授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 ： 70 %	
			平常点 ： 30 %	
			： %	
			： %	
			： %	
実務経験教員の実務経験に関する授業内容				
実務経験教員の実務経験内容				
授業目的到達目標	高度IT人材となるために必要なストラテジ分野に関する応用的知識・技能を有する。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	経営戦略①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	経営戦略②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	経営戦略③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	情報戦略①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第5回	情報戦略②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	情報戦略③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	戦略立案①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第8回	戦略立案②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	コンサルティング技法①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	コンサルティング技法②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	応用情報技術者　合格教本（技術評論社）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（3年課程）
学年	２学年

科目名	情報処理応用演習 II		授業形態	演習
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数	30時間
			単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子		授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %	
			平常点 : 30 %	
			: %	
科目教員のうち実務経験教員			: %	
			: %	
実務経験教員の実務経験に関する授業内容				
実務経験教員の実務経験内容				
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要な応用的知識・技能を有する。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	項目別問題演習：テクノロジ分野	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	項目別問題演習：マネジメント分野	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	項目別問題演習：ストラテジ分野	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	総合問題演習①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第5回	総合問題演習②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	総合問題演習③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	総合問題演習④	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第8回	総合問題演習⑤	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	総合問題演習⑥	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	総合問題演習⑦	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	応用情報技術者　合格教本（技術評論社）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

137.情報セキュリティ管理Ⅰ

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（3年課程）
学年	２学年

科目名	情報セキュリティ管理Ⅰ	授業形態	講義	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間	
		単位数	1単位	
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回	
		成績評価方法	筆記試験	： 70 %
			平常点	： 30 %
				： %
科目教員のうち実務経験教員				： %
				： %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容				
実務経験教員の実務経験内容				
授業目的到達目標	最新のセキュリティに関する基礎的知識・技能を有する。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	テクノロジ系①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	テクノロジ系②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	テクノロジ系③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	テクノロジ系④	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第5回	マネジメント系①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	マネジメント系②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第7回	ストラテジ系①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	ストラテジ系②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	ストラテジ系③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	ストラテジ系④	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（3年課程）
学年	２学年

科目名	情報セキュリティインシデント管理Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	最新のセキュリティインシデントに関する基礎的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	データベース	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	ネットワーク①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	ネットワーク②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	セキュリティ①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第5回	セキュリティ②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	システム開発技術	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第7回	ソフトウェア開発管理技術	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	サービスマネジメント	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	システム開発技術	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	セキュリティインシデント	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科（２年課程）・情報システム学科（3年課程）
学年	２学年

科目名	情報セキュリティ演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	最新のセキュリティに関する基礎的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	情報セキュリティシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	情報セキュリティシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	情報セキュリティの運用に関すること①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	情報セキュリティの運用に関すること②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第5回	情報セキュリティ技術に関すること①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	情報セキュリティ技術に関すること②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第7回	開発の管理に関すること①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	開発の管理に関すること②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	情報セキュリティ関連の法的要求事項などに関すること①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	情報セキュリティ関連の法的要求事項などに関すること②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科（1年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（3年課程）・OA事務学科（1年課程） OA事務学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	コンピュータリテラシ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	コンピュータの基本操作	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第2回	文書作成基礎①	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第3回	文書作成基礎②	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第4回	文書作成基礎③	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第5回	表計算基礎①	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第6回	表計算基礎②	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

第7回	表計算基礎③	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第8回	プレゼンテーション基礎①	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第9回	プレゼンテーション基礎②	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第10回	情報セキュリティと情報倫理	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

準備学習等	
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（1年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（3年課程）・OA事務学科（1年課程） OA事務学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	コンピュータリテラシ（表計算）	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	表計算ソフトウェアの基礎的な知識・技術を習得し、データ処理を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	作業環境 基礎知識・ブックの表示	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第2回	環境の設定と変更	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第3回	基本操作 セルの書式設定・レイアウト	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第4回	数式と計算 計算機能・関数	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第5回	グラフ グラフ作成/変更	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第6回	オブジェクト 作成・書式	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

第7回	データベース機能 入力規則・ピボットテーブル	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第8回	入出力 ページレイアウト・印刷	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第9回	リンク マクロ	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第10回	共有と保護 ワークシート・ワークブックの保護	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

準備学習等	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。
教科書 参考書等	よくわかるマスター　MicrosoftExcel（FOM出版） Excel表計算処理技能認定試験　問題集（サーティファイ）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（1年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（3年課程）・OA事務学科（1年課程） OA事務学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	コンピュータリテラシ（文書処理）	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	文書処理ソフトウェアの基礎的な知識・技術を習得し、データ処理を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	作業環境 基礎知識・表示とウィンドウ	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第2回	環境の設定と変更	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第3回	書式の設定と変更 文字書式・拡張書式・段落書式	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第4回	書式の設定と変更 段組み・スタイル	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第5回	ファイル デザイン・レイアウト・印刷	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第6回	文書編集 改ページ・ヘッダーとフッター	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

第7回	罫線と表 表・デザイン・レイアウト	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第8回	オブジェクト 挿入・書式・配置/整列	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第9回	Excelのワークシート	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第10回	セキュリティ	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

準備学習等	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。
教科書 参考書等	よくわかるマスター　MicrosoftWord（FOM出版） Word文書処理技能認定試験　問題集（サーティファイ）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（1年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（3年課程）・OA事務学科（1年課程） OA事務学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	コンピュータリテラシ（プレゼンテーション）	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	プレゼンテーションソフトの基礎的な知識・技術を習得し、データ処理を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	作業環境 基礎知識・基本操作	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第2回	環境の設定と変更	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第3回	書式設定 フォント・段落・タブ	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第4回	スライド① デザイン・マスター	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第5回	スライド② スライドショー・アニメーション	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第6回	ファイル 共有・エクスポート・印刷	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

第7回	編集 テキスト、オブジェクトの編集	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第8回	罫線と表 作成・編集・レイアウト	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第9回	オブジェクト 図形の書式・メディア	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第10回	校閲	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

準備学習等	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。
教科書 参考書等	よくわかるマスター　MicrosoftPowerPoint（FOM出版） PowerPointプレゼンテーション技能認定試験　問題集（サーティファイ）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（1年課程）・情報システム学科（２年課程） 情報システム学科（3年課程）・OA事務学科（1年課程） OA事務学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	コンピュータリテラシ（データベース）	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	データベースソフトウェアの基礎的な知識・技術を習得し、データ処理を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	概要作業環境 基礎知識・環境の設定と変更	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第2回	データベース データベースの知識・作成・操作	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第3回	テーブル 作成・操作・ビュー・フィールド	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第4回	データ 検索・フィルター・データシート	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第5回	クエリ 作成・操作・プロパティ	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第6回	リレーションシップ 作成・詳細	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

第7回	フォーム ビュー・デザイン・応用	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第8回	レポート ビュー・デザイン・応用	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第9回	フォームとレポートのセクション コントロール	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第10回	マクロ・式 作成・演算子・関数	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

準備学習等	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。
教科書 参考書等	よくわかるマスター　MicrosoftAccess（FOM出版） Accessビジネスデータベース技能認定試験　問題集（サーティファイ）
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	ＯＡ事務学科(２年課程)・経理事務学科(２年課程) ビジネス学科(２年課程)・情報システム学科(２年課程) 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）・税理士会計士学科（３年課程） 情報システム学科（３年課程）
学年	２学年・３学年

科目名	社会人基礎知識Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	久保田　佳子・鈴木　秀俊 中島　京哉・瀬尾　幸江 鈴木　裕治・河野　賢一	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	ミニテスト：40％ 筆記試験：40％ 授業態度：20％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	就職活動や関連授業を通して、自己を向上させる能力を養う。多くの方々との関わりを学ぶことで、時代の変化に動じず、活躍し続ける人材を育成する。また、就職試験に出題される漢字の読み・書き等を身につけ、日本ビジネス技能検定協会主催漢字検定１級取得も目指す。さらに、時事を継続的に学ぶことで興味関心を持ち、理解を深め、就職試験にも対応できる力を養う。時事だけでなく、旬なテーマに対して情報収集し、考えや意見を持ち、プレゼンテーション能力も養う。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	就職概論 社会人基礎力とは　就職の心がまえ　就職試験の種類と形式	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第2回	就職活動の進め方 業界と職種　企業の研究	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第3回	自己理解を深める 自己を分析する（マインドマップ、ロジックツリー、長所・短所）	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第4回	自己理解を深める 自分史を作成する　無意識の行動や習慣の分析	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第5回	自己理解を深める 題材の選び方　文章作成のポイント　言葉を選ぶ　自己PR作成	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第6回	面接試験対策 面接の必要性　質問の種類とスタイル　面接試験の評価ポイント	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第7回	面接試験対策 具体的な話し方と注意点　面接当日までにすべきこと	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第8回	面接試験対策 身だしなみと立ち居振舞い　面接の流れを把握する（入退室）	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第9回	書類を作成・郵送する 郵便のマナー　封筒を作成する　送付状を作成する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第10回	書類を作成する お礼状を作成する　内定決定後の意識のもち方	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第11回	ビジネスコミュニケーション 学生と社会人の違い　コミュニケーションの種類と必要性	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第12回	ビジネスにおけるメール 形式と作成のポイント　宛先の注意点（To、Cc）　署名欄を使い分ける	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第13回	ビジネス文書 役割と種類　作成に必要な２つの技能	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第14回	ビジネス文書 社外文書　形式と作成のポイント	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第15回	ビジネス文書 社内文書　形式と作成のポイント	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第16回	電話応対 電話の特性　基本マナー	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第17回	電話応対 受け方　伝言メモを作成する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第18回	電話応対 かけ方　不在着信の折り返し方	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第19回	漢字 訓読み・送り仮名、熟語	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第20回	漢字 熟語、同音異義、異字同訓	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第21回	漢字 誤字訂正、類義語、反対語、ことわざ	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第22回	漢字 ことわざ、漢字の意味と使い方、慣用句、特殊な漢字の読み書き	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第23回	漢字 慣用句、特殊な漢字の読み書き	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第24回	漢字 総合問題　検定過去問題	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第25回	時事研究 テーマに対して情報収集をし意見をまとめ、PowerPointを作成し、発表（プレゼン）する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第26回	時事研究 テーマに対して情報収集をし意見をまとめ、PowerPointを作成し、発表（プレゼン）する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第27回	時事研究 テーマに対して情報収集をし意見をまとめ、PowerPointを作成し、発表（プレゼン）する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第28回	時事研究　グループ演習 テーマに対して情報収集をし意見をまとめる　PowerPoint作成し、発表（プレゼン）する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第29回	時事研究　グループ演習 テーマに対して情報収集をし意見をまとめる　PowerPoint作成し、発表（プレゼン）する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第30回	時事研究　グループ演習 テーマに対して情報収集をし意見をまとめる　PowerPoint作成し、発表（プレゼン）する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

準備学習等	将来について考え、日常生活を振り返りながら自己改善をはかる。世間の動向を把握しながら、さまざまな企業の情報収集を行い、目標達成に向け研究を重ねる。 基本的な漢字や時事用語を覚え、理解を深めることで、就職試験にいかすことができる。自宅での復習など、知識の定着をはかる。
教科書 参考書等	就職ガイドブック、ノートブック（大原出版） 漢字能力検定試験対策問題集１級　（日本ビジネス技能検定協会） 時事用語は日々プリントを配布いたします。
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性があります。

学科	経理事務学科（２年課程）・OA事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・情報システム学科（２年課程） 行政公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（２年課程） 法律公務員学科（２年課程）・情報システム学科（３年課程） 税理士会計士学科（３年課程）
学年	２学年・３学年

科目名	社会人基礎知識Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	久保田佳子・鈴木秀俊・中島京哉 瀬尾幸江・鈴木裕治・河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 40 % 課題・レポート提出 : 40 % 授業態度 : 20 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	就職活動や授業を通して自己を向上させる能力に気付かせ、実践力を養う。多様な人々と関わりながら学ぶことで、時代の変化に動じることなく、活躍し続けることができる柔軟性を持った人材を育成する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	就職概論 社会人基礎力とは　就職の心がまえ　就職試験の種類と形式	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第2回	就職活動の進め方 業界と職種　企業の研究	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第3回	就職活動の進め方 業界と職種　企業の研究	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第4回	自己理解を深める 自己を分析する（マインドマップ、ロジックツリー、長所・短所）	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第5回	自己理解を深める 自分史を作成する　無意識の行動や習慣の分析	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第6回	自己理解を深める 題材の選び方　文章作成のポイント　言葉を選ぶ	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第7回	自己理解を深める 自己PRを作成する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第8回	面接試験対策 面接の必要性　質問の種類とスタイル　面接試験の評価ポイント	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第9回	面接試験対策 具体的な話し方と注意点　面接当日までにすべきこと	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第10回	面接試験対策 身だしなみと立ち居振舞い　面接の流れを把握する（入室から退室まで）	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第11回	書類を作成・郵送する 郵便のマナー　封筒を作成する　送付状を作成する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第12回	書類を作成する お礼状を作成する　内定決定後の意識のもち方	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第13回	ビジネスコミュニケーション 学生と社会人の違い　コミュニケーションの種類と必要性	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第14回	ビジネスにおけるメール 形式と作成のポイント　宛先の注意点（To、Cc）　署名欄を使い分ける	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第15回	ビジネス文書 役割と種類　作成に必要な２つの技能	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第16回	社外文書 形式と作成のポイント	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第17回	社内文書 形式と作成のポイント	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第18回	電話応対 電話の特性　基本マナー	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

第19回	電話応対 受け方　伝言メモを作成する	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一
第20回	電話応対 かけ方　不在着信の折り返し方	久保田 佳子 鈴木 秀俊 中島 京哉 瀬尾 幸江 鈴木 裕治 河野 賢一

準備学習等	将来について考え、日常生活を振り返りながら自己改善を図る。世間の動向を把握しながら、さまざまな企業の情報収集を行い、目標達成に向け研究を重ねる。
教科書 参考書等	就職ガイドブック（大原出版） 就職ノートブック
備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。受講生の習熟の度合や進捗度、検定試験の出題範囲改正等に伴い、授業内容を変更する場合がある。

147.システム開発演習

学科	情報システム学科（３年課程）
学年	３学年

科目名	システム開発演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	4単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	習得した知識・技術を応用し、システム及びアプリケーションの設計から実装までの工程を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	開発テーマ立案	鈴木　裕治 河野　賢一
第2回	スケジューリング	鈴木　裕治 河野　賢一
第3回	外部設計	鈴木　裕治 河野　賢一
第4回	内部設計	鈴木　裕治 河野　賢一
第5回	アプリケーション開発①	鈴木　裕治 河野　賢一
第6回	アプリケーション開発②	鈴木　裕治 河野　賢一

第7回	アプリケーション開発③	鈴木　裕治 河野　賢一
第8回	アプリケーション開発④	鈴木　裕治 河野　賢一
第9回	アプリケーション開発⑤	鈴木　裕治 河野　賢一
第10回	アプリケーション開発⑥	鈴木　裕治 河野　賢一
第11回	アプリケーション開発⑦	鈴木　裕治 河野　賢一
第12回	テスト・デバッグ①	鈴木　裕治 河野　賢一
第13回	テスト・デバッグ②	鈴木　裕治 河野　賢一
第14回	プレゼンテーション資料作成	鈴木　裕治 河野　賢一
第15回	プレゼンテーション	鈴木　裕治 河野　賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作およびプログラミング能力を必要とする。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（３年課程）
学年	３学年

科目名	AI開発演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	4単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	習得した知識・技術を応用し、AI（人工知能）を利用したシステムやアプリケーション開発を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	AI（人工知能）と機械学習について	鈴木　裕治 河野　賢一
第2回	機械学習における統計学の基礎	鈴木　裕治 河野　賢一
第3回	AIプログラミングの基礎①	鈴木　裕治 河野　賢一
第4回	AIプログラミングの基礎②	鈴木　裕治 河野　賢一
第5回	AIアプリの企画・立案	鈴木　裕治 河野　賢一
第6回	AIアプリ設計①	鈴木　裕治 河野　賢一
第7回	AIアプリ設計②	鈴木　裕治 河野　賢一

第8回	AIアプリ開発①	鈴木　裕治 河野　賢一
第9回	AIアプリ開発②	鈴木　裕治 河野　賢一
第10回	AIアプリ開発③	鈴木　裕治 河野　賢一
第11回	AIアプリ開発④	鈴木　裕治 河野　賢一
第12回	AIアプリ開発⑤	鈴木　裕治 河野　賢一
第13回	テスト、デバッグ、レビュー	鈴木　裕治 河野　賢一
第14回	プレゼンテーション準備	鈴木　裕治 河野　賢一
第15回	プレゼンテーション	鈴木　裕治 河野　賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作スキルおよび基礎的なプログラミング能力を習得済みであること。また、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（３年課程）
学年	３学年

科目名	ネットワーク開発演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	4単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	コンピュータネットワークに関する基礎的な知識を有し、組織内で利用される コンピュータネットワーク環境の構築作業を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ネットワークの基礎知識①	鈴木　裕治 河野　賢一
第2回	ネットワークの基礎知識②	鈴木　裕治 河野　賢一
第3回	ネットワークの基礎知識③	鈴木　裕治 河野　賢一
第4回	ネットワークの基礎技術①	鈴木　裕治 河野　賢一
第5回	ネットワークの基礎技術②	鈴木　裕治 河野　賢一
第6回	ネットワークの基礎技術③	鈴木　裕治 河野　賢一

第7回	IPルーティングとVPN	鈴木　裕治 河野　賢一
第8回	スイッチとルーターの基礎	鈴木　裕治 河野　賢一
第9回	ネットワーク構築の基礎①	鈴木　裕治 河野　賢一
第10回	ネットワーク構築の基礎②	鈴木　裕治 河野　賢一
第11回	ネットワーク構築基礎実習①	鈴木　裕治 河野　賢一
第12回	ネットワーク構築基礎実習②	鈴木　裕治 河野　賢一
第13回	ネットワーク構築基礎実習③	鈴木　裕治 河野　賢一
第14回	ネットワーク構築基礎実習④	鈴木　裕治 河野　賢一
第15回	ネットワーク構築基礎実習⑤	鈴木　裕治 河野　賢一
第16回	ネットワーク構築応用実習①	鈴木　裕治 河野　賢一
第17回	ネットワーク構築応用実習②	鈴木　裕治 河野　賢一
第18回	ネットワーク構築応用実習③	鈴木　裕治 河野　賢一
第19回	ネットワーク構築応用実習④	鈴木　裕治 河野　賢一

第20回	ネットワーク構築応用実習⑤	鈴木　裕治 河野　賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作スキルを習得済みであり、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（３年課程）
学年	３学年

科目名	アプリケーション開発演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	4単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	習得した知識・技術を応用し、小規模なアプリケーション開発における設計から実装までの一連の作業を単独で行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	アプリケーション開発工程について	鈴木　裕治 河野　賢一
第2回	開発テーマの企画・立案 開発スケジュール作成	鈴木　裕治 河野　賢一
第3回	設計① （開発環境構築、外部設計）	鈴木　裕治 河野　賢一
第4回	設計② （外部設計、内部設計）	鈴木　裕治 河野　賢一
第5回	開発①（プログラミング）	鈴木　裕治 河野　賢一
第6回	開発②（プログラミング）	鈴木　裕治 河野　賢一

第7回	開発③（プログラミング）	鈴木　裕治 河野　賢一
第8回	開発④（プログラミング）	鈴木　裕治 河野　賢一
第9回	開発⑤（プログラミング）	鈴木　裕治 河野　賢一
第10回	開発⑥（プログラミング）	鈴木　裕治 河野　賢一
第11回	開発⑦（プログラミング）	鈴木　裕治 河野　賢一
第12回	テスト、デバッグ、レビュー①	鈴木　裕治 河野　賢一
第13回	テスト、デバッグ、レビュー②	鈴木　裕治 河野　賢一
第14回	プレゼンテーション準備	鈴木　裕治 河野　賢一
第15回	プレゼンテーション	鈴木　裕治 河野　賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作スキルおよびアプリケーション開発に必要なプログラミング能力を習得済みであること。また、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（３年課程）
学年	３学年

科目名	C言語	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	
実務経験教員の実務経験内容	
授業目的 到達目標	C言語を用いたプログラミングおよびアプリケーション開発を行うことができる。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	C言語基礎① 環境設定	鈴木　裕治 河野　賢一
第2回	C言語基礎② プログラムの構成	鈴木　裕治 河野　賢一
第3回	C言語応用① プログラムの構成	鈴木　裕治 河野　賢一
第4回	C言語基礎③ 入出力	鈴木　裕治 河野　賢一
第5回	C言語応用② 入出力	鈴木　裕治 河野　賢一
第6回	C言語基礎④ 演算子	鈴木　裕治 河野　賢一

第7回	C言語応用③ 演算子	鈴木　裕治 河野　賢一
第8回	C言語基礎⑤ 分岐	鈴木　裕治 河野　賢一
第9回	C言語応用④ 分岐	鈴木　裕治 河野　賢一
第10回	C言語基礎⑥ 繰返し	鈴木　裕治 河野　賢一
第11回	C言語応用⑤ 繰返し	鈴木　裕治 河野　賢一
第12回	C言語基礎⑦ 配列	鈴木　裕治 河野　賢一
第13回	C言語応用⑥ 配列	鈴木　裕治 河野　賢一
第14回	C言語基礎⑧ 文字列操作	鈴木　裕治 河野　賢一
第15回	C言語応用⑦ 文字列操作	鈴木　裕治 河野　賢一
第16回	C言語基礎⑨ 構造体	鈴木　裕治 河野　賢一
第17回	C言語応用⑧ 構造体	鈴木　裕治 河野　賢一
第18回	C言語基礎⑩ ポインタ	鈴木　裕治 河野　賢一

第19回	C言語応用⑨ ポインタ	鈴木　裕治 河野　賢一
第20回	C言語応用⑩ 自作関数	鈴木　裕治 河野　賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作および基本的なアルゴリズムを理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

152.ＪＡＶＡ言語

学科	情報システム学科（３年課程）
学年	３学年

科目名	ＪＡＶＡ言語	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
		授業回数	20回
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	成績評価方法	課題提出 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	Javaを用いたプログラミングおよびアプリケーション開発を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	JAVA言語基礎①	鈴木　裕治 河野　賢一
第2回	JAVA言語基礎② Javaの概要	鈴木　裕治 河野　賢一
第3回	JAVA言語基礎③ Javaの言語仕様	鈴木　裕治 河野　賢一
第4回	JAVA言語基礎④ クラス	鈴木　裕治 河野　賢一
第5回	JAVA言語応用① クラス	鈴木　裕治 河野　賢一
第6回	JAVA言語基礎⑤ クラスと継承	鈴木　裕治 河野　賢一

第7回	JAVA言語応用② クラスと継承	鈴木　裕治 河野　賢一
第8回	JAVA言語基礎⑥ Javaのクラスライブラリ	鈴木　裕治 河野　賢一
第9回	JAVA言語応用③ Javaのクラスライブラリ	鈴木　裕治 河野　賢一
第10回	JAVA言語基礎⑦ 例外処理	鈴木　裕治 河野　賢一
第11回	JAVA言語応用④ 例外処理	鈴木　裕治 河野　賢一
第12回	JAVA言語基礎⑧ 入出力処理	鈴木　裕治 河野　賢一
第13回	JAVA言語応用⑤ 入出力処理	鈴木　裕治 河野　賢一
第14回	JAVA言語基礎⑨ マルチスレッド	鈴木　裕治 河野　賢一
第15回	JAVA言語応用⑥ マルチスレッド	鈴木　裕治 河野　賢一
第16回	JAVA言語基礎⑩ インターフェース設計	鈴木　裕治 河野　賢一
第17回	JAVA言語応用⑦ インターフェース設計	鈴木　裕治 河野　賢一
第18回	JAVA言語基礎⑪ インターフェース開発	鈴木　裕治 河野　賢一
第19回	JAVA言語応用⑧ インターフェース開発	鈴木　裕治 河野　賢一

第20回	JAVA言語応用⑨ 作成課題	鈴木　裕治 河野　賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作および基本的なアルゴリズムを理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

153.Ｐｙｔｈｏｎ言語

学科	情報システム学科（３年課程）
学年	３学年

科目名	Ｐｙｔｈｏｎ言語	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	Pythonを用いたプログラミングおよびアプリケーション開発を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	Python基礎① 環境構築と概要	鈴木　裕治 河野　賢一
第2回	Python基礎② 変数とデータ型	鈴木　裕治 河野　賢一
第3回	Python基礎③ コレクション	鈴木　裕治 河野　賢一
第4回	Python基礎④ 条件分岐	鈴木　裕治 河野　賢一
第5回	Python基礎⑤ 繰返し処理	鈴木　裕治 河野　賢一
第6回	Python基礎⑥ 条件分岐	鈴木　裕治 河野　賢一

第7回	Python基礎⑦ 関数	鈴木　裕治 河野　賢一
第8回	Python基礎⑧ オブジェクト	鈴木　裕治 河野　賢一
第9回	Python基礎⑨ モジュール	鈴木　裕治 河野　賢一
第10回	Python基礎⑩ パッケージ	鈴木　裕治 河野　賢一
第11回	Python応用① ライブラリを用いた開発	鈴木　裕治 河野　賢一
第12回	Python応用② ライブラリを用いた開発	鈴木　裕治 河野　賢一
第13回	Python応用③ ライブラリを用いた開発	鈴木　裕治 河野　賢一
第14回	Python応用④ ライブラリを用いた開発	鈴木　裕治 河野　賢一
第15回	Python応用⑤ ライブラリを用いた開発	鈴木　裕治 河野　賢一
第16回	Python応用⑥ ライブラリを用いた開発	鈴木　裕治 河野　賢一
第17回	Python応用⑦ フレームワーク	鈴木　裕治 河野　賢一
第18回	Python応用⑧ フレームワーク	鈴木　裕治 河野　賢一

第19回	Python応用⑨ フレームワーク	鈴木　裕治 河野　賢一
第20回	Python応用⑩ フレームワーク	鈴木　裕治 河野　賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作および基本的なアルゴリズムを理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（３年課程）
学年	３学年

科目名	プログラム言語	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	プログラム言語の基礎的な知識及びプログラム開発におけるワークフローに関する知識を有し、プログラムを作成することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	プログラミング基礎①	鈴木　裕治 河野　賢一
第2回	プログラミング基礎②	鈴木　裕治 河野　賢一
第3回	プログラミング基礎③	鈴木　裕治 河野　賢一
第4回	プログラミング基礎④	鈴木　裕治 河野　賢一
第5回	プログラミング基礎⑤	鈴木　裕治 河野　賢一

第6回	プログラミング演習①	鈴木　裕治 河野　賢一
第7回	プログラミング演習②	鈴木　裕治 河野　賢一
第8回	プログラミング演習③	鈴木　裕治 河野　賢一
第9回	プログラミング演習④	鈴木　裕治 河野　賢一
第10回	プログラミング演習⑤	鈴木　裕治 河野　賢一
第11回	プログラミング応用① フレームワーク	鈴木　裕治 河野　賢一
第12回	プログラミング応用② フレームワーク	鈴木　裕治 河野　賢一
第13回	プログラミング応用③ フレームワーク	鈴木　裕治 河野　賢一
第14回	プログラミング応用④ フレームワーク	鈴木　裕治 河野　賢一
第15回	プログラミング応用⑤ フレームワーク	鈴木　裕治 河野　賢一
第16回	プログラミング応用⑥ フレームワーク	鈴木　裕治 河野　賢一

第17回	プログラミング応用⑦ フレームワーク	鈴木　裕治 河野　賢一
第18回	プログラミング応用⑧ フレームワーク	鈴木　裕治 河野　賢一
第19回	プログラミング応用⑨ フレームワーク	鈴木　裕治 河野　賢一
第20回	プログラミング応用⑩ フレームワーク	鈴木　裕治 河野　賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作および基本的なアルゴリズムを理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科(２年課程)・情報システム学科（３年課程）
学年	２学年・３学年

科目名	企画立案Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	システム開発における上流工程の知識を応用し、各種システムやサービスの企画・立案を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	システム開発における上流工程	鈴木　裕治 河野　賢一
第2回	システムやサービスの企画	鈴木　裕治 河野　賢一
第3回	要件定義	鈴木　裕治 河野　賢一
第4回	基本設計	鈴木　裕治 河野　賢一
第5回	詳細設計	鈴木　裕治 河野　賢一
第6回	企画立案基礎実習①	鈴木　裕治 河野　賢一

第7回	企画立案基礎実習②	鈴木　裕治 河野　賢一
第8回	企画立案基礎実習③	鈴木　裕治 河野　賢一
第9回	プレゼンテーション準備	鈴木　裕治 河野　賢一
第10回	プレゼンテーション	鈴木　裕治 河野　賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作スキルおよび基礎的なプログラミング能力を習得済みであること。また、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科(２年課程)・情報システム学科（３年課程）
学年	２学年・３学年

科目名	企画立案Ⅱ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	少人数編成のチームにおいて各種システムやサービスを企画・立案し、それらのプロトタイプ制作を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	システム開発	鈴木　裕治 河野　賢一
第2回	ソフトウェア開発	鈴木　裕治 河野　賢一
第3回	サービス開発	鈴木　裕治 河野　賢一
第4回	チームによる開発	鈴木　裕治 河野　賢一
第5回	企画立案応用実習①	鈴木　裕治 河野　賢一
第6回	企画立案応用実習②	鈴木　裕治 河野　賢一
第7回	企画立案応用実習③	鈴木　裕治 河野　賢一

第8回	企画立案応用実習④	鈴木　裕治 河野　賢一
第9回	プレゼンテーション準備	鈴木　裕治 河野　賢一
第10回	プレゼンテーション	鈴木　裕治 河野　賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作スキルおよび基礎的なプログラミング能力を習得済みであること。また、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	情報システム学科（３年課程）
学年	３学年

科目名	企画立案III	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	10回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	小規模編成のプロジェクトにおいて各種システムやサービスを企画・立案し、それらのプロトタイプ制作を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	システム戦略	鈴木　裕治 河野　賢一
第2回	プロジェクトマネジメント	鈴木　裕治 河野　賢一
第3回	サービスマネジメント	鈴木　裕治 河野　賢一
第4回	経営戦略	鈴木　裕治 河野　賢一
第5回	企画立案高度実習①	鈴木　裕治 河野　賢一
第6回	企画立案高度実習②	鈴木　裕治 河野　賢一

第7回	企画立案高度実習③	鈴木　裕治 河野　賢一
第8回	企画立案高度実習④	鈴木　裕治 河野　賢一
第9回	プレゼンテーション準備	鈴木　裕治 河野　賢一
第10回	プレゼンテーション	鈴木　裕治 河野　賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作スキルおよび基礎的なプログラミング能力を習得済みであること。また、情報技術に関する基礎的な知識を有すること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

学科	税理士会計士学科（3年課程）・情報システム学科（３年課程）
学年	３学年

科目名	表計算ソフト基礎Ⅰ		授業形態	講義
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		有	授業時間数	60時間
			単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治・河野賢一・五十嵐 久子		授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	五十嵐 久子		成績評価方法	確認試験 : 50 % ミニテスト : 50 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ			
実務経験教員の実務経験内容	企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター			
授業目的到達目標	パソコンおよびExcelの基本的な用語と基本操作を習得し、サーティファイ主催Excel表計算技能認定試験３級の取得を目指す。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス、Excelの画面構成、タイピング練習	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第2回	Excel基本演習① 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第3回	Excel基本演習② 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第4回	Excel基本演習③ 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第5回	Excel基本演習④ 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

第6回	Excel基本演習⑤ 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第7回	Excel基本演習⑥ 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第8回	Excel基本演習⑦ 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第9回	Excel基本演習⑧ 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第10回	Excel基本演習⑨ 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第11回	Excel基本演習⑩ 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第12回	Excel基本演習⑪ 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第13回	Excel基本演習⑫ 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第14回	Excel基本演習⑬ 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第15回	Excel基本演習⑭ 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第16回	Excel基本演習⑮ 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第17回	直前模擬問題① 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第18回	直前模擬問題② 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

第19回	直前模擬問題③ 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第20回	直前模擬問題④ 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
準備学習等	演習では、キーボードからの入力が多いので、ブラインドタッチが使えるように練習しておいてください。	
教科書 参考書等	Excel表計算処理技能認定試験３級問題集（株式会社サーティファイ） Excel表計算処理技能認定試験１・２級問題集（株式会社サーティファイ）	
備考	複数学科・複数学年のよる合同授業となります。 検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性があります。	

159.文書処理ソフト基礎

学科	ＯＡ事務学科（２年課程）・経理事務学科（２年課程） ビジネス学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程） 総合公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（２年課程） 情報システム学科（３年課程）・税理士会計士学科（３年課程）
学年	２学年・３学年

科目名	文書処理ソフト基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	3単位
科目教員	久保田 佳子・五十嵐 久子	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	五十嵐 久子	成績評価方法	確認試験 : 50 % ミニテスト : 50 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ		
実務経験教員の実務経験内容	企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター		
授業目的到達目標	パソコンおよびWordの応用的な用語と操作を習得し、サーティファイ主催Word文書処理技能認定試験２級以上の取得を目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス、Wordの画面構成、タイピング練習	久保田佳子 五十嵐久子
第2回	Word基本問題演習① 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第3回	Word基本問題演習① 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第4回	Word基本問題演習② 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第5回	Word基本問題演習③ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第6回	Word基本問題演習④ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第7回	Word基本問題演習⑤ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第8回	Word基本問題演習⑥ 解説	久保田佳子 五十嵐久子

第9回	Word基本問題演習⑦ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第10回	Word基本問題演習⑧ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第11回	Word基本問題演習⑨ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第12回	Word基本問題演習⑩ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第13回	Word基本問題演習⑪ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第14回	Word基本問題演習⑫ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第15回	Word基本問題演習⑬ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第16回	Word基本問題演習⑭ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第17回	検定直前模擬問題① 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第18回	検定直前模擬問題② 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第19回	検定直前模擬問題③ 解説	久保田佳子 五十嵐久子
第20回	検定直前模擬問題④ 解説	久保田佳子 五十嵐久子

準備学習等	演習では、キーボードからの入力が多いので、ブラインドタッチが使えるように練習しておいてください。
教科書 参考書等	Word文書処理技能認定試験３級問題集（株式会社サーティファイ） Word文書処理技能認定試験１・２級問題集（株式会社サーティファイ）
備考	複数学科・複数学年のよる合同授業となります。 検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性があります。

学科	税理士会計士学科（3年課程）・情報システム学科（３年課程）
学年	３学年

科目名	プレゼンテーションソフト	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治・河野賢一・五十嵐 久子	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	五十嵐 久子	成績評価方法	確認試験 : 50 % ミニテスト : 50 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ		
実務経験教員の実務経験内容	企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター		
授業目的到達目標	パソコンおよびPowerPointの基本的な用語と操作から応用的な操作までを習得し、サーティファイ主催PowerPointプレゼンテーション技能認定試験上級の取得を目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス、 PowerPointの画面構成	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第2回	PowerPoint基本操作①	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第3回	PowerPoint基本操作②	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第4回	PowerPoint基本操作③	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第5回	PowerPoint基本操作④	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

第6回	PowerPoint基本演習① 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第7回	PowerPoint基本演習② 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第8回	PowerPoint基本演習③ 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第9回	PowerPoint基本演習④ 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第10回	PowerPoint基本演習⑤ 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第11回	PowerPoint基本演習⑥ 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第12回	PowerPoint応用演習① 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第13回	PowerPoint応用演習② 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第14回	PowerPoint応用演習③ 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第15回	PowerPoint応用演習④ 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第16回	PowerPoint応用演習⑤ 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第17回	PowerPoint応用演習⑥ 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第18回	直前模擬問題① 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

第19回	直前模擬問題② 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第20回	直前模擬問題③ 解説	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

準備学習等	演習では、キーボードからの入力が多いので、ブラインドタッチが使えるように練習しておいてください。
教科書 参考書等	PowerPoint2016クイックマスター（株式会社ウイネット）、 PowerPointプレゼンテーション技能認定試験問題集（株式会社サーティファイ）
備考	複数学科・複数学年のよる合同授業となります。 検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性があります。

学科	情報システム学科（３年課程）
学年	３学年

科目名	データベースソフト	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	五十嵐久子	成績評価方法	実技試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	データベースソフトウェアを用いたデータの定義やクエリの作成、帳票の作成を学習する。
実務経験教員の実務経験内容	企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクターを行っていた。
授業目的 到達目標	データベースソフトを理解し、操作する能力を身に付ける。また、業務上必要となるデータベースを構築し管理・運用するスキルを学習する。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	データベースソフト概要	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第2回	データベースソフト 基本操作①	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第3回	データベースソフト 基本操作②	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第4回	データベースソフト 基本操作③	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

第5回	データベースソフト 基本操作④	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第6回	データベースソフト 基本操作演習①	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第7回	データベースソフト 基本操作演習②	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第8回	データベースソフト 基本操作演習③	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第9回	データベースソフト 基本操作演習④	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第10回	データベースソフト 基本操作演習⑤	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第11回	データベースソフト 基本操作演習⑥	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第12回	データベースソフト 応用演習①	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第13回	データベースソフト 応用演習②	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第14回	データベースソフト 応用演習③	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

第15回	データベースソフト 応用演習④	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第16回	データベースソフト 応用演習⑤	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第17回	データベースソフト 応用演習⑥	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第18回	データベースソフト 模擬問題演習①	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第19回	データベースソフト 模擬問題演習②	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子
第20回	データベースソフト 模擬問題演習③	鈴木裕治 河野賢一 五十嵐久子

準備学習等	コンピュータの基本操作およびデータベースに関する基礎を理解していること。
教科書 参考書等	Access2019クイックマスター Accessビジネスデータベース技能認定試験　問題集
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（３年課程）
学年	３学年

科目名	情報処理基礎演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	5単位
科目教員	鈴木 裕治・河野 賢一・伊藤 和子	授業回数	24回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 授業態度 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	システム設計に関する知識を有し、知識に対する説明を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	データベース演習① データベース(SQL①)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	データベース演習② データベース(SQL②)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	データベース演習③ データベース (データの正規化)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	データベース演習④ データベース(DBMS)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第5回	ネットワーク演習① ネットワーク (ネットワーク方式)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第6回	ネットワーク演習② ネットワーク (データ通信と制御)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	ネットワーク演習③ ネットワーク (通信プロトコル)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	ネットワーク演習④ ネットワーク (ネットワーク管理)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	プログラム設計① ソフトウェア設計 (ソフトウェア要件定義)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	プログラム設計② ソフトウェア設計 (ソフトウェア方式設計)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第11回	プログラム設計③ ソフトウェア設計 (ソフトウェア詳細設計)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第12回	プログラム設計④ ソフトウェア設計 (コード作成及びテスト)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第13回	プログラミング①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第14回	プログラミング②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第15回	プログラミング③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第16回	プログラミング④	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第17回	基本情報技術者試験対策①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第18回	基本情報技術者試験対策②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第19回	基本情報技術者試験対策③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第20回	基本情報技術者試験対策④	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第21回	基本情報総合Ⅱ① 基本情報技術者対策 (テクノロジ)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第22回	基本情報総合Ⅱ② 基本情報技術者対策 (マネジメント)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第23回	基本情報総合Ⅱ③ 基本情報技術者対策 (ストラテジ)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第24回	基本情報総合Ⅱ④ 基本情報技術者対策 (アルゴリズム)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
準備学習等		

教科書 参考書等	基本情報技術者試験　A科目対策テキスト・演習ドリル
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

163.情報処理応用演習

学科	情報システム学科（３年課程）
学年	３学年

科目名	情報処理応用演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	5単位
科目教員	鈴木　裕治 河野　賢一 伊藤　和子	授業回数	24回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験：70％ 平常点：30％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	システム設計に関する知識を有し、知識に対する説明を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	データベース演習① データベース(SQL①)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	データベース演習② データベース(SQL②)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	データベース演習③ データベース (データの正規化)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	データベース演習④ データベース(DBMS)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第5回	ネットワーク演習① ネットワーク (ネットワーク方式)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第6回	ネットワーク演習② ネットワーク (データ通信と制御)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	ネットワーク演習③ ネットワーク (通信プロトコル)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	ネットワーク演習④ ネットワーク (ネットワーク管理)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	プログラム設計① ソフトウェア設計 (ソフトウェア要件定義)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	プログラム設計② ソフトウェア設計 (ソフトウェア方式設計)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第11回	プログラム設計③ ソフトウェア設計 (ソフトウェア詳細設計)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第12回	プログラム設計④ ソフトウェア設計 (コード作成及びテスト)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第13回	プログラミング①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第14回	プログラミング②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第15回	プログラミング③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第16回	プログラミング④	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第17回	応用情報技術者試験対策①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第18回	応用情報技術者試験対策②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第19回	応用情報技術者試験対策③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第20回	応用情報技術者試験対策④	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第21回	基本情報総合Ⅱ① 応用情報技術者対策 (テクノロジ)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第22回	基本情報総合Ⅱ② 応用情報技術者対策 (マネジメント)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第23回	基本情報総合Ⅱ③ 応用情報技術者対策 (ストラテジ)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第24回	基本情報総合Ⅱ④ 応用情報技術者対策 (プログラミング)	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
準備学習等		

教科書 参考書等	応用情報技術者　午前対策テキスト・演習ドリル 応用情報技術者　午後対策テキスト・演習ドリル
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（３年課程）
学年	３学年

科目名	高度セキュリティ演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	5単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	情報セキュリティに関する知識を有し、説明を行うことができる。 プログラミングの基礎知識を有し、簡単なプログラムを作成することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習④	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第5回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習⑤	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第6回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習⑥	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習⑦	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習⑧	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習⑨	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	情報処理技術者試験対策 情報セキュリティ演習⑩	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第11回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第12回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第13回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第14回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎④	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第15回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎⑤	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第16回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第17回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第18回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第19回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用④	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第20回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑤	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第21回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑥	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第22回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑦	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第23回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑧	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第24回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑨	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第25回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑩	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第26回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑪	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第27回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑫	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第28回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑬	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第29回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑭	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第30回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑮	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策テキスト・演習ドリル
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（３年課程）
学年	３学年

科目名	高度データベース演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	5単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	データベースに関する知識を有し、説明を行うことができる。 プログラミングの基礎知識を有し、簡単なプログラムを作成することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	情報処理技術者試験対策 データベース演習①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	情報処理技術者試験対策 データベース演習②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	情報処理技術者試験対策 データベース演習③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	情報処理技術者試験対策 データベース演習④	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	情報処理技術者試験対策 データベース演習⑤	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	情報処理技術者試験対策 データベース演習⑥	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	情報処理技術者試験対策 データベース演習⑦	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	情報処理技術者試験対策 データベース演習⑧	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	情報処理技術者試験対策 データベース演習⑨	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	情報処理技術者試験対策 データベース演習⑩	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第11回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第12回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第13回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第14回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎④	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第15回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎⑤	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第16回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第17回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第18回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第19回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用④	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第20回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑤	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第21回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑥	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第22回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑦	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第23回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑧	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第24回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑨	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第25回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑩	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第26回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑪	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第27回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑫	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第28回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑬	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第29回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑭	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第30回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑮	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

準備学習等	
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策テキスト・演習ドリル

備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（３年課程）
学年	３学年

科目名	高度ネットワーク演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	5単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	通信ネットワークに関する知識を有し、説明を行うことができる。 プログラミングの基礎知識を有し、簡単なプログラムを作成することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第2回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第3回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第4回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習④	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第5回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習⑤	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第6回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習⑥	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第7回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習⑦	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第8回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習⑧	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第9回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習⑨	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第10回	情報処理技術者試験対策 ネットワーク演習⑩	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第11回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第12回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第13回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第14回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎④	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第15回	情報処理技術者試験対策 プログラミング基礎⑤	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第16回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用①	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第17回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用②	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第18回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用③	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第19回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用④	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第20回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑤	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第21回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑥	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第22回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑦	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子

第23回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑧	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第24回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑨	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第25回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑩	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第26回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑪	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第27回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑫	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第28回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑬	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第29回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑭	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
第30回	情報処理技術者試験対策 プログラミング応用⑮	鈴木裕治 河野賢一 伊藤和子
準備学習等		
教科書 参考書等	基本情報技術者　A科目対策テキスト・演習ドリル	

備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（３年課程）・税理士会計士学科（3年課程）
学年	３学年

科目名	社会人総合演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	120時間
		単位数	7単位
科目教員	鈴木　裕治・河野　賢一・五十嵐　久子・瀬尾　幸江・長澤　千春	授業回数	40回
科目教員のうち実務経験教員	瀬尾　幸江・長澤　千春	成績評価方法	確認テスト：60％ 実技試験：30％ レポート：10％ ：％ ：％

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	［瀬尾幸江・長澤千春］ [ビジネスマナー]の授業内容を行う上で、実務で対応できる丁寧な電話応対の指導や、状況に応じた臨機応変な対応力、感じの良い応対ができる実践力を指導する。
実務経験教員の実務経験内容	［瀬尾幸江］ 宿泊施設での電話交換業務、一般企業での総務事務、労務事務、経理事務等を長年経験し、文書作成管理、電話応対、来客応対などの業務を担当していた。秘書・サービス接遇検定1級、電話実践級を取得。秘書技能検定準１級面接試験審査員・係員を担当している。 ［長澤千春］ 専門学校での教務事務を経験し、高校生対象のキャリア教育セミナーや社会人マナーの講義経験があり、サービス接遇検定1級を取得している。
授業目的 到達目標	［Word・Excel］ 状況に合ったビジネス文書を作成できる。基本的な関数を利用し、グラフの作成・編集ができる。 「時事研究］ 最近のニュースに興味・関心を持ち、様々な媒体から情報収集を行い、自分の考えを述べることができる。 ［ビジネスマナー］ ビジネスの場にふさわしい心構えを学び、適切な敬語の表現ができる。初期動作から伝言の受け取りまで、一連の電話応対をスムーズに行うことができる。状況に応じた電話応対ができる。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	Word 文書の作成と管理・基本操作	河野　賢一 五十嵐　久子 鈴木　裕治

第2回	Word 一般的なビジネス文書の作成	河野　賢一 五十嵐　久子 鈴木　裕治
第3回	Word 問題演習	河野　賢一 五十嵐　久子 鈴木　裕治
第4回	Word レポートおよび報告書の作成 表、画像、図形を使った文書の作成	河野　賢一 五十嵐　久子 鈴木　裕治
第5回	Word 総合問題演習	河野　賢一 五十嵐　久子 鈴木　裕治
第6回	Word 表、画像、図形を使った文書の作成	河野　賢一 五十嵐　久子 鈴木　裕治
第7回	Word 表、画像、図形を使った文書の作成	河野　賢一 五十嵐　久子 鈴木　裕治
第8回	Word 問題演習	河野　賢一 五十嵐　久子 鈴木　裕治
第9回	Word 問題演習	河野　賢一 五十嵐　久子 鈴木　裕治
第10回	Word 総合問題演習　確認テスト	河野　賢一 五十嵐　久子 鈴木　裕治

第11回	Excel 表作成の基本操作、数式・関数を活用した集計表の作成	河野　賢一 五十嵐　久子 鈴木　裕治
第12回	Excel 問題演習	河野　賢一 五十嵐　久子 鈴木　裕治
第13回	Excel 見やすく使いやすい表にする編集操作	河野　賢一 五十嵐　久子 鈴木　裕治
第14回	Excel 問題演習	河野　賢一 五十嵐　久子 鈴木　裕治
第15回	Excel 総合問題演習	河野　賢一 五十嵐　久子 鈴木　裕治
第16回	Excel グラフの基本、目的に応じたグラフの作成と編集	河野　賢一 五十嵐　久子 鈴木　裕治
第17回	Excel 問題演習	河野　賢一 五十嵐　久子 鈴木　裕治
第18回	Excel 数式・関数を活用した集計表の作成	河野　賢一 五十嵐　久子 鈴木　裕治
第19回	Excel 問題演習	河野　賢一 五十嵐　久子 鈴木　裕治

第20回	Excel 総合問題演習　確認テスト	河野　賢一 五十嵐　久子 鈴木　裕治
第21回	ビジネスマナー 職場のマナー	長澤　千春 瀬尾　幸江 鈴木　裕治 河野　賢一
第22回	ビジネスマナー あいさつと敬語	長澤　千春 瀬尾　幸江 鈴木　裕治 河野　賢一
第23回	ビジネスマナー あいさつと敬語	長澤　千春 瀬尾　幸江 鈴木　裕治 河野　賢一
第24回	ビジネスマナー 電話応対のマナー	長澤　千春 瀬尾　幸江 鈴木　裕治 河野　賢一
第25回	ビジネスマナー 電話応対の受け方	長澤　千春 瀬尾　幸江 鈴木　裕治 河野　賢一
第26回	ビジネスマナー 電話応対のかけ方	長澤　千春 瀬尾　幸江 鈴木　裕治 河野　賢一
第27回	ビジネスマナー 状況別電話応対	長澤　千春 瀬尾　幸江 鈴木　裕治 河野　賢一
第28回	ビジネスマナー 電話応対ロールプレイング	長澤　千春 瀬尾　幸江 鈴木　裕治 河野　賢一

第29回	ビジネスマナー 電話応対ロールプレイング	長澤　千春 瀬尾　幸江 鈴木　裕治 河野　賢一
第30回	ビジネスマナー 電話応対ロールプレイング 実技確認テスト	長澤　千春 瀬尾　幸江 鈴木　裕治 河野　賢一
第31回	ビジネスマナー 営業のマナーロールプレイング	長澤　千春 瀬尾　幸江 鈴木　裕治 河野　賢一
第32回	ビジネスマナー 営業のマナーロールプレイング	長澤　千春 瀬尾　幸江 鈴木　裕治 河野　賢一
第33回	ビジネスマナー 営業のマナーロールプレイング 実技確認テスト	長澤　千春 瀬尾　幸江 鈴木　裕治 河野　賢一
第34回	ビジネスマナー 商品説明資料作成	長澤　千春 瀬尾　幸江 鈴木　裕治 河野　賢一
第35回	ビジネスマナー 商品説明資料作成・ロールプレイング	長澤　千春 瀬尾　幸江 鈴木　裕治 河野　賢一
第36回	ビジネスマナー 商品説明ロールプレイング	長澤　千春 瀬尾　幸江 鈴木　裕治 河野　賢一
第37回	ビジネスマナー 商品説明ロールプレイング 実技確認テスト	長澤　千春 瀬尾　幸江 鈴木　裕治 河野　賢一

第38回	時事研究 個人研究	瀬尾　幸江 鈴木　裕治 河野　賢一
第39回	時事研究 個人研究	瀬尾　幸江 鈴木　裕治 河野　賢一
第40回	時事研究 個人研究	瀬尾　幸江 鈴木　裕治 河野　賢一

準備学習等	復習を行い、知識の定着を図ること。 学習したことは必ず実践し、繰り返して、習慣にする。
教科書 参考書等	ＰＣＰパソコン実習　ＰＣＰビジネスマナー　ＰＣＰ時事(大原学園)
備考	複数学科・複数学年による合同授業となる。 受講生の習熟の度合い、進捗度や検定試験の出題範囲改正等に伴う授業内容の変更の可能性がある。 ビジネスの場に対応できる実践力が養われたかを測るため、各項目ごとに確認テスト等を実施し、総合的に評価する。 実務を意識した授業であるため、追試等を実施し、実務レベルに相当する力をつけさせる。

168.ビジネスパソコンスキル

学科	情報システム学科（３年課程）
学年	３学年

科目名	ビジネスパソコンスキル	授業形態	実習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	4単位
科目教員	河野 賢一・鈴木裕治	授業回数	40回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	確認テスト：80％ 授業態度：20％ ：％ ：％ ：％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	【Excel応用】業務に役立つ関数およびデータベース機能を活用し、状況に合った集計および資料作成ができる。 【Excel検定対策】　サーティファイ　Excel検定1級または2級取得を目指す。 【Word検定対策】　サーティファイ　Word検定1級または2級取得を目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	Excel応用 データベース機能の利用 ワークシート間の集計	河野賢一 鈴木裕治
第2回	Excel応用 問題演習	河野賢一 鈴木裕治
第3回	Excel応用 見やすく使いやすい表にする 編集操作、表の調整、 印刷プレビュー等	河野賢一 鈴木裕治
第4回	Excel応用 問題演習	河野賢一 鈴木裕治

第5回	Excel応用　効果測定 授業の類似問題演習	河野賢一 鈴木裕治
第6回	Excel応用 データの抽出・基本操作を確認	河野賢一 鈴木裕治
第7回	Excel応用 問題演習	河野賢一 鈴木裕治
第8回	Excel応用 ピボットテーブル・基本操作 マクロによる作業の自動化	河野賢一 鈴木裕治
第9回	Excel応用 問題演習 【見積書（問題）】作成	河野賢一 鈴木裕治
第10回	Excel応用 効果測定 総合問題（３問）	河野賢一 鈴木裕治
第11回	Excel応用 効果測定 総合問題（４問）	河野賢一 鈴木裕治
第12回	Excel応用 効果測定 総合問題（５問）	河野賢一 鈴木裕治
第13回	PowerPoint検定対策 PowerPoint応用演習	河野賢一 鈴木裕治

第14回	PowerPoint検定対策 PowerPoint応用演習	河野賢一 鈴木裕治
第15回	PowerPoint検定対策 PowerPoint応用演習	河野賢一 鈴木裕治
第16回	PowerPoint検定対策 PowerPoint応用演習	河野賢一 鈴木裕治
第17回	PowerPoint応用演習 プレゼンテーション資料作成	河野賢一 鈴木裕治
第18回	PowerPoint応用演習 プレゼンテーション資料作成	河野賢一 鈴木裕治
第19回	PowerPoint応用演習 プレゼンテーション資料作成	河野賢一 鈴木裕治
第20回	PowerPoint応用演習 プレゼンテーション資料作成	河野賢一 鈴木裕治
第21回	Word検定対策 Word応用演習	河野賢一 鈴木裕治
第22回	Word検定対策 Word応用演習	河野賢一 鈴木裕治

第23回	Word検定対策 Word応用演習	河野賢一 鈴木裕治
第24回	Word検定対策 Word応用演習	河野賢一 鈴木裕治
第25回	Word検定対策 Word応用演習	河野賢一 鈴木裕治
第26回	Word検定対策 Word応用演習	河野賢一 鈴木裕治
第27回	Word応用演習 総合問題実習	河野賢一 鈴木裕治
第28回	Word応用演習 総合問題実習	河野賢一 鈴木裕治
第29回	Word応用演習 総合問題実習	河野賢一 鈴木裕治
第30回	Excel検定対策 Excel応用演習	河野賢一 鈴木裕治
第31回	Excel検定対策 Excel応用演習	河野賢一 鈴木裕治

第32回	Excel検定対策 Excel応用演習	河野賢一 鈴木裕治
第33回	Excel検定対策 Excel応用演習	河野賢一 鈴木裕治
第34回	Excel検定対策 Excel応用演習	河野賢一 鈴木裕治
第35回	Excel検定対策 Excel応用演習	河野賢一 鈴木裕治
第36回	Excel検定対策 Excel応用演習	河野賢一 鈴木裕治
第37回	Excel検定対策 Excel応用演習	河野賢一 鈴木裕治
第38回	Excel応用演習 総合問題実習	河野賢一 鈴木裕治
第39回	Excel応用演習 総合問題実習	河野賢一 鈴木裕治
第40回	Excel応用演習 総合問題実習	河野賢一 鈴木裕治
準備学習等	復習を行い、知識の定着を図ること。 学習したことは必ず実践し、繰り返して、自分の習慣にする。	

教科書 参考書等	PCPパソコン実習　(大原学園) Excel表計算処理技能認定試験１・２級問題集、Word文書処理技能認定試験１・２級問題集、PowerPoint検技能認定試験問題集(株式会社サーティファイ)
備考	複数学科・複数学年による合同授業となります。 受講生の習熟の度合い、進捗度に伴う授業内容の変更の可能性があります。 ビジネスの場に対応できる実践力が養われたかを測るため、各項目ごとに確認テストを実施し、総合的に評価する。 実務を意識した授業であるため、追試等を実施し、実務レベルに相当する力をつけさせる。

学科	情報システム学科（３年課程）
学年	３学年

科目名	社会人総合実習IV	授業形態	実習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	鈴木裕治	成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	システム開発において、実務に沿った開発フローを行う。 要件定義においては必要機能要件だけでなく、非機能要件についても評価することでより実務に近い開発を行う。
実務経験教員の実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)
授業目的 到達目標	システム設計及びシステム開発に関する知識、技能を有し、 統合開発環境を用いたプログラミングからデバックまでを実践することができる。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	システム開発演習① システムの設計と構築	鈴木裕治
第2回	システム開発演習② システムの設計と構築	鈴木裕治
第3回	システム開発演習③ システムの設計と構築	鈴木裕治
第4回	システム開発演習④ システムの設計と構築	鈴木裕治
第5回	システム開発演習⑤ システムの設計と構築	鈴木裕治
第6回	システム設計演習①	鈴木裕治 河野賢一

第7回	システム設計演習②	鈴木裕治 河野賢一
第8回	システム設計演習③	鈴木裕治 河野賢一
第9回	システム設計演習④	鈴木裕治 河野賢一
第10回	システム設計演習⑤	鈴木裕治 河野賢一
第11回	システム要件定義①	鈴木裕治 河野賢一
第12回	システム要件定義②	鈴木裕治 河野賢一
第13回	非機能要件①	鈴木裕治 河野賢一
第14回	非機能要件②	鈴木裕治 河野賢一
第15回	システム設計①	鈴木裕治 河野賢一
第16回	システム設計②	鈴木裕治 河野賢一
第17回	システム詳細設計①	鈴木裕治 河野賢一
第18回	システム詳細設計②	鈴木裕治 河野賢一

第19回	ソフトウェア設計①	鈴木裕治 河野賢一
第20回	ソフトウェア設計②	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	コンピュータの基本操作およびプログラミングの基礎を理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。

学科	情報システム学科（３年課程）
学年	３学年

科目名	卒業制作	授業形態	実習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治 河野賢一	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	課題提出 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	習得した知識・技術の集大成として、システム及びアプリケーションの設計から実装までを行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	開発テーマ立案 スケジューリング	鈴木裕治 河野賢一
第2回	開発テーマ立案 スケジューリング	鈴木裕治 河野賢一
第3回	外部設計・内部設計	鈴木裕治 河野賢一
第4回	外部設計・内部設計	鈴木裕治 河野賢一
第5回	プログラミング・テスト	鈴木裕治 河野賢一
第6回	プログラミング・テスト	鈴木裕治 河野賢一

第7回	プログラミング・テスト	鈴木裕治 河野賢一
第8回	プログラミング・テスト	鈴木裕治 河野賢一
第9回	プログラミング・テスト	鈴木裕治 河野賢一
第10回	プログラミング・テスト	鈴木裕治 河野賢一
第11回	プログラミング・テスト	鈴木裕治 河野賢一
第12回	プログラミング・テスト	鈴木裕治 河野賢一
第13回	プログラミング・テスト	鈴木裕治 河野賢一
第14回	プログラミング・テスト	鈴木裕治 河野賢一
第15回	プログラミング・テスト	鈴木裕治 河野賢一
第16回	プログラミング・テスト	鈴木裕治 河野賢一
第17回	プレゼンテーション準備 資料作成	鈴木裕治 河野賢一
第18回	プレゼンテーション準備 資料作成	鈴木裕治 河野賢一

第19回	プレゼンテーション準備 資料作成・リハーサル	鈴木裕治 河野賢一
第20回	制作展	鈴木裕治 河野賢一

準備学習等	基本的なプログラミングを行えること。 開発フローおよび開発管理技法を理解していること。
教科書 参考書等	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。